ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
「取扱説明書」はお読みになった後、いつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

もくじ

はじめに

NAVI

AV

情報 / 設定

その他

はじめに

あらかじめ知っておいていただきたいことについての説明を行います。

ご使用前に

免責事項について

- 火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報 (登録地など) や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- 他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理 (消去など)、OpenInfo サービスの退会手続きは、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱自動車は一切の責任を負いません。
  本製品に入力した個人情報 (登録地の住所や電話番号など) は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害 (事業利益の損失、記録内容の変化・消失など) に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- 表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合がありますので、ご了承ください。また、地図データ不備による損害に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- 本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- 地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。
- 地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。
- 地図データの内容は予告なく変更される場合があります。
- 地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書では数種類の車種内容を共用で説明しています。車種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のもの、もしくは説明用に作成したものです。実際のものと異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱自動車は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品は国内専用です。海外では使用できません。

ご使用上の注意

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設 (病院・消防署・警察署など) の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。
  必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
  - 画面に小さな黒点､輝点(赤､青､緑)がある。
  - 寒冷時など、画面の動きが遅い。
  - 高温時など、画面が暗い場合があります。
  - 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでる恐れがあります。
- 鋭利なもの (ペン先・つめの先など) でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合や損傷して誤動作する場合があります。
- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと誤動作の原因となります。
- 画面の汚れを取るときは、やわらかい布で拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つける恐れがあります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。

■ テレビ機能

本書は、内蔵の地上デジタル TV チューナーのテレビ機能について説明しています。

→ *「テレビ機能について」(P190)*

- 本製品は、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には対応しておりません。
- 本製品はデータ放送には対応しておりません。
- 走行状態により受信異常が発生したときや、移動中に電波の受信状態が悪くなったときには､次のような現象が起きる場合があります。
  - 映像や音声にノイズが発生する。
  - 映像や音声が途切れる。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、テレビの受信状態が悪くなることがあります。

■ iPod/iPhone 再生機能

- 本機は、iPod/iPhone の音楽や映像の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OpenInfo について

OpenInfo サービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。
OpenInfo サービスを利用すれば、リアルタイムで渋滞情報を取得することができ、より早くスムーズな目的地案内を実現します。
また、高速道路などの開通道路情報や最新の電気自動車用充電スタンド情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。
OpenInfo では､以下の機能がご利用になれます。

- リアルタイムプローブ®*(→ P93)*
- 開通道路情報更新*(→ P238)*
- 充電ポイント情報更新*(→ P238)*

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。詳しくは､「OpenInfo サービス ユーザー登録方法」*(P324)* を参照してください。

走行中の操作制限について

走行中は一部操作が制限されます。走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。
なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。

お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固く絞ってからご使用ください。ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

車両のバッテリー交換を行ったら

車両のバッテリーを交換すると一部メモリーが消去されます。

例：設定したルート
（設定した目的地や経由地は保持されます。）

商標について

- 本製品は、パイオニア(株)が運営・管理するリアルタイムプローブ® を使用しています。
  リアルタイムプローブ® はパイオニア(株)の登録商標です。
- 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

「OpenInfo」および「openinfo」ロゴは、三菱電機の登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「ドルビー」およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS 社の商標または登録商標に基づき製造されています。
DTS は DTS 社の登録商標です。
また、DTS Neural Surround および DTS ロゴ記号は DTS 社の商標です。

「PremiDIA」は、三菱電機の登録商標です。

SDHC は SD-3C,LLC の商標です。

VICS ロゴは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc が所有する商標です。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

ETC ロゴは、財団法人道路システム高度化推進機構 (ORSE) の登録商標です。

DSRC ロゴは、一般社団法人 ITS サービス推進機構 (ISPA) の登録商標です。

MAPCODE は、株式会社デンソーの登録商標です。

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPod または iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

iPod および iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod

iPod 5th generation (video) 60GB 80GB	**iPod** 5th generation (video) 30GB

iPod classic

iPod classic 160GB (2009)	**iPod classic** 160GB (2007)	**iPod classic** 80GB

iPod nano

iPod nano 6th generation 8GB 16GB	**iPod nano** 5th generation (video camera) 8GB 16GB	**iPod nano** 4th generation (video) 8GB 16GB
iPod nano 3rd generation (video) 4GB 8GB	**iPod nano** 2nd generation (aluminum) 2GB 4GB 8GB	**iPod nano** 1st generation 1GB 2GB 4GB

iPod touch

iPod touch 4th generation 8GB 32GB 64GB	**iPod touch** 3rd generation 32GB 64GB	**iPod touch** 2nd generation 8GB 16GB 32GB	**iPod touch** 1st generation 8GB 16GB 32GB

iPhone

iPhone 4S 16GB 32GB 64GB	**iPhone 4** 16GB 32GB	**iPhone 3GS** 8GB 16GB 32GB	**iPhone 3G** 8GB 16GB

※ 本機は「iPod touch」、「iPhone」の iOS5 に対応しております。

※「iPod nano 1st generation」、「iPod nano 2nd generation (aluminum)」、「iPod nano 6th generation」、「iPod 5th generation (video) 30GB」、「iPod 5th generation (video) 60GB 80GB」は、ビデオ再生に対応しておりません。(音楽再生は可能。)

※ Genius 機能には対応しておりません。

※ iPod および iTunes は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。

この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

⚠警告

禁止

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。**前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**
  運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**
  カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**
  事故、火災、感電の原因となります。
- **本機は DC12V マイナス ㊀ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。**火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスク挿入口やカード挿入口に異物を入れない。**
  火災や感電、故障の原因となります。

⚠警告

必ず行う

- **ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。**
  本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。
  必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- **運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。**テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- **カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。**
  カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- **バックする際はゆっくりした速度で運転する。**
  カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
  そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量 (アンペア数) のヒューズを使用する。**
  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

分解禁止

- **本機を分解したり、改造しない。**故障、火災、感電の原因となります。

接触禁止

- **雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。**
  落雷により感電の原因となります。

⚠注意

禁止

- **本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。**
  通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- **カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車は行わないでください。**
  カメラが外れたり、角度がずれて故障や事故の原因となることがあります。

注意

- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**
  車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。**
  事故の原因となることがあります。

必ず行う

- **モニターパネルの開閉時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。**

⚠注意

指に注意

- **ディスク挿入口やカード挿入口に手や指を入れないでください。**
  けがの原因となることがあります。
- **モニターパネルの開閉時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。**
  けがの原因となることがあります。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。

※ このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。
実際のページ、説明内容とは異なります。

① **編見出し**
主な機能に分けて分類しています。

② **章見出し**
編分類の中でさらに機能を分類し、各章の先頭に記載しています。
また、右端のインデックスでも確認することができます。

③ **大見出し**
章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

④ **中見出し**
大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

⑤ **小見出し**
中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑥ **操作手順**
操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑦ **○○○ キーまたは [○○○] キー**
パネルでの操作キーを示します。

⑧ **○○○ または [○○○]**
画面上に表示されるタッチスイッチを示します。

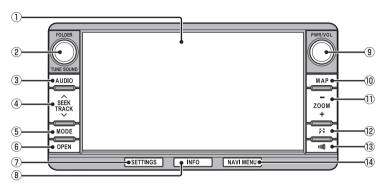
⑨ *(P000)*
参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

⑩ *次のページにつづく*
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

基本操作

本機について

本体パネルについて

本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。

① **ディスプレイ**
このディスプレイに表示されるタッチスイッチにタッチすることで、ほとんどの操作が行えます。
→ *「タッチ操作のしかた」(P19)*

② **FOLDER/TUNE キー**
回転させると音楽ファイルのフォルダ選択やラジオの選局が行えます。
SOUND キー *(P298)*
押すと、音質設定画面を表示します。

③ **AUDIO キー**
オーディオソース画面を表示します。

④ **∧ SEEK TRACK キー / SEEK TRACK ∨ キー**
CD などのトラックやラジオの選局が行えます。また、DVD のチャプターの切り換えが行えます。

⑤ **MODE キー**
Mode メニューを表示します。
オーディオソースを選ぶときに使用します。→ *「Mode メニュー」(P26)*

⑥ **OPEN キー**
モニターパネルの開閉画面を表示します。
パネルを開閉するときや、ディスクを出し入れ *(P111)* をするときに使います。

⑦ **SETTINGS キー** *(P28)*
設定メニューを表示します。各種設定を行うときに使用します。

⑧ **INFO キー** *(P27)*
INFO メニューを表示します。
情報確認を行うときに使用します。

⑨ **PWR/VOL キー** *(P110)*
オーディオ機能や電話機能の音量を調節することができます。また、オーディオ機能の ON/OFF をすることができます。

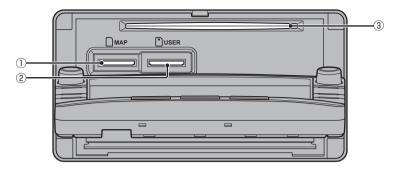
⑩ **MAP キー**
ナビゲーション画面の現在地画面 *(P36)* を表示します。

⑪ **− ZOOM キー / ZOOM ＋ キー**
地図のスケールを広域 / 詳細にします。
→ *「スケールの切り換え」(P47)*

⑫ **[目的地] キー** *(P24)*
目的地メニューを表示します。目的地を設定するときに使用します。

⑬ **[交通情報] キー** *(P128)*
交通情報画面を表示します。

⑭ **NAVI MENU キー** *(P25)*
Navi メニューを表示します。ナビゲーションの各種設定を行うときに使用します。

■ パネルが開いているとき

① MAP スロット
ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。
別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでナビ機能のバージョンアップを行うことができます。
→ *「バージョンアップについて」(P241)*

② USER スロット
音楽用 SD カードを挿入します。音楽用 SDカードの再生*(P170)*やMusicServerへの録音 *(P151)* が行えます。また、地図データを更新することもできます。
→ *「差分データを SD カードで更新する」(P239)*

③ ディスク挿入口
本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。
→ *「ディスクを挿入する」(P111)*

起動する

本システムを起動します。

1 車のエンジンスイッチを“ACC”または“ON”にする

▼

オープニング画面が表示され、しばらくするとオーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面 (ラスト画面) に切り換わります。

アドバイス

- エンジンスイッチを“ACC”または“ON”した直後は、ナビゲーション機能の場合、地図カードからのデータ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能があります。読み込み完了までしばらくお待ちください。
- オープニング画像を季節に応じた画像に変更することができます。→ *「システムの設定」(P294)*

SD カードについて

本機はナビゲーション機能で使用する地図カードおよびオーディオ機能で使用する音楽用 SD カードの 2 種類が SD カードに対応しております。

警告

必ず行う

- **事故防止のため、SD カードは乳幼児の手の届かないところに保管する。**
  万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注 意

- 地図カードは本機の MAP スロット以外に挿入しないでください。故障の原因となります。もしくはデータが破壊、使用できなくなる場合があります。
- SD カードの抜き差しは、駐停車禁止外の安全な場所に停車してから行ってください。
- SD カードでデータを読み書きしているときに、SD カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
  記録されたデータの消失または破損の恐れがあります。
- SD カード挿入口に異物を入れないでください。ケガや発煙､発火の原因になります。
- SD カードの挿入口は、MAP スロットおよび USER スロットの 2 種類ありますので、SD カードを挿入する際は間違わないようご注意ください。

お知らせ

- SD カードのデータ消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- パソコンの標準機能を使用してフォーマットした SD カードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になる SD カードは本機でフォーマットしてからご使用ください。
- SD カードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができなくなる場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

- SD カードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなることがあります。SD カードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SD カードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでに SD カードが挿入された状態で他の SD カードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SD カード以外のものを挿入しないでください。SD カード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■ 保管上のご注意

本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

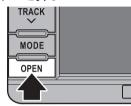
SD カードを挿入する

■ 地図カードの場合

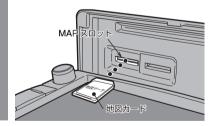
ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。
はじめに本体に地図カードを挿入する必要があります。

1 OPEN キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする

▼

パネルが開きます。

3 MAP スロットに地図カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

注意

- USER スロット側に差し込まないでください。

4 OPEN キーを押し、パネルを閉じる

▼

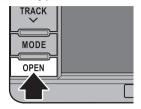
ナビゲーション機能の使用が可能となります。

■ 音楽用 SD カードの場合

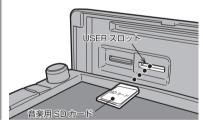
オーディオ機能のために使用する音楽用 SD カードを挿入します。

1 OPEN キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする

▼

パネルが開きます。

3 USER スロットに
音楽用 SD カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

注 意

- MAP スロット側に差し込まないでください。

4 OPEN キーを押し、パネルを閉じる

▼

オーディオ機能の SD カードが使用可能となります。

SD カードを取り出す

■ 地図カードの場合

地図データのバージョンアップを行う際に行います。別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでバージョンアップが行えます。

詳しくは、*「バージョンアップについて」(P241)* をご覧ください。

■ 音楽用 SD カードの場合

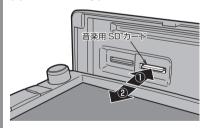
オーディオ機能のために使用する音楽用 SD カードを取り出します。

1 OPEN キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする

▼

パネルが開きます。

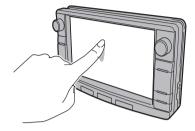
3 USER スロットの
音楽用 SD カードを「カチッ」と音がするまで押す

音楽用 SD カードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

4 OPEN キーを押し、パネルを閉じる

タッチ操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接タッチして操作するタッチパネルを採用しています。

～にタッチするとき

画面にタッチして“決定”する操作について、本書では「～にタッチする」と記載しています。

また、タッチして実行するメニューは「タッチスイッチ」と記載しています。

注 意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

リストから項目を探すとき

[∨] , [∧] にタッチすると 1 つずつリストを選ぶことができます。

[≫] , [≪] にタッチすると 1 ページごとに表示を送ることができます。

▼

探している項目が表示されたら直接その項目にタッチします。

タブスイッチがあるとき

分類がタブスイッチで分かれている場合があります。

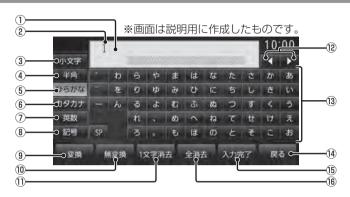
分類のタブスイッチに直接タッチすることで、分類の先頭までリストが移動します。

分類の数が多いときは、[＜] , [＞] が表示されます。

[＜] , [＞] にタッチすることで分類のタブスイッチを 1 ページずつ送ることができます。

文字入力のしかた

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。

文字入力用キーボード

① **入力文字表示部**
入力した文字を表示します。
“オレンジ色の文字”は確定前の文字で [変換] で漢字に変換できます。
“黒色の文字”は、確定済みで変換はできません。

② **カーソル**
I で表示され、I の左側に文字が入力されます。

③ 小文字 / 大文字
タッチで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

④ 半角 / 全角
入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わります。

⑤ ひらがな
入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑥ カタカナ
入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑦ 英数
入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑧ 記号
入力キーボードに表示される文字が「数字」と「記号」に切り換わります。

⑨ 変換
確定前の文字を変換するための変換候補リストを表示します。
→ *「変換候補のリストについて」(P21)*

⑩ 無変換
確定前の文字を変換せずに確定します。

⑪ 1 文字消去
入力中の文字を一文字削除します。

⑫ ◀ , ▶
I の位置を移動します。

⑬ **入力キーボード**
タッチで表示されている文字を入力できます。

⑭ 戻る
1 つ前の画面に戻ります。

⑮ 入力完了
入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

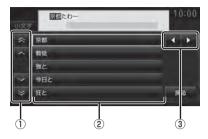
⑯ 全消去
表示中の文字をすべて削除します。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないタッチスイッチや別のタッチスイッチになることがあります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。

■ 変換候補のリストについて

文字入力キーボードで [変換] にタッチすると表示する変換候補リストについて説明します。

① [∧] , [∨] , [⋀⋀] , [⋁⋁]
　リストから変換候補を選びます。

② **変換候補**
　タッチした変換候補で確定します。

③ [◀] , [▶]
　変換範囲を変更できます。

■ 入力できる文字の種類

入力キーボードはさまざまな文字が入力できるように用意されています。
文字入力は、各機能の操作の途中で必要になったときに表示します。
但し、機能によって入力できる文字を制限することがあります。
(例 :*「電話番号から探す」(P67)* では数字のみ)

ひらがな

カタカナ

アルファベット / 数字

記号 / 数字

アドバイス

- “きごう”と入力して [変換] にタッチすることでも、一部の記号が入力できます。

数字入力用キーボード

電話番号や郵便番号など数字のみを入力できるように用意されています。

施設名称入力用キーボード

① **入力文字表示部**
入力した文字を表示します。
“白色の文字”は現在入力中の文字です。
“黒色の文字”は、確定済みの文字です。

② **入力候補リスト**
入力した文字に続く文字や言葉を予測し候補を表示します。
タッチで入力文字表示部へ入力します。

③ ［&］
①入力文字表示部に「&」が入力され別のキーワードを追加することができます。
キーワードは最大 3 語まで指定することができます。

④ ［検索］
入力した文字の検索結果を表示します。

⑤ ［確定］
未確定の文字を確定します。

⑥ ［<］,［>］
前後の入力候補リストに切り換えます。

⑦ **入力キーボード**
タッチで表示されている文字を入力できます。

⑧ ［修正］
未確定の文字を 1 文字削除します。未確定の文字列がない場合は、1 つ前に確定した文字列を未確定の状態に戻します。
タッチし続けるとまとめて削除することができます。

⑨ ［戻る］
1 つ前の画面に戻ります。

⑩ ［小文字］/［大文字］
タッチで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

音声操作について

音声で電話やオーディオの操作を行うことができます。

1 ステアリングの“SPEECH”キーを押し、「ピッ！」と発信音がしてから“音声コマンド”を話す

→*「ステアリングリモコンスイッチの操作」(P113)*

アドバイス

- 音声操作を行うための使い方やコマンド一覧などが確認できます。→*「音声認識ヘルプを確認する」(P242)*

お知らせ

音声認識機能は、周囲の状況や発話者の話し方で認識しにくくなる場合があります。以下の内容を理解した上でご使用ください。

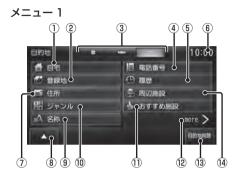
- 大きめの声で、はっきりと話してください。認識しやすくなります。
- 発話の際、「えー」「えーっと」「あー」などを発話しないでください。別の言葉で認識する可能性があります。
- 車の窓を閉めてください。周囲騒音により間違って認識されることがあります。
- 発話時は同乗者の会話を控えてください。同乗者の声で間違って認識されることがあります。
- 発音が似ている単語を発話すると、間違って認識されることがあります。
- 周囲騒音が大きすぎると間違って認識されることがあります。
  例：トンネル内走行、チェーン装着走行など
- エアコンの風量が大きい場合は認識しにくい場合があります。
- 以下の場合、発話を受け付けません。
  - 発声が遅すぎる（早すぎる）
  - 声が大きすぎる（小さすぎる）
  - 無音・発話が不明瞭
  -「ピッ」音の前に発話した

各メニュー画面について

各キーを押すことで、目的地メニューや Navi メニュー、Mode メニュー、INFO メニュー、設定メニューからさまざまな機能を使うことができます。

目的地メニュー

キーを押して表示する目的地メニューについて説明します。

メニュー 1

メニュー 2

① 自宅
自宅を登録することができます。*(P86)* また、登録した自宅を目的地に設定することができます。*(P55)*

② 登録地 *(P58)*
登録地を呼び出します。

③ **表示切換メニュー** *(P29)*
メニューの表示タイプを切り換えることができます。

④ 電話番号 *(P67)*
電話番号を入力して施設を探すことができます。

⑤ 履歴 *(P58)*
検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

⑥ **時計**
12/24 時間制で現在時刻を表示します。

⑦ 住所 *(P59)*
住所から場所を探します。

⑧ ▲
よく使う登録地 *(P56)* の番号を表示します。

⑨ 名称 *(P60)*
施設の名称を入力し場所を探します。

⑩ ジャンル *(P62)*
コンビニやガソリンスタンドなど、分類ごとに場所を探すことができます。

⑪ おすすめ施設 *(P67)*
さまざまなカテゴリーからおすすめの施設を選ぶことができます。

⑫ more
メニュー 1 とメニュー 2 を切り換えます。

⑬ 目的地削除 *(P83)*
設定した目的地や経由地を削除し、ルートを消します。

⑭ 周辺施設 *(P66)*
現在地や目的地、経由地、ルート周辺の施設を探すことができます。

⑮ 観光ルート *(P71)*
観光コースを都道府県ごとに探し、ルートを設定します。

⑯ 郵便番号 *(P68)*
郵便番号を入力して場所を探します。

⑰ MAPCODE *(P69)*
探している場所の MAPCODE が分かっている場合に使用します。

Navi メニュー

[NAVI MENU] キーを押して表示する Navi メニューについて説明します。

① OpenInfo ※1 *(P278)*
OpenInfo に関する設定が行えます。

② 探索の設定 *(P270)*
ルート探索に関する設定が行えます。

③ 音声の設定 *(P271)*
ナビの音声案内に関する設定が行えます。

④ VICS の設定 *(P272)*
VICS に関する設定が行えます。

⑤ ルートの編集 *(P76)*
設定したルートに関する変更が行えます。

⑥ ルートのデモ開始 *(P75)*
作成したルートを仮想的に走行させ確認することができます。

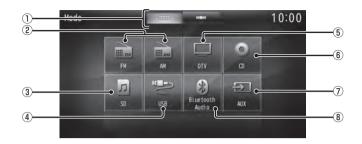
⑦ 表示の設定 *(P273)*
ナビの表示に関する設定が行えます。

⑧ ETC の設定 *(P276)*
ETC に関する設定が行えます。

⑨ センサ補正 *(P277)*
車速センサーやジャイロセンサーの自動学習レベルを消去することができます。

※ 1　ご利用になるには、OpenInfo サービスのユーザー登録が必要です。
詳しくは、「OpenInfo サービス ユーザー登録方法」*(P324)* を参照してください。

Mode メニュー

[MODE] キーを押して表示する Mode メニューについて説明します。

① **表示切換メニュー** *(P29)*
メニューの表示タイプを切り換えることができます。

② FM , AM *(P124)*
ラジオ機能をご利用になれます。

③ SD ※1*(P151)*
USER スロットに挿入された、音楽用 SD カード内の音楽ファイルを再生することができます。また、USER スロットに挿入された、SD カードに音楽 CD の曲を録音し、再生することができます。

④ USB/iPod *(P176)*
USB デバイスが本機に接続されていれば、USB に変わり、タッチすると USB 画面を表示します。
iPod が本機に接続されていれば、
iPod ※2 に変わり、タッチすると iPod 画面を表示します。

⑤ DTV *(P190)*
地上デジタル TV 放送をご覧になることができます。

⑥ DISC *(P129)*
本機に挿入された各メディアの再生を行います。音楽 CD または音楽ファイルのディスクが挿入されていれば、CD と表示します。DVD が挿入されていれば、DVD と表示します。

⑦ AUX ※3*(P213)*
外部入力機器が本機に接続されていれば、外部入力機器の映像を表示します。

⑧ Bluetooth Audio ※4*(P209)*
Bluetooth 対応オーディオ機器が本機に接続されていれば、Bluetooth Audio 機能をご利用になれます。

※ 1　本機に音楽用 SD カードを挿入する必要があります。

※ 2　市販の iPod ケーブルおよび iPod/iPhone が必要です。また、iPod のビデオを再生する場合は、別売の専用ケーブルが必要です。

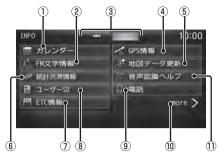
※ 3　タイプ別装備です。また、外部入力機器、ケーブルが必要です。別売の外部入出力ケーブルおよび外部入力機器を本機に接続していない場合でも [AUX] は表示されますが、タッチしても映像を表示できません。

※ 4　ケーブルは不要ですが、別途市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器が必要です。

INFO メニュー

[INFO] キーを押して表示する INFO メニューについて説明します。

メニュー 1

メニュー 2

① カレンダー (P218)
カレンダーを表示します。特別日や記念日の確認、設定を行うことができます。

② FM 文字情報 (P223)
FM 多重放送による文字情報を確認することができます。

③ **表示切換メニュー** (P29)
メニューの表示タイプを切り換えることができます。

④ GPS 情報 (P236)
現在地の地名、緯度 / 経度、受信しているGPS 衛星の数を確認することができます。

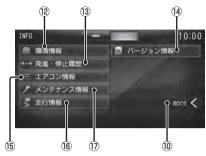
⑤ 地図データ更新 (P238)
通信または SD カードを使用して地図データを更新することができます。

⑥ 統計渋滞情報 (P228)
過去の統計に基づいた渋滞情報を確認することができます。

⑦ ETC 情報 ※1(P232)
ETC を使用した履歴や料金を確認することができます。

⑧ ユーザー SD (P230)
SD カードに関する情報の確認、管理が行えます。

⑨ 電話 ※2(P243)
電話をかけることができます。

⑩ more
メニュー 1 とメニュー 2 を切り換えます。

⑪ 音声認識ヘルプ (P242)
音声認識のコマンド一覧や使い方などが確認できます。

⑫ 環境情報 ※1(P253)
外気温度、標高、気圧を確認することができます。

⑬ 発進・停止履歴 (P254)
急発進、急加速、急減速と判断された地点のリストを確認することができます。

⑭ バージョン情報 (P267)
プログラムバージョンや地図のバージョンなどが確認できます。

⑮ エアコン情報 ※1(P255)
エアコンの状態を確認することができます。

⑯ 走行情報 ※1(P262)
走行情報を確認、設定することができます。

⑰ メンテナンス情報 ※1(P257)
エンジンオイルやオイルフィルターなどのメンテナンス時期をお知らせする設定を行うことができます。

※１　タイプ別装備です。
※２　Bluetooth 接続ができる携帯電話が必要です。

設定メニュー

[SETTINGS] キーを押して表示する設定メニューについて説明します。

① 画面 OFF *(P286)*
画面の表示を消すことができます。

② 画面サイズ設定 *(P286)*
ビデオなどで表示する映像の表示比率を変更することができます。

③ 時計表示 *(P287)*
時計を表示します。

④ システム設定 *(P294)*
システムに関する設定が行えます。

⑤ 画質調整 *(P287)*
画質の調整が行えます。

⑥ 車両設定 ※1 *(P288)*
車両装備の各設定が行えます。

⑦ ナビ音量設定 *(P293)*
ナビ音量の設定が行えます。

※ 1　タイプ別装備です。

表示タイプについて

各メニューには、表示方法がいくつかあり、お好みのタイプを選んで使用することができます。
各メニューの上部にある表示切換メニューにタッチすることで切り換えることができます。

タッチスイッチ	表示内容

お知らせ

- 表示できるタイプは各メニューによって異なり、表示タイプを切り換えることができないメニューもあります。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作の説明を行います。

基本操作

ナビゲーション機能について

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GPS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

■ GPS(Global Positioning System)

GPS 衛星を利用して位置を検出するシステムを「GPS」といいます。この GPS 衛星の電波を受信して約 30 ～ 200m の誤差で自車の位置を測位します。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で 2 分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに 5 分程度かかります。
- GPS 衛星はアメリカ合衆国の国防総省が管理しており、故意に位置精度を落とすことがあります。このとき、自車の位置が正しく表示されないことがあります。

■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注 意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPS アンテナについて

自車の位置は、GPS 衛星からの微弱な電波を「GPS アンテナ」で受信して測位しています。

アドバイス

GPS 衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。

- ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
- GPS アンテナの上や周辺にものを置いたり、ETC アンテナを取り付けたりしないでください。
- 携帯電話や PHS、パソコンなどを GPS アンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどある場合があります。

測位について

■ 測位が正確にできない場合

トンネルの中やビル内の駐車場 , 高層ビルで囲まれているような場所 , 山や樹木で囲まれているような場所 , 高速道路や電車の高架下などは GPS 衛星から電波を受信できないことがあります。この場合、測位はジャイロセンサーと車速センサーによる自立航法になりますので、正確な自車位置の測位ができなくなることがあります。

■ 誤差について

GPS 衛星から電波を受信できないとき、誤差が生じやすくなり、自車位置が正しく表示されないことがあります。
しばらく走行して GPS 衛星から電波を受信できるようになると、現在地のずれは自動的に修正されます。

自車位置が正しく表示されない原因

- 高速道路と一般道路が近くにあるとき
- 碁盤目状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳路を走行しているとき
- 直線路を長い間走行した後、右左折したとき
- エンジンスイッチ ON 直後
- 渋滞中や駐車場などの低速走行しているとき (車種によっては低速走行時に車速信号を出力していないため)
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ターンテーブルなどで旋回したとき
- 角度が小さい Y 字路を走行しているとき
- フェリーなどで車両運搬移動した後
- 立体駐車場やらせん状の道路を走行しているとき
- 広い道路で蛇行運転しているとき
- 応急用タイヤなどに交換したとき
- 雪道や砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき

■ 3 次元測位について

4 個以上の GPS 衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる場合、緯度 , 経度 , 標高の 3 次元の位置を計算します。
→「*GPS 情報を確認する*」*(P236)*

■ 2 次元測位について

3 個以上の GPS 衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる状態で 3 次元測位に至らない場合、標高が前回と変わらないと想定して緯度 , 経度の 2 次元の位置を計算します。この場合 3 次元測位よりも位置精度は低下します。
→「*GPS 情報を確認する*」*(P236)*

■ 非測位について

GPS 衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できない場合非測位となります。
→「*GPS 情報を確認する*」*(P236)*

ルートの探索方法について

- ルート案内で表示されるルートは目的地までの参考ルートであって必ずしも最短ルートではありません。また渋滞情報を考慮したルート案内とはなっていません。
- すべての道路がルート案内の対象道路ではありません。
- 探索条件で有料優先を選択した場合でも、一般道路を通ったほうがよいと判断される場合は、有料道路を通らないルートを表示することがあります。また、自車位置が有料道路上にある場合や目的地が有料道路上にある場合は、一般優先で探索を選択していても、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- フェリーを使うルートは通常の道路より推奨しにくく設定してあります。このためフェリーを使ったほうが早く目的地に到着する場合でも、フェリーを使わないルートを表示することがあります。
- 有料道路のインターチェンジ , パーキングエリア , サービスエリアを目的地や経由地にする場合は施設検索および高速略図から選択し、地図をスクロールさせずに設定してください。
- 同じ場所を目的地や経由地に設定した場合でも前回作成したルートと同じにならない場合があります。
- 通行できない歩道や階段などを含むルートを表示する場合があります。
- 目的地まで道がない場合や細い道しかない場合は目的地から離れた場所までのルートを表示する場合があります。
- 道路形状によっては施設に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- 長期通行規制などがあった場合、規制情報を考慮したルートを探索する場合があります。
- 冬季通行止めなどは一部対応していないものや期間が実際と異なる場合があります。

ルートの案内について

- ルート探索をして自車がルート上のときは目的地または次に通過する経由地までの距離を表示します。
- ルート探索をして自車がルート外のときは目的地や経由地までの距離と到着予想時刻がグレーで表示され、ルートから外れた場所から目的地または経由地までのルートの距離を表示します。
- 目的地への到着予想時刻表示は、地図データに格納されている所要時間データを元に走行情報を学習して算出しています。
- 交差点で曲がるのに交差点名称の案内や音声案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなどに、外れる前のルートに対する音声案内をする場合があります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

ナビゲーションを操作するときの注意

- ルート案内中は、必ず実際の交通規制に従ってください。交通事故の原因になる恐れがあります。
- ルートは地図カード内の地図データを使って探索します。実際の工事規制や一方通行などの通行規制と異なることがあります。必ず、実際の交通規制に従ってください。
- 時間規制などの交通情報はルート探索した時刻のものが反映されます。運転の際は必ず実際の交通規制に従ってください。
- 自車が移動した距離は、スピードセンサー (タイヤの回転数に比例) で測定しています。新品または規格外のタイヤを装着しているときやタイヤの空気圧が適正でないときは、誤差が生じやすくなり、自車の位置が正しく表示されないことがあります。
- ルートは、目的地周辺までの参考ルートです。最短ルート、渋滞していないルートではありません。
- 走行中は道路の表示量が制限され、表示されない道路があります。(細街路など)
- 目的地までの距離が極端に近い、または遠いときはルートが探索できないことがあります。
- ルートを外れて走行しても、自動的にルートを再探索します。
- 到着予想時刻は、道路状況や運転のしかたによって変化します。
- 走行中は一部操作に制限がかかります。走行中の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

アドバイス

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画像は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

地図画面には現在地画面とスクロール画面 *(P37)* があります。

■ 現在地画面

[MAP] キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。

① **ルート案内マーク**
ガイドされる道路が矢印または線で表示されます。
[表示の設定] の「探索ルート」で [矢印] または [線] を選ぶことができます。
→ *「NAVI の設定」(P269)*

② **交差点案内アイコン**
次に曲がる交差点までの距離および曲がる方向を示します。タッチすると、交差点案内図を表示します。
→ *「次に曲がる交差点を確認する」(P72)*

③ ▲
サブメニューを表示します。
→ *「サブメニューを表示する」(P40)*

④ **自車位置マーク**
矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。

⑤ **各アイコン**
電話やオーディオなどの状態を表示します。→ *「各アイコンについて」(P38)*

⑥ **時計**
12/24 時間制で現在時刻を表示します。
→ *「時刻設定」(P294)*

⑦ **(VICS スイッチ)**
VICS の提供時刻および提供メディア名を表示します。タッチすると、VICS メニューを表示します。→ *「VICS メニューについて」(P96)*

⑧ **方位アイコン**
タッチすると、地図切換画面を表示します。
→ *「地図画面を選択する」(P41)*

⑨ **スケールアイコン**
表示されている地図のスケールを示します。タッチすると、スケールを変更します。
→ *「スケールの切り換え」(P47)*

⑩ **目的地 / 経由地情報**
目的地または経由地までの所要時間 (到着予想時刻)、方向および距離を示します。自車が経路から外れるとグレーで表示されます。そのときの時刻と距離は、経路外となった場所から目的地または経由地までの所要時間 (到着予想時刻) と距離になります。

■ スクロール画面

地図スクロール *(P48)* を行ったときや検索後に表示するスクロール画面の表示内容について説明します。

① **自車位置までの距離**
　╋ マークから自車位置までの距離を表示します。

② **経由地マーク**
　設定された経由地 *(P78)* を示します。
　経由地は 5 つまで設定でき、通過する順に 1 , 2 , 3 , 4 , 5 と表示します。

③ **╋ マーク**
　スクロールした場所の中心地点に表示されます。

④ **目的地マーク**
　設定された目的地 *(P55)* を示します。

⑤ 決定
　地点メニュー *(P39)* を表示します。
　目的地や経由地、登録地の設定が行えます。

⑥ 微調整
　╋ マーク位置を微調整できます。
　→ *「スクロールの微調整」(P48)*

⑦ **ランドマーク**
　商標や観光地などをマークで示します。

⑧ 戻る
　1 つ前に戻ります。

アドバイス

- 道幅の狭い一部の道路 (細街路) は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。
- ⑦ランドマークは [表示の設定] の「ランドマーク」で [表示しない] に設定すると地図画面から表示を消すことができます。
  → *「NAVI の設定」(P269)*
- ⑦ランドマークは種類ごとに表示有無を選ぶことができます。
  → *「ランドマークの表示を個別に設定する」(P275)*

■ 各アイコンについて

現在地画面 *(P36)* に表示されるアイコンについて説明します。

アドバイス

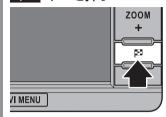
- 各アイコンは [表示の設定] の「アイコン選択」で表示有無を選ぶことができます。→ *「NAVI の設定」(P269)*

(Bluetoothアイコン)	Bluetooth 接続されていると表示します。 → *「Bluetooth の設定」(P279)*
(電波アイコン)	電波の強度を表示します。ローミング使用時は、(ローミングアイコン) を表示します。
TEL	電話を使用すると表示します。 電話操作パネル *(P250)* を再表示します。
(ETCアイコン) (緑色)	タイプ別装備の ETC 車載器または DSRC 車載器が本機に接続されていると表示します。ETC カード未挿入の場合は (ETCアイコン) (橙色) を表示します。
AV アイコン	現在使用しているオーディオソースの状態を表示します。 タッチするとオーディオ画面に切り換えることができます。 詳しくは、*「AV アイコンについて」(P112)* をご覧ください。

目的地メニューを表示する

目的地の設定は、このメニュー画面から行えます。

1 (目的地) キーを押す

▼

目的地メニューを表示します。

地点メニューを表示する

スクロール *(P48)* した ✛ 地点を目的地に設定したり登録地に設定したりすることができます。

アドバイス

- 検索結果で表示される地図画面からも [決定] にタッチすることで、地点メニューを表示することができます。

1 **スクロール画面で、 決定 にタッチする**

▼

地点メニューが表示され、✛ マークから ↖ マークに変わります。

ここへ行く	↖ 地点を目的地に設定することができます。 → *「目的地に設定する」(P50)*
ここへ寄る	↖ 地点を経由地に設定することができます。 → *「経由地に設定する」(P50)*
登録する	↖ 地点を登録することができます。→ *「登録地に設定する」(P51)*
周辺施設	↖ 地点周辺の施設を探すことができます。 → *「周辺の施設を探す」(P51)*
戻る	1 つ前の画面に戻ります。

アドバイス

- 目的地 / 登録地を設定する際、✛ 地点に有料道路や高速道路、トンネルがある場合、どの位置に設定するか選択します。([高速道路],[有料道路],[一般道路] または [トンネル] を選択する画面を表示します。)

NAVI

基本操作

サブメニューを表示する

ここでは、現在地画面 *(P36)* から表示するサブメニューの表示方法を説明します。

1 現在地画面で ▲ にタッチする

▼

サブメニューを表示します。

アドバイス

- 本書ではサブメニューを表示するためのタッチスイッチを ▲ と記載しています。
- ▲ が表示されている画面であれば、タッチすることでその機能ごとのサブメニューを表示することができます。
- ▼ にタッチするとサブメニューを閉じます。

現在地画面を表示する

スクロール画面 *(P37)* や目的地メニュー *(P24)*、地点メニュー *(P39)* などから現在地画面 *(P36)* を表示することができます。

アドバイス

- AV 画面や INFO 画面などその他の機能からも現在地画面を表示することができます。

1 MAP キーを押す

▼

ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。

地図画面を選択する

地図の種類や基準向きを切り換えることができます。

1 “方位アイコン” にタッチする

2 “種類” または “基準向き” のいずれかにタッチする

3 決定 にタッチする

▼

地図の種類または基準向きが切り換わります。

アドバイス

- 地図の種類と基準向きは別々に選択することができます。
- スタンダード 2 画面の右画面を変更する場合は、右画面側の方位アイコンにタッチします。

但し、左画面に 3D ビューマップは表示できません。

地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

■ スタンダード

標準的な地図を 1 画面に表示します。

■ スタンダード 2 画面

縮尺が違う 2 つの地図を同時に表示することができます。

アドバイス

- 右画面を 3D ビューマップにすることができます。

NAVI

基本操作

■ 高速略図

現在地を起点とした高速出入り口やサービスエリアの一覧を表示します。

アドバイス

- 高速略図では、さまざまな情報を確認することができます。
→*「高速道路情報について」(P52)*
- 高速略図を選択するには高速道路を走行している必要があります。
- 1画面(全面)に表示することはできません。
- 各施設までの距離および情報を調べることができます。

■ ルート一覧

目的地までのルート前方にある右左折する必要がある交差点のリストを表示します。
(→P72)

お知らせ

- 最大で3箇所の交差点名を表示することができます。
- リストにタッチすると、タッチした交差点周辺の地図を表示します。

■ PsideP

サブ画面を表示し、オーディオの状態や走行情報などと地図を同時に表示します。サブ画面に表示する情報は切り換えることができます。
→*「P side P の表示情報を切り換える」(P43)*

地図の基準向きについて

切り換えることのできる地図の基準向きについて説明します。

■ 2D(自車基準)

自車の進行方向を上とした地図を表示します。

■ 2D(北基準)

北を上とした地図を表示します。

■ 3D

上空から見下ろした地図を表示します。

アドバイス

- [NAVI MENU] キー→ [表示の設定] →「3D 視点」の [変更する] にタッチすると、角度を切り換えることができます。
→ *「3D の視点を切り換える」(P49)*

P side P の表示情報を切り換える

P side P のサブ画面に表示する情報を切り換えます。

1 “方位アイコン”にタッチする

方位アイコン

2 PsideP にタッチする

3 決定 にタッチする

4 切換 にタッチする

5 表示したい“項目”にタッチする

▼

選んだ項目の画面を左画面に表示します。

NAVI

基本操作

案内表示について

本機では状況に応じて、さまざまな案内を表示します。

交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。
交差点までの距離や交差点名、方面名称を表示します。

アドバイス

- 手動で表示する場合は、“交差点案内アイコン”にタッチしてください。

交差点案内アイコン

■ リアル交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。
(データがある交差点のみ)
曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。

都市高速入口イラストマップ

ルート走行中、都市高速道路に進入する際に表示します。

注 意

- 自車位置マークは表示されません。
- 同じ入口でも進入方向によっては表示されない場合があります。

料金所案内図

走行中に料金所に近づくと表示します。

注 意

- 自車位置マークは表示されません。
- すべての料金所を案内するわけではありません。

県境案内

走行中、本機のシステムが県境を越えると判断したとき都道府県名の表示と音声で案内します。

[音声の設定] の「県境案内」で案内有無を選ぶことができます。

→「音声の設定」(P271)

県境案内

レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。

[音声の設定] の「レーン案内」で案内有無もしくはルート案内時のみを選ぶことができます。→「音声の設定」(P271)

レーン情報

アドバイス

- 「高速略図」、「PsideP」および「ルート一覧」表示中は表示されません。
- ルート走行中の場合はおすすめレーンが黄色で表示され、ルートに沿って走行できるレーンは水色で表示します。
- 音声による案内を行うレーンもあります。
- 矢印で指し示した交差点のレーン情報を表示しています。
- すべてのレーンを案内するわけではありません。
- 実際のレーン状況と異なる場合があります。

3D リアルジャンクション

高速道路の分岐点が近づくと、3D の静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

注 意

- 自車位置マークは表示されません。
- 実際のジャンクションの形状と異なる場合があります。

側道案内

高架道路を走行中、側道への分岐点に近づくと表示します。

アドバイス

- すべての高架道路の分岐点を案内するわけではありません。

NAVI

基本操作

カーブ案内

速い速度でカーブを走行しようとすると音声で警告します。
[音声の設定] の「カーブ案内」を [案内する] にしておく必要があります。
→ *「音声の設定」(P271)*

合流案内

ルート走行中、500m 前方に合流地点が存在する場合、音声で案内します。
[音声の設定] の「探索ルート上の合流案内」を [案内する] にしておく必要があります。
→ *「音声の設定」(P271)*

踏切案内

ルート走行中、100m 前方に踏切が存在する場合、音声で案内します。
[音声の設定] の「ルート上の踏切案内」を [案内する] にしておく必要があります。
→ *「音声の設定」(P271)*

ルート案内中のサブメニューについて

ルート案内中に表示できるサブメニューについて説明します。

ルート確認	全ルートまたは残ルートの確認が行えます。→*「全ルート／残ルートを確認する」(P73)*
ルート変更	別ルートの探索 *(P83)* や経由地の削除 *(P80)* などが行えます。
現在地登録	現在の自車位置を登録することができます。*(P88)*
案内ストップ，案内スタート	ルート案内の一時中断と再開が行えます。
ナビ音量設定	ナビ音量の設定が行えます。*(P293)*

アドバイス

- [現在地登録] と [ナビ音量設定] は、ルート案内中以外でも操作は行えます。

地図を操作する

スケールの切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

スケールの切り換え

広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

1 "スケールアイコン" にタッチする

スケールアイコン

スケール変更バー

スケール変更バーを表示します。

2 詳細 にタッチする

タッチするたびに詳細に表示します。

3 広域 にタッチする

タッチするたびに広域に表示します。

アドバイス

- [詳細] または [広域] を押し続けることで連続的にスケールを切り換えることができます。

■ 市街地地図について

スケールを 10/25/50m にするとビルや家の形まではっきりと見える市街地地図を表示することができます。

アドバイス

- 50m スケールには "通常の地図表示" と "市街地地図表示" の 2 種類があります。
- 地域によっては市街地地図が表示されない場合があります。

地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。

1 見たい場所にタッチする

▼

＋マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- [戻る] にタッチすると現在地画面 *(P36)* に戻ることができます。
- 押し続けることで連続的にスクロールすることができます。
- [決定] にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →*「地点メニューからの操作」(P50)*

■ スクロールの微調整

スクロール位置の微調整を行います。

1 スクロール後、[微調整] にタッチする

2 方向にタッチする

数回タッチし、微調整を行います。

3 [微調整切] にタッチする

▼

微調整を終了します。

■ スクロール方面名称表示について

画面がスタンダード *(P41)* のとき、スクロールすると 4 方向に隣接する行政区域名称を表示します。

表示される名称はスケールによって異なります。

1km スケール以下	市区町村名
2 ～ 10km スケール	都道府県名

アドバイス

- [表示の設定] の「スクロール方面名称」で表示有無を選ぶことができます。
  →*「表示の設定」(P273)*

■ 建物情報を見る

スクロール画面 *(P37)* の ＋ 地点が 👉 に変わると建物情報を表示することができます。

1 建物 にタッチする

▼

建物の情報を表示します。

アドバイス

- 建物内に会社、店などがある場合は、建物内にある店舗リストを表示します。店舗にタッチしてください。

■ 施設の画像情報を見る

スクロール画面 *(P37)* の ＋ 地点を 📷 に合わせて、👉 に変わると画像情報を確認することができます。

1 📷 にタッチする

▼

施設の画像情報を表示します。

3D の視点を切り換える

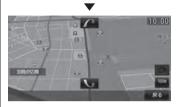
地図基準向きの 3D*(P43)* の視点角度を変更することができます。

1 NAVI MENU キーを押す

Navi メニューを表示します。

2 表示の設定 にタッチする

3 「3D 視点」の 変更する にタッチする

▼

3D 視点の切り換え画面を表示します。

4 ↗ または ↘ にタッチし、角度を変更する

5 戻る にタッチする

▼

3D 視点の切り換えが完了します。

地点メニューからの操作

地点メニューを表示すると目的地や経由地、登録地などの設定が行えます。

目的地に設定する

スクロール画面 *(P37)* の ＋ 地点を目的地に設定します。

アドバイス

- すでにルートが設定されている場合は、そのルートを消去して ＋ 地点を新しい目的地として設定します。

1 地点メニューを表示する *(P39)*

2 ［ここへ行く］にタッチする

▼

探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

3 ［案内開始］にタッチする

▼

目的地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

経由地に設定する

スクロール画面 *(P37)* の ＋ 地点を経由地に設定します。

アドバイス

- 目的地を設定している必要があります。

1 地点メニューを表示する *(P39)*

2 ［ここへ寄る］にタッチする

▼

探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

3 ［案内開始］にタッチする

▼

目的地、経由地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

登録地に設定する

スクロール画面 *(P37)* の ＋ 地点を登録地に設定します。

1 地点メニューを表示する *(P39)*

2 登録する にタッチする

▼

探した場所に マークが表示され、登録地情報画面 *(P89)* を表示します。

3 終了 にタッチする

▼

地点の登録が完了します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
  →「登録地情報を変更する」*(P89)*

周辺の施設を探す

スクロール画面 *(P37)* の ＋ 地点周辺の施設を探します。
ここでは、例として ＋ 地点周辺のコンビニを探します。

1 地点メニューを表示する *(P39)*

2 周辺施設 にタッチする

3 “ジャンル”の 買物 にタッチする

ジャンル

4 “分類”の コンビニエンスストア にタッチする

分類

リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順 6 に進みます。

5 いずれかの“詳細な分類”にタッチする

6 探している“施設”にタッチする

▼

選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

NAVI 基本操作

高速道路情報について

高速道路を走行すると高速略図を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認することができます。

アドバイス

本書で使用している高速道路の略語は以下の通りです。

- SA：サービスエリア
- PA：パーキングエリア
- IC：インターチェンジ
- JCT：ジャンクション

表示内容について

① **路線名**
現在、高速略図に表示されている高速道路の路線名を表示します。

② **施設名と残距離表示**
SA,PA,IC,JCT の名称と自車位置からの距離を表示します。
降りることのできないICは色が変わります。
1km 未満は「－－－」と表示し、最大999km まで表示します。

③ **VICS 記号表示**
IC,JCT などの施設を拠点とした規制は右側に表示します。
各区間中にある規制は左側に表示します。
→ *「VICS 記号について」(P97)*

④ **VICS 情報表示**
渋滞情報を表示します。
(赤＝渋滞、橙＝混雑、青＝順調)

⑤ **自車表示**
現在地から最も近い施設がリストに表示しているときに表示します。

⑥ **施設情報**
入口情報や到着予想時刻、施設の情報を表示します。
SA,PA の場合
この場所にある施設のマークを表示します。
IC の場合
施設情報は表示しません。
JCT の場合
この場所より分岐している路線を選択することができます。

⑦ **スマート IC アイコン**
スマート IC がある施設に表示します。

⑧ **到着予想時刻**
施設に到着する予想時刻を表示します。

施設の情報について

施設の情報が表示されます。
(最大 20 件表示できます)

アイコン	マークの説明
	ガソリンスタンド (例 :JX 日鉱日石エネルギー)
	コンビニエンスストア (例 : ファミリーマート)
	レストラン
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	ドラッグストア
	ハイウェイ情報ターミナル
	サービスエリア・コンシェルジュ
	休憩所
	身障者施設
	温泉 / お風呂
	コインシャワー
	コインランドリー
	洗車
	FAX サービス
	郵便ポスト
	ATM
	トイレ

表示するには

工場出荷時の設定では高速道路を走行すると自動で高速略図を表示するのでこの操作は必要ありません。

アドバイス

- [表示の設定] の「高速略図自動表示」を [自動表示しない] にしていた場合にこの操作を行います。
  → *「表示の設定」(P274)*
- 高速道路上に自車がない場合、高速略図を表示することはできません。

1 “方位アイコン”にタッチする

方位アイコン

2 高速略図 にタッチする

▼

高速略図を表示します。

各エリアの情報を確認する

SA,PA,IC,JCT の各エリアの情報および周辺の地図を確認することができます。

1 [∨] または [∧] にタッチする

▼

高速略図を前に進めたり戻したりできます。また、施設情報を表示します。

アドバイス

- 自車より後方には戻せません。
- [≫] または [≪] にタッチすると、SA や PA ごとに進めたり戻したりできます。

2 “確認したい施設”にタッチする

3 [地点表示] または [イラストマップ表示] にタッチする

[イラストマップ表示] は SA,PA の施設を選んだときのみ選択することができます。

▼

選んだ画面を表示します。

アドバイス

- イラストマップは、情報がある SA,PA のみ表示します。
- [決定] にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ *「地点メニューからの操作」(P50)*

■ JCT を選択した場合

1 [∨] または [∧] にタッチし、“JCT”を選ぶ

2 “確認したい路線”にタッチする

▼

選んだ路線の高速略図を表示します。

目的地の設定

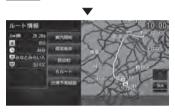
自宅を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅 *(P86)* を目的地に設定します。

1 [目的地] キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 [自宅] にタッチする

▼

探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

アドバイス

- 自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。→ *「自宅を登録する」(P86)*
- 走行中はここまでの操作でルート案内を開始します。

3 [案内開始] にタッチする

▼

自宅を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすテロップが表示されます。

- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

特別登録地を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた特別登録地 *(P87)* を目的地に設定します。

1 [🏁] キーを押し、[▲] にタッチする

特別登録地の番号を表示します。

2 呼び出したい“番号”にタッチする

▼

探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

アドバイス

- 特別登録地を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。*「特別登録地を登録する」(P87)* の手順 5 以降をご覧ください。
- 走行中はここまでの操作でルート案内を開始します。

3 [案内開始] にタッチする

▼

特別登録地を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすテロップが表示されます。

- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

探した場所を目的地に設定する

「場所を探す」(P58) から探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

1 [旗] キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 いずれかの"検索方法"にタッチし、場所を探す

→「場所を探す」(P58 ～ P69)

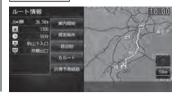
3 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする

アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 [ここへ行く] にタッチする

5 [案内開始] にタッチする

▼

探した場所を目的地としたルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすテロップが表示されます。

- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

場所を探す

本機では、さまざまな方法で場所を探すことができます。
ここで探した場所は、目的地 *(P55)* や経由地 *(P78)*、登録地 *(P86)* を設定するときに使用します。
ここでは、目的地メニュー *(P24)* からの検索方法を説明します。

登録地を呼び出す

登録地を呼び出します。

1 [ ] キーを押し、[登録地] にタッチする

登録地のリストを表示します。

2 呼び出したい“地点”にタッチする

▼

呼び出した地点周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  → *「地点メニューからの操作」(P50)*
- 周辺の地図が表示されているとき、[▲] → [1 件消去] にタッチすると、この登録地を消去することができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、[▲] → [詳細情報] にタッチすると登録地情報画面を表示します。
  → *「登録地情報画面について」(P89)*

検索履歴を利用する

検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点や地図スクロール操作から設定した目的地、登録した地点であれば、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

アドバイス

- 過去に検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがない場合はリスト表示されません。
- 検索履歴は新しいものから最大 50 件記録されます。

1 [ ] キーを押し、[履歴] にタッチする

検索履歴のリストを表示します。

2 探している“場所”にタッチする

▼

選んだ場所周辺の地図と情報を表示します。

■ 検索履歴を消去する

登録されている検索履歴を消去することができます。

1 検索履歴のリストを表示する *(P58)*

2 [∨] , [∧] で消去したい“場所”にカーソルを合わせる

3 [▲] にタッチする

4 いずれかの“消去方法”にタッチする

1 件消去	現在選ばれている場所を履歴から消去します。
選択消去	複数の場所を選んで [消去] にタッチすると履歴から消去します。
全消去	登録されているすべての履歴を消去します。

5 [消去する] にタッチする

▼

検索履歴の消去が完了します。

住所から探す

住所から場所を探します。

1 [ ] キーを押し、[住所] にタッチする

2 いずれかの“都道府県”にタッチする

3 探している“住所”にタッチしていく

▼

周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- [○○主要部] で主要部を表示することもできます。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  → *「地点メニューからの操作」(P50)*

■ 番地を直接入力する

番地を直接入力することができます。

1 *「住所から探す」(P59)* の手順 3 まで操作する

2 番地のリストが表示されたら [▲] にタッチする

3 [数字入力] にタッチする

4 探している"番地"や"号"をタッチして入力する

5 [決定] にタッチする

周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 主要部を表示することもできます。
- 地図データに収録されている番地情報の整備状況により番地・号を入力しても、その地域の代表地点が表示される場合があります。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  → *「地点メニューからの操作」(P50)*

施設名称を入力して探す

施設の名称を入力し場所を探します。

1 [🏁] キーを押し、[名称] にタッチする

2 探している"施設名称"を入力する

施設名称はすべて入力しなくても検索は行えます。

3 [検索] にタッチする

4 探している"施設"にタッチする

▼

選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 選んだ施設に駐車場があった場合は、駐車場周辺の地図を表示します。[次の地点]、[前の地点] にタッチすることで施設や他の駐車場周辺の地図に切り換えることができます。
- [▲] にタッチすると、検索結果の絞り込みが行える [絞り込み設定]*(P61)* や検索キーワードの変更が行える [キーワード変更]*(P61)* を選ぶことができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  → *「地点メニューからの操作」(P50)*
- 周辺の地図表示中の情報に ℹ マークがあった場合、[▲] → [文字情報] にタッチすると文字情報を確認することができます。

■ 検索結果を絞り込む

検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。

1 *「施設名称を入力して探す」(P60)* の手順 3 まで操作する

2 [▲] にタッチし、[絞り込み設定] にタッチする

3 いずれかにタッチする

地域で絞り込む	5 つの地域まで選択して絞り込むことができます。
ジャンルで絞り込む	5 つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。

4 絞り込みたい"項目"にタッチしていく

5 [決定] にタッチする

▼

検索結果を表示します。

お知らせ

- [地域で絞り込む] を選択していた場合、検索結果で都道府県を変更すると自動的に [地域で絞り込む] を解除します。

■ 絞り込みを解除する

1 *「施設名称を入力して探す」(P60)* の手順 3 まで操作する

2 [▲] にタッチし、[絞り込み設定] にタッチする

3 いずれかにタッチする

○○絞り込みを解除する	選んだ絞り込み条件の設定を解除します。
絞り込みを解除する	すべての絞り込み条件の設定を解除します。

4 [解除する] にタッチする

絞り込みの解除が完了します。

■ 検索キーワードを変更する

検索した後、別の検索キーワードに変更して検索しなおすことができます。

1 *「施設名称を入力して探す」(P60)* の手順 3 まで操作する

2 [▲] にタッチし、[キーワード変更] にタッチする

3 検索しなおしたい"キーワード"を入力する

→ *「施設名称入力用キーボード」(P22)*

4 [決定] にタッチする

▼

検索結果を表示します。

施設ジャンルから探す

ジャンル別に施設を探します。
ここでは、例としてコンビニを探します。

1 キーを押し、[ジャンル] にタッチする

2 “ジャンル”の [買物] にタッチする

3 “分類”の [コンビニエンスストア] にタッチする

リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順 5 に進みます。

4 いずれかの“詳細な分類”にタッチする

5 いずれかの“都道府県”にタッチする

6 探している“施設”にタッチする

▼

選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 手順 5 で [自県] にタッチすると、現在地の都道府県を選択することができます。
- P マークのある施設では駐車場周辺の地図を表示します。
  → *「駐車場のある施設について」(P65)*
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  → *「地点メニューからの操作」(P50)*
- 周辺の地図表示中の情報に i マークがあった場合、[▲] → [文字情報] にタッチすると文字情報を確認することができます。

■ 検索結果を並び換える

検索結果を並び換えることができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P62) の手順 5 まで操作する

2 [▲] にタッチし、いずれかにタッチする

50 音順	施設を 50 音順に並び換えます。
距離順	施設を距離順に並び換えます。
地域順	施設を地域順に並び換えます。
ジャンル順	詳細 マークのあるジャンルで [すべての○○] を選んだとき、施設をジャンル順に並び換えることができます。但し、施設名称で検索している場合や 詳細 マークのないジャンルでは使用できません。また、詳細 マークのジャンルでも個別のジャンルを選んだ場合は使用できません。
距離順基準位置	検索結果を [距離順] で並び換えたときの基準を変更することができます。 → *「距離順並び換え時の基準位置を変える」(P63)*
絞り込み設定	検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。 → *「検索結果を絞り込む」(P64)*

距離順並び換え時の基準位置を変える

検索結果を [距離順] で並び換えたときの基準を変更することができます。

アドバイス

- 距離順に並び換えていない場合は選べません。

1 「検索結果を並び換える」(P63) の手順 2 で [距離順基準位置] にタッチする

2 いずれかにタッチする

自車位置	自車位置を基準に施設が距離順に表示されます。
地図位置指定	現在地周辺の地図が表示されますので、地図をスクロールし [決定] にタッチします。 その決めた地点を基準に、施設が距離順に表示されます。

■ 検索結果を絞り込む

検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。

1 *「施設ジャンルから探す」(P62)* の手順 5 まで操作する

2 [▲] にタッチし、[絞り込み設定] にタッチする

3 いずれかにタッチする

地域で絞り込む	5 つの地域まで選択して絞り込むことができます。
ジャンルで絞り込む	5 つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。
キーワードで絞り込む	キーワード 3 語まで指定して絞り込むことができます。

4 絞り込みたい“項目”にタッチしていく

5 [決定] にタッチする

▼

検索結果を表示します。

■ 絞り込みを解除する

1 *「施設ジャンルから探す」(P62)* の手順 5 まで操作する

2 [▲] にタッチし、[絞り込み設定] にタッチする

3 いずれかにタッチする

○○絞り込みを解除する	選んだ絞り込み条件の設定を解除します。
絞り込みを解除する	すべての絞り込み条件の設定を解除します。

4 [解除する] にタッチする

▼

絞り込みの解除が完了します。

■ 駐車場のある施設について

施設を検索する際に、P マークのある施設を選択するとその施設の駐車場周辺の地図を表示します。

1 *「施設ジャンルから探す」(P62)* の手順 5 まで操作する

2 P マークの施設にタッチする

▼

選んだ施設の駐車場周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図表示中、[次の地点]、[前の地点] にタッチすることで施設や他の駐車場周辺の地図に切り換えることができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  → *「地点メニューからの操作」(P50)*

■ 文字情報のある施設について

施設を検索後、周辺の地図を表示させたとき、情報に i マークがあるとその施設に関する文字情報を確認することができます。

1 *「施設ジャンルから探す」(P62)* の手順 6 まで操作する

2 [▲] にタッチする

3 [文字情報] にタッチする

▼

選んだ施設に関する文字情報を表示します。

周辺の施設を探す

現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。
ここでは、例としてコンビニを探します。

アドバイス

- 目的地を設定している場合は現在地周辺・目的地周辺・ルート周辺の施設 (ガソリンスタンドやコンビニなど) を探します。
- 目的地を設定していない場合は現在地周辺の施設を探します。

1 ［🏁］キーを押し、［周辺施設］にタッチする

目的地を設定していない場合は、手順 3 に進みます。

2 検索したい“エリア”にタッチする

3 “ジャンル”の［買物］にタッチする

4 “分類”の［コンビニエンスストア］にタッチする

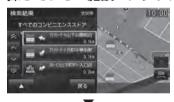
リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順 6 に進みます。

5 いずれかの“詳細な分類”にタッチする

6 探している“施設”にタッチする

▼

選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 地図スクロールからの地点メニューでも周辺検索を行うことができます。
  → *「地点メニューを表示する」(P39)*
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  → *「地点メニューからの操作」(P50)*
- 周辺の地図表示中の情報に ℹ マークがあった場合、［▲］→ [文字情報] にタッチすると文字情報を確認することができます。

電話番号から探す

探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。

1 [ ] キーを押し、[電話番号] にタッチする

2 “電話番号”を入力する

→「文字入力のしかた」(P20)

▼

電話番号をすべて入力すると、該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- 電話番号は市外局番から入力する必要があります。
- 電話番号の途中で検索するときは [決定] にタッチしてください。
- 個人宅の検索はできません。
- タウンページに掲載の電話番号に一致した場合は、その施設周辺の地図を表示します。
- 市外局番だけ入力した場合や、途中までしか該当する電話番号がなかった場合は、代表地点の 1km スケールの地図を表示します。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →「地点メニューからの操作」(P50)

おすすめ施設から探す

3D ポリゴンランドマークや季節のスポット、100 選などのおすすめ施設から場所を探すことができます。

1 [ ] キーを押し、[おすすめ施設] にタッチする

2 “カテゴリー”にタッチする

[3D ポリゴンランドマーク] を選択した場合は、手順 4 に進みます。

3 “ジャンル”にタッチする

選んだカテゴリーによっては、事前に季節や施設などを選ぶ必要があります。

4 探している“施設”にタッチする

[季節のスポット] を選択した場合は、都道府県を選ぶ必要があります。

アドバイス

- [▲ 地方],[▼地方],[▲ 都道府県],[▼ 都道府県] にタッチすると、地方や都道府県ごとにリストを送ることができます。

- [i] マークにタッチすると、施設の文字情報が確認できます。
- [カメラ] マークにタッチすると、施設の写真情報を確認できます。

▼

選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

■ おすすめ施設について

選べるカテゴリーは以下のとおりです。

おすすめスポット	星のきれいなスポットや地ワインなどのさまざまなジャンルから選ぶことができるカテゴリーです。
3D ポリゴンランドマーク	3D マップで表示できる 3D ポリゴンランドマークを探すことができるカテゴリーです。
100 選	あらゆるジャンルの 100 選を探すことができるカテゴリーです。
季節のスポット	春夏秋冬ごとの旬なスポットを探すことができるカテゴリーです。

郵便番号から探す

探している場所の郵便番号が分かっている場合に使用します。

1 [地図キー] キーを押し、[more] にタッチする

2 [郵便番号] にタッチする

3 “郵便番号”を入力する

▼

郵便番号をすべて入力すると該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- 郵便番号は 7 桁すべて入力してください。
- 該当する地点が複数ある場合は、地点のリストを表示します。探している地点にタッチしてください。

- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ *「地点メニューからの操作」(P50)*

MAPCODE を利用する

ガイドブックなどで記載されている 1 ～ 12 桁の番号 (MAPCODE) を利用できます。

1 キーを押し、 more にタッチする

2 MAPCODE にタッチする

3 “MAPCODE” を入力する

4 決定 にタッチする

▼

該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

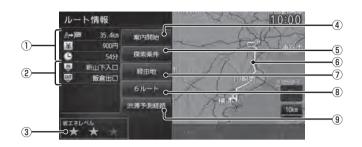
- “～ ＊ ○○” までの MAPCODE を入力すると [決定] にタッチする操作は必要ありません。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  → *「地点メニューからの操作」(P50)*

MAPCODE とは

特定の場所の位置データをコード化し、1 ～ 12 桁の番号と「 ＊ 」(アスタリスク) でその場所を特定することができるものです。
従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
MAPCODE に関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ
電話番号　0566-61-4210
受付時間　10:00 ～ 12:00
　　　　　13:00 ～ 16:00
　　　　　(土・日、会社休日を除く)
ホームページ
http://guide2.e-mapcode.com/

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。
この画面でできる操作について説明します。

① **ルートの情報**
現在探索されているルートの総距離、料金、所要時間を表示します。

② **利用するインターチェンジ**
高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

③ **省エネレベル**
6 ルートから省エネルートを選択したときに表示します。→ *「6 つのルートから選ぶ」(P81)*
有料 (推奨) で探索したルートと比べてどのくらい燃費節約ができているかの度合いを確認することができます。

④ **案内開始**
現在探索されているルートの案内を開始します。

⑤ **探索条件**
目的地までのルートの探索条件を変更することができます。
→ *「探索条件を変更する」(P76)*

⑥ **ルート表示**
現在探索されているルートの概略を表示します。

⑦ **経由地**
経由地の追加や変更が行えます。
→ *「経由地の設定・変更」(P78)*

⑧ **6 ルート**
異なる条件で探索する 6 つのルートから好みのルートを選ぶことができます。
→ *「6 つのルートから選ぶ」(P81)*

⑨ **渋滞予測経路** ※1 / **通常経路**
[渋滞予測経路] にタッチすると、過去の統計データに基づいて予測した渋滞情報 (渋滞や混雑しやすいポイント、時間帯など) を考慮したルートを探索します。
[通常経路] にタッチすると、通常のルートを探索します。

※ 1　渋滞予測経路の元となる道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センター (JARTIC) から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICS センター) の技術が用いられています。

観光ルートを設定する

観光コースを都道府県ごとに探し、ルートを設定します。

1 ［🏁］キーを押し、［more］にタッチする

2 ［観光ルート］にタッチする

3 いずれかの“地方”にタッチする

4 いずれかの“都道府県”にタッチする

5 お好みの“コース”にタッチする

6 ［案内開始］にタッチする

▼

観光コースのルート案内を開始します。

アドバイス

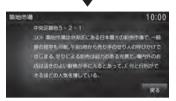
- 個別に通過したくない地点がある場合は、[通らない] にタッチします。
- 地点にタッチすると、周辺の地図を表示することができます。

■ 文字情報を表示する

［i］が表示されている地点は、地点の住所や電話番号などの情報を見ることができます。

1 *「観光ルートを設定する」（P71）*の手順 5 まで操作する

2 見たい地点の［i］にタッチする

▼

選んだ地点の文字情報を表示します。

NAVI

目的地の設定

ルートの確認・変更

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

次に曲がる交差点を確認する

走行中のルートで前方に右左折する必要がある交差点がある場合は、前もって音声案内と交差点案内図を表示させることができます。

アドバイス

- ルートを走行している必要があります。
- 地図の状態によっては音声のみの案内となります。
- 直進を示すアイコンの場合は、タッチしても案内図を表示しません。

1 現在地画面で“交差点案内アイコン”にタッチする

交差点案内アイコン

▼

次に曲がる交差点の拡大図を表示します。

■ ルート一覧で確認する

目的地までのルート前方にある右左折する必要がある交差点のリストを表示します。

1 現在地画面で“方位アイコン”にタッチする

2 ルート一覧 にタッチする

3 決定 にタッチする

▼

ルート前方の曲がる交差点のリストを表示します。

お知らせ

- 最大で３箇所の交差点名を表示することができます。

全ルート / 残ルートを確認する

出発地から目的地までのルート (全ルート) または現在地から目的地までのルート (残ルート) を確認することができます。

1 現在地画面で [▲] にタッチする

2 [ルート確認] にタッチする

3 [全ルート] または [残ルート] にタッチする

▼

全ルートまたは残ルートを表示します。

■ 地図上のアイコン種類

アイコン	説明
S	出発地を表します。
G	目的地を表します。
1	設定された経由地を表します。
IN	高速道路の入口を表します。
OUT	高速道路の出口を表します。

■ 目的地・経由地の位置を確認する

目的地や経由地の周辺の地図を確認することができます。

1 全ルートまたは残ルート表示中、[▲] にタッチする

2 [目的地] または [経由地○] にタッチする

▼

選んだ地点周辺の地図を表示します。

アドバイス

- 経由地を設定している場合は、[目的地] にタッチした後、[経由地○] を表示します。経由地がない場合は表示されません。
- 経由地を複数設定している場合、[経由地 1] → [経由地 2] と押すたびに切り換わります。
- [戻る] にタッチすると、全ルートまたは残ルート表示に戻ります。

■ 詳細情報を確認する

全ルート表示中に、現在地から目的地までの距離や所要時間、料金や使用する高速道路の情報を確認することができます。

お知らせ

- 一部の有料道路では、料金が計算に加わらない場合があります。また、新設された有料道路などの料金は対応しておりません。
- 高速料金の表示は状況 (乗り継ぎ経路が異なる場合など) により正しく表示されない場合があります。

1 全ルートまたは残ルート表示中、［▲］にタッチする

2 ［詳細情報］にタッチする

▼

詳細情報を表示します。

アドバイス

- [戻る] にタッチすると、全ルートまたは残ルート表示に戻ります。

■ ルートを確認する

確認するルート上をなぞるようにスクロールさせ周辺の地図を確認することができます。

アドバイス

- 確認中は地図の種類が 2D(北基準) での表示となります。

1 全ルートまたは残ルート表示中、［▲］にタッチする

2 ［ルート確認］にタッチする

▼

自動的にカーソル位置から目的地に向けてスクロールします。

3 ルートの"確認方法"にタッチする

▼

選んだ確認方法によって地図が切り換わります。

確認方法の種類

▲ 地図	現在地周辺の地図を表示します。
後退	カーソル位置→現在地に向けてスクロールします。
前進	カーソル位置→目的地に向けてスクロールします。
G 地図	目的地周辺の地図を表示します。
1 地図	経由地周辺の地図を表示します。設定した経由地の数だけ選択することができます。経由地がない場合は表示されません。
一時停止	後退または前進時のスクロールを停止します。
戻る	スクロールが終了します。

デモ走行を見る

作成したルートを仮想的に走行させ確認することができます。

アドバイス

- 実際の走行時において目的地に到着していた場合はデモ走行を行うことはできません。

1 **NAVI MENU キーを押す**

Navi メニューを表示します。

2 **ルートのデモ開始 にタッチする**

▼

「デモ中」と表示され、デモ走行を開始します。

■ 終了するには

1 **デモ走行中、NAVI MENU キーを押す**

Navi メニューを表示します。

2 **ルートのデモ終了 にタッチする**

▼

デモ走行を終了します。

アドバイス

この操作以外にも次のいずれかの条件が満たされるとデモ走行は終了します。

- 実際に走行を開始した。
- 目的地や経由地の位置を変更した。
  または、消去した。
- エンジンスイッチを“OFF”にした。
- 探索条件を変更した。

ルートの変更

設定したルートは迂回ルートや別ルートを設定することができます。また、ルートの探索方法を変更することができます。

1 **NAVI MENU キーを押す**

Navi メニューを表示します。

2 **[ルートの編集] → [ルート編集] にタッチする**

▼

探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

探索条件を変更する

ルートの探索条件を変更することができます。

■ 経由地がない場合

現在地から目的地までのルートで探索条件を変更することができます。

1 **探索条件設定画面で [探索条件] にタッチする**

2 **設定したい"探索条件"にタッチする**

▼

設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

■ 経由地がある場合

現在地から目的地までのルート全区間や現在地から経由地、経由地から経由地、経由地から目的地などの区間ごとに探索条件を設定することができます。

1 探索条件設定画面で [探索条件] にタッチする

2 [全区間] または [区間毎] にタッチする

[全区間]を選んだ場合は、手順4に進みます。

3 変更したい“区間”にタッチする

4 設定したい“探索条件”にタッチする

手順 2 で [区間毎] を選んだ場合は、手順 3 ～ 4 を繰り返し、すべての区間の条件を設定します。

5 [決定] にタッチする

▼

設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

■ 探索条件の種類について

探索条件は以下の中から選ぶことができます。

有料 (推奨)	目的地 (経由地) まで、できるだけ有料道路を使用するルートを探索します。
省エネ	目的地 (経由地) まで、できるだけ燃費節約となるルートを探索します。
一般 (推奨)	目的地 (経由地) まで、できるだけ一般道路を使用するルートを探索します。
距離	目的地 (経由地) まで、できるだけ距離が短くなるルートを探索します。

経由地の設定・変更

アドバイス

- 目的地が設定されている状態で操作してください。
- 経由地は、最大 5 ヶ所まで設定できます。

■ 経由地を設定する

現在、経由地が設定されていない状態での経由地の設定方法を説明します。

アドバイス

- 地点メニュー*(P39)*からでも経由地を設定することができます。

1 探索条件設定画面で 経由地 にタッチする

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面

→*「検索方法選択画面について」(P79)*

3 探した場所が表示されたら 決定 にタッチする

▼

経由地が設定され、探索条件設定画面*(P70)*を表示します。

■ 経由地を追加する

すでに 1 つ以上の経由地が設定されている状態で、経由地の追加方法を説明します。

1 探索条件設定画面で 経由地 にタッチする

2 追加 にタッチする

3 追加したい“区間”にタッチする

4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面

→*「検索方法選択画面について」(P79)*

5 探した場所が表示されたら 決定 にタッチする

▼

経由地が追加され、探索条件設定画面*(P70)*を表示します。

■ 経由地を変更する

設定済みの経由地の場所を変更します。

1 探索条件設定画面で 経由地 にタッチする

2 変更 にタッチする

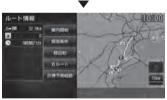
3 変更したい“経由地”にタッチする

4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面

→「検索方法選択画面について」(P79)

5 探した場所が表示されたら 決定 にタッチする

▼

経由地が変更され、探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

■ 検索方法選択画面について

自宅・特別登録地※1	自宅または特別登録地を呼び出します。
登録地※2	登録地を呼び出します。*「登録地を呼び出す」(P58)* の手順 2 以降と同じ操作となります。
履歴	検索履歴を利用します。*「検索履歴を利用する」(P58)* の手順 3 以降と同じ操作となります。
住所	住所から場所を探します。*「住所から探す」(P59)* の手順 2 以降と同じ操作となります。
ジャンル	ジャンル別に施設を探します。*「施設ジャンルから探す」(P62)* の手順 2 以降と同じ操作となります。
名称	施設の名称を入力し場所を探します。*「施設名称を入力して探す」(P60)* の手順 2 以降と同じ操作となります。
周辺施設	現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。*「周辺の施設を探す」(P66)* の手順 2 以降と同じ操作となります。
電話番号	探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。*「電話番号から探す」(P67)* の手順 2 以降と同じ操作となります。
郵便番号	探している場所の郵便番号が分かっている場合に使用します。*「郵便番号から探す」(P68)* の手順 3 以降と同じ操作となります。
MAPCODE	探している場所の MAPCODE が分かっている場合に使用します。*「MAPCODE を利用する」(P69)* の手順 2 以降と同じ操作となります。
地図	地図スクロール *(P48)* した地点を設定することができます。

※ 1　自宅 *(P86)* または特別登録地 *(P87)* を登録するとメニューに表示されます。

※ 2　登録地を設定 *(P88)* するとメニューに表示されます。

■ 経由地を消去する

設定済みの経由地を消去します。

アドバイス

- すでに通過した経由地は消去できません。

1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする

2 [消去] にタッチする

3 消去したい“経由地”にタッチする

4 [消去する] にタッチする

経由地が消去され、探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

サブメニューからの操作

次に通過する予定の経由地を消去することができます。

1 現在地画面で [▲] にタッチする

2 [ルート変更] にタッチする

3 [経由地削除] にタッチする

▼

次に通過する予定の経由地を消去し、ルート探索を開始します。

アドバイス

- すべての経由地を通過すると [経由地削除] はグレー表示となり選択できません。

■ 経由地を並び替える

目的地や経由地の通過順を変更できます。

アドバイス

- すでに通過した経由地は並び替えできません。

1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする

2 [並び替え] にタッチする

3 移動したい“地点”にタッチする

4 移動する“地点”にタッチする

5 [完了] にタッチする

▼

経由地の並び替えが完了し、探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

経由地を自動で並び替える

経由地間の直線距離合計が短くなる順に自動で並び替えます。

アドバイス

- 目的地やすでに通過した経由地は並び替えできません。

1 *「経由地を並び替える」(P80)* の手順 2 まで操作する

2 自動並び替え にタッチする

3 完了 にタッチする

▼

経由地の並び替えが完了し、探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

6 つのルートから選ぶ

6 つの探索条件のルートを一度に探索し、選ぶことができます。

アドバイス

- 道路の状況により 6 つのルートすべてを探索できない場合があります。

1 探索条件設定画面で 6 ルート にタッチする

2 設定したい“探索条件”にタッチする

3 決定 にタッチする

▼

探索条件が変更された探索条件設定画面 *(P70)* を表示します。

■ 探索条件の種類について

探索条件は以下の中から選ぶことができます。

有料 (推奨)	目的地 (経由地) の近くまで、できるだけ有料道路を使用するルートを探索します。
省エネ	目的地 (経由地) まで、できるだけ燃費節約となるルートを探索します。
有料	「有料 (推奨)」とは、できるだけ異なる有料道路を使用したルートを探索します。
一般 (推奨)	目的地 (経由地) まで、できるだけ一般道路を使用するルートを探索します。
一般	「一般 (推奨)」とは、できるだけ異なる一般道路を使用したルートを探索します。
距離	目的地 (経由地) まで、できるだけ距離が短くなるルートを探索します。

迂回ルートを探索する

距離を指定して前方を迂回するルートを探索することができます。

アドバイス

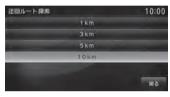
- 現在地から目的地までの距離が 1km 未満の場合は操作できません。

1 NAVI MENU キーを押す

Navi メニューを表示します。

2 ルートの編集 → 迂回ルート探索 にタッチする

3 迂回したい"距離"にタッチする

▼

設定した距離を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

別ルートを探索する

現在のルートとは別のルートを探索します。

1 NAVI MENU キーを押す

Navi メニューを表示します。

2 ルートの編集 → 別ルート探索 にタッチする

▼

別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ サブメニューからの操作

1 現在地画面で ▲ にタッチする

2 ルート変更 にタッチする

3 別ルート にタッチする

▼

別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

ルートを消去する

作成した目的地や経由地を削除し、ルートを消します。

1 NAVI MENU キーを押す

Navi メニューを表示します。

2 ルートの編集 → ルート消去 にタッチする

3 消去する にタッチする

▼

ルートの消去が完了し、現在地画面 *(P36)* を表示します。

■ サブメニューからの操作

1 現在地画面で ▲ にタッチする

2 ルート変更 にタッチする

3 ルート消去 にタッチする

▼

ルートの消去が完了し、現在地画面 *(P36)* を表示します。

並走道路を切り換える

一般道路と高速道路が並走しているとき、実際には一般道路を走行しているのに本機側では誤って高速道路を走行していると認識することがあります。こういった現象が起きたとき本機能を使用することで走行道路を一般道路に切り換えることができます。

1 現在地画面で ▲ にタッチする

2 ルート変更 にタッチする

3 並走道路切換 にタッチする

▼

並走している道路の切り換えが完了します。

VICS 規制を回避する

前方の VICS 規制 (オンランプ規制やオフランプ規制、通行止め) を回避するルートを探索することができます。

アドバイス

- [探索の設定] の「ルート自動更新」を [自動更新しない] にしていた場合にこの操作を行います。
  → *「探索の設定」(P270)*

1 ルート走行中、前方に VICS 規制があると・・・

「○○先、ルート上に○○があります。回避しますか？」のメッセージを表示します。

2 回避する にタッチする

▼

VICS 規制を回避したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

スマート IC を回避する

スマート IC を回避するルートを探索することができます。

アドバイス

- この機能をご使用いただくにはあらかじめ、[探索の設定] の「スマート IC」を [考慮する] にしておく必要があります。
  永続的にスマート IC を回避したい場合は、[考慮しない] にしてください。
  →「NAVI の設定」(P269)

1 **スマート IC を通るルートを走行すると・・・**

「ルート上にスマート IC が含まれています。迂回しますか？」のメッセージを表示します。

2 **迂回する にタッチする**

▼

スマート IC を迂回したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

長期通行規制を回避する

長期通行規制を回避するルートを探索することができます。

1 **ルート走行中、長期通行規制があると・・・**

「ルート上に長期通行規制が含まれています。回避しますか？」のメッセージを表示します。

2 **回避する にタッチする**

▼

長期通行規制を回避したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

注 意

- 長期通行規制を回避する場合は、事前に実際の規制を確認してください。

登録地の設定

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

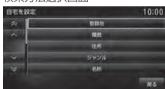
アドバイス

- 自宅に帰るルートを設定するときは、*「自宅を目的地に設定する」(P55)* をご覧ください。
- 自宅を消去するときは、*「登録地を消去する」(P91)* をご覧ください。
- 自宅は 1 件のみ登録できます。

1 キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 自宅 にタッチする

3 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面

→ *「検索方法選択画面について」(P79)*

アドバイス

- 現在地が自宅の場合、[地図] にタッチすると簡単に自宅を登録できます。

4 探した場所が表示されたら 決定 にタッチする

▼

探した場所に マークが表示され、自宅の登録地情報 *(P89)* を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
  「登録地情報を変更する」(P89) の手順 7 以降の操作を行ってください。

5 終了 にタッチする

▼

自宅の登録が完了します。

特別登録地を登録する

特別登録地を登録しておくと、よく行く場所などのルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 特別登録地を目的地に設定するときは、*「特別登録地を目的地に設定する」(P56)* をご覧ください。
- 特別登録地を消去するときは、*「登録地を消去する」(P91)* をご覧ください。
- 特別登録地は 5 件まで登録できます。

1 [ ] キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 [登録地] にタッチする

3 [自宅・特別登録地] にタッチする

4 [1] ～ [5] の“未登録”にタッチする

アドバイス

- [自宅] にタッチすると、同様の方法で自宅を登録することができます。

5 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面

→ *「検索方法選択画面について」(P79)*

6 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする

▼

探した場所に特別登録地のマークが表示され、特別登録地の登録地情報 *(P89)* を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
「登録地情報を変更する」(P89) の手順 7 以降の操作を行ってください。

7 [終了] にタッチする

特別登録地の登録が完了します。

登録地を設定する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地に設定しておくと、ルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 登録地は最大 200 件まで登録できます。

探した場所を登録する

目的地メニュー *(P24)* から探した場所を登録地に設定する一連の操作を説明します。

1 [目的地] キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 いずれかの"検索方法"にタッチし、場所を探す

→「目的地メニュー」*(P24)*

3 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする

▼

地点メニュー *(P39)* を表示します。

アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 [登録する] にタッチする

▼

探した場所に [マーク] マークが表示され、登録地情報画面 *(P89)* を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
  「登録地情報を変更する」(P89) の手順 7 以降の操作を行ってください。

5 [終了] にタッチする

▼

探した場所の登録が完了します。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所 (自車位置) を登録します。

1 現在地画面で [▲] にタッチする

2 [現在地登録] にタッチする

▼

現在地の登録が完了します。

アドバイス

- 登録地情報の画面は表示されず、名称を空白とした登録地が設定されます。
- 登録地情報の空欄は目的に応じて入力してください。
  → *「登録地情報を変更する」(P89)*

登録地を変更する

自宅や特別登録地、登録地の変更および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。

登録地情報を変更する

自宅や特別登録地、登録地の各情報を変更することができます。

1 キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 登録地 にタッチする

自宅や特別登録地を変更したい場合でも、[登録地] にタッチします。

3 変更したい“登録地の種類”にタッチする

4 ∨ , ∧ で変更したい“登録地”にカーソルを合わせる

カーソル (水色)

5 ▲ にタッチする

6 詳細情報 にタッチする

7 変更したい“情報”にタッチし、変更する

登録地情報画面

登録地情報画面について

変更できる登録地情報について説明します。

■ 名称

地図画面で表示される登録地の地点マークの名称を変更することができます。

アドバイス

- 地図上に登録地の名称を表示するには [表示の設定] の「登録地名称」で表示有無を選ぶことができます。
  → *「NAVI の設定」(P269)*

1 登録地情報画面で、名称 にタッチする

2 変更したい“名称”を入力し、入力完了 にタッチする

→ *「文字入力のしかた」(P20)*

▼

名称の変更が完了します。

NAVI

登録地の設定

■ 読み仮名

登録地名称の読み仮名を変更することができます。

1 登録地情報画面で、 読み仮名 にタッチする

2 変更したい“読み仮名”を入力し、 入力完了 にタッチする

→「文字入力のしかた」(P20)

▼

読み仮名の変更が完了します。

アドバイス

- 登録地の情報を電話帳に登録すると、ここで入力した読み仮名が電話帳の並び順に使用されます。
→「電話帳に登録する」(P245)

■ 電話

登録地に電話番号を登録しておくことができます。

1 登録地情報画面で、 電話 にタッチする

2 “番号”にタッチして電話番号を入力し、 決定 にタッチする

▼

電話番号の変更が完了します。

お知らせ

- 電話番号は 24 桁まで入力できます。
- “－”(ハイフン) は入力できません。

■ 場所

自宅や登録地の場所を変更することができます。

1 登録地情報画面で、 場所 にタッチする

2 地図をスクロール *(P48)* し、変更したい“場所”に ＋ マークを合わせる

3 決定 にタッチする

▼

場所の変更が完了します。

■ 地点マーク

地図画面に表示される登録地のマークを変更することができます。

アドバイス

- 自宅と特別登録地の地点マークは変更することができません。

1 登録地情報画面で、 地点マーク にタッチする

2 変更したい“マーク”にタッチする

▼

地点マークの変更が完了します。

アドバイス

- 地点マークは 49 種類から選べます。
- [マークなし] にタッチすると、地図画面にマークが表示されなくなります。

リストの順序を変更する

登録地のリストの並びを変更することができます。

1 [ナビ] キーを押し、[登録地] にタッチする

2 [登録地] にタッチする

登録地のリストを表示します。

3 [▲] にタッチする

4 [並べ替え] にタッチする

5 変更したい"順序"にタッチする

▼

選んだ順序にリストが切り替わります。

■ 順序の種類について

登録順	新規登録された順に表示されます。
マーク順	マーク一覧の左上からの順に並び替えます。
使用順	登録地を使っての検索やルート探索で最近使われたマークの順に並び替えます。
五十音順	登録した読み仮名を使って五十音順に並び替えます。

登録地を消去する

設定した登録地を消去します。

■ 1 件消去する

選んだ登録地を 1 件消去します。

1 [ナビ] キーを押し、[登録地] にタッチする

2 [登録地] にタッチする

登録地のリストを表示します。

3 [∨], [∧] で消去したい"登録地"にカーソルを合わせる

カーソル (水色)

4 [▲] にタッチする

5 [消去] にタッチする

6 [1 件消去] にタッチする

▼

選んだ登録地周辺の地図を表示します。

7 [消去する] にタッチする

▼

選んだ登録地の消去が完了します。

NAVI

登録地の設定

■ 選択して消去する

複数の登録地を選び、消去します。

1. [🏁] キーを押し、[登録地] にタッチする
2. [登録地] にタッチする
   登録地のリストを表示します。
3. [▲] にタッチする
4. [消去] にタッチする
5. [選択消去] にタッチする
6. 消去したいすべての“登録地”にタッチする

消去される登録地のチェックボックスが ☑ に変わります。

アドバイス

- ここで [▲] にタッチすると、すべてチェックする [全選択] とすべてのチェックを解除する [全解除] が選べます。

7. [消去] にタッチする
8. [消去する] にタッチする

▼

選んだ登録地の消去が完了します。

■ 全件消去する

リスト内のすべての登録地を消去します。

1. [🏁] キーを押し、[登録地] にタッチする
2. [登録地] にタッチする
   登録地のリストを表示します。
3. [▲] にタッチする
4. [消去] にタッチする
5. [全消去] にタッチする
6. [消去する] にタッチする

▼

すべての登録地の消去が完了します。

VICS 機能

VICS について

VICS センターに集められた交通情報を利用することができます。

VICS のメディアと特徴

- VICS のメディアには、FM 多重放送、光ビーコン、電波ビーコン、DSRC、オンライン受信があります。

お知らせ

- 本章では、各メディアで対応できる機能について、以下のマークで表記します。

マーク	メディア
FM	FM 多重放送
光	光ビーコン
電波	電波ビーコン
DSRC	DSRC
オンライン	オンライン受信

■ FM 多重放送

FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

■ 光ビーコン

光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。(光ビーコン設置場所通過時)

※ 別売の光 / 電波ビーコン受信機が必要です。

■ 電波ビーコン

電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。(電波ビーコン設置場所通過時)

※ 別売の光 / 電波ビーコン受信機が必要です。

■ DSRC

専用狭域 (きょういき) 通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能なためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。
DSRC 機能については、*「DSRC 機能」(P105)* をご覧ください。

※ タイプ別装備の DSRC 車載器が必要です。

■ オンライン受信

携帯電話の通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。
オンライン受信は、以下の 2 種類があります。また、あらかじめ登録作業が必要です。
詳しくは *「オンラインの情報を受信する」(P102)* をご覧ください。

※ Bluetooth 接続ができる DUN プロファイルに対応した携帯電話が必要です。

オンデマンド VICS

携帯電話の通信機能を利用して、全国の渋滞情報、駐車場情報、規制情報などの VICS 情報を取得することができます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。

※ オンデマンド VICS の情報は、インクリメント P 株式会社が運営する『インクリメント P 交通情報サービス』からの提供です。

※ 本サービスで使用する VICS 交通情報は財団法人日本道路交通情報センターから提供されるデータを利用して作成しています。また、道路交通情報データの作成には財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。

※ 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

リアルタイムプローブ ®

本製品のリアルタイムプローブ ® は、パイオニア カロッツェリアおよび三菱電機製 カーナビゲーションと本機のリアルタイムプローブデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS 渋滞情報と合わせて全国約 70 万 km におよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。

※ 本製品はパイオニア (株) が運営・管理するリアルタイムプローブ ® を使用しています。
リアルタイムプローブ ® はパイオニア (株) の登録商標です。

※ ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

VICS 情報のレベル

VICS 情報にはレベル 1 ～レベル 3 までの 3 種類の表示レベルがあります。
DSRC では、表示に加えて音声情報が提供されています。

■ レベル 1(文字)

文字による交通情報を表示します。

■ レベル 2(簡易図形)

簡略化された図形・地図などで交通情報を表示します。

■ レベル 3(地図)

地図上に渋滞情報や規制情報などの交通情報を直接表示します。

アドバイス

- 50m ～ 1km スケールのときに表示します。

DSRC

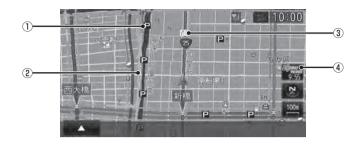
音声情報

音声情報を受信した場合表示します。

各タッチスイッチのタッチしたときの動作は以下の通りです。

再生	先頭から音声を読み上げます。 一時停止中にタッチすると、一時停止した部分から読み上げます。
中断	音声を一時停止します。
最初から	音声を先頭から読み上げます。
自動送り / 手動送り	1 ページ以上の情報がある場合、自動送りまたは手動送りを切り換えます。

表示内容について

地図上に表示される VICS 情報について説明します。

① **駐車場情報**
VICS 情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況を VICS 記号で確認することができます。

② **渋滞情報**
渋滞・混雑の状況を線で表示し確認することができます。

③ **規制情報**
通行止めや車線規制などの交通規制を VICS 記号で確認することができます。

④ **(VICS スイッチ)**
VICS 情報の提供時刻および提供メディア名を表示します。
(受信した時刻ではありません。)
タッチで VICS メニューを表示します。
→ *「VICS メニューについて」(P96)*

アドバイス

- 本機の VICS 機能では、VICS 記号を見やすく強調するための機能が用意されています。
  一部の地図色を変更し、VICS 記号が強調されます。
- 工場出荷時は [VICS の設定] の「VICS 受信時地図色」が [変えない] に設定されていますので、VICS 記号が見にくい場合は [変える] に設定してください。
  → *「NAVI の設定」(P269)*

■ VICS スイッチについて

受信した最新の提供メディア名が表示されます。

9:55	FM 多重放送
9:55	光ビーコン
9:55	電波ビーコン
9:55	DSRC
9:55	オンライン受信

■ VICS メニューについて

① **提供時刻**
各メディアの VICS 情報提供時刻を表示します。

② オンラインで受信する
携帯電話の通信機能を利用して、オンデマンド VICS 情報およびリアルタイムプローブ ® を取得することができます。
→「オンラインの情報を受信する」*(P102)*

③ 駐車場情報
現在地周辺の駐車場情報を確認することができます。
→「現在地周辺を調べる」*(P98)*

④ 規制情報
現在地周辺の規制情報を確認することができます。
→「現在地周辺を調べる」*(P98)*
高速略図 *(P42)* を表示しているときは、[規制 /SA 情報]*(P100)*、ルート一覧 *(P42)* を表示しているときは、[ルート上規制情報]*(P99)* に変わります。

⑤ FM 多重情報
文字または図形による VICS 情報を確認することができます。
→「文字・図形情報を見る」*(P100)*

⑥ ビーコン情報
DSRC の安全運転支援情報 *(P106)*、光ビーコン、電波ビーコンから取得した文字または図形による VICS 情報を確認することができます。
→「文字・図形情報を見る」*(P100)*

⑦ 緊急注意情報
割り込んだ緊急情報を再度表示して確認することができます。
→「緊急情報の割り込み表示」*(P103)*

⑧ VICS 渋滞情報表示 / 予測渋滞情報表示
地図上に VICS 渋滞情報または予測渋滞情報を表示します。
→「渋滞情報を切り換える」*(P101)*

■ VICS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

- 空車 (青色)
- 満車 (赤色)
- 混雑 (黄色)
- 不明 (黒色)
- 閉鎖

渋滞情報

グレー (実線)	通行止め
赤色 (実線)	一般道路渋滞
赤色 (破線)	高速道路渋滞
橙色 (実線)	一般道路混雑
橙色 (破線)	高速道路混雑
青色 (実線)	一般道路順調
青色 (破線)	高速道路順調

アドバイス

- 通行止めは高速略図 *(P42)* およびルート一覧 *(P42)* で表示します。
- リアルタイムプローブ ® では、渋滞線の両側に縁取りがあります。

規制情報

- 事故
- 工事
- 路上障害
- 通行止め
- 作業
- 速度制限 (例 60km)
- 進入禁止
- 車線規制
- 徐行
- 対面通行
- 片側交互通行
- 高速入口閉鎖
- チェーン規制
- 冬期通行止め
- 高速入口制限
- その他の規制情報
- 故障車

VICS センターへのお問い合わせ

VICS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にしお買い求めの販売店までご連絡ください。

- VICS 車載器の調子や使用方法
- VICS 車載器の受信可否に関して
- 地図表示 (レベル 3) の内容に関して
- VICS 情報の受信エリアについて
- VICS 情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICS センター」までご連絡ください。

- 文字表示 (レベル 1) の内容に関して
- 簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して
- VICS の概念
- サービス提供エリアに関して

■ (財)VICS センター

お問い合わせ窓口:サービスサポートセンター

受付番号	0570-00-8831 全国から市内通話料金でご利用になれます PHS、IP 電話などからはご利用できません
電話受付時間	9:30 ～ 17:45 (土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)
受付 FAX 番号	03-3562-1719
FAX 受付時間	24 時間
ホームページアドレス	http://www.vics.or.jp/ VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などをご覧いただけます。

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店にご連絡いただくことをお勧めします。

交通情報を調べる

VICS を利用することで、さまざまな放送で交通情報を確認することができます。

アドバイス

- 駐車場情報は 100m スケールまでの地図で表示することができます。但し、100m スケールより広域の場合は該当する駐車場マーク 1 件のみを表示します。
- 規制情報は 1km スケールまでの地図で表示することができます。

FM 光 電波 DSRC

現在地周辺を調べる

現在地周辺の駐車場情報や規制情報を調べます。

1 現在地画面で にタッチする

2 駐車場情報 または 規制情報 にタッチする

▼

VICS 記号の枠が点滅するとともに文字情報を表示します。

アドバイス

- [駐車場情報] は周辺の駐車場情報が表示され、[規制情報] または [規制 /SA 情報] は周辺の交通規制や道路工事の情報を表示します。
- [FM 多重情報] にタッチすると、文字または図形による VICS 情報を確認することができます。
→「文字・図形情報を見る」(P100)

3 ︽ または ︾ にタッチする

4 “位置確認アイコン”にタッチする

▼

選んだ交通情報周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- “位置確認アイコン”は、駐車場情報のときのみ表示します。規制情報のときは表示しません。
- [決定] にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P50)

FM 光 電波 DSRC

スクロール地点周辺を調べる

地図をスクロールして、＋ 地点周辺の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 地図をスクロール *(P48)* し、調べたい地点に ＋ を合わせる

2 にタッチする

▼

以降の操作は、*「現在地周辺を調べる」(P98)* の手順 2 以降と同じです。

FM 光 電波 DSRC

ルート上を調べる

ルート上にある規制情報を調べます。

1 ルート一覧 *(P42)* で にタッチする

2 ルート上規制情報 にタッチする

3 ︽ または ︾ にタッチする

4 位置確認 にタッチする

▼

選んだ交通情報をルート一覧上に表示します。

アドバイス

- [位置確認] は、交通情報のある交差点がすでにリストに表示されている場合は、表示しません。

NAVI

VICS 機能

FM 光 電波 DSRC

高速道路を調べる

走行中の高速道路 (高速略図表示中) の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 高速略図 *(P42)* で にタッチする

2 [規制 /SA 情報] にタッチする

▼

以降の操作は、*「現在地周辺を調べる」(P98)* の手順 3 以降と同じです。

アドバイス

- 高速道路を走行している必要があります。
- 高速略図の規制情報を探す場合、選択するメニューは [規制情報] ではなく [規制 /SA 情報] になります。
- 位置確認を行った場合、高速略図中の位置を表示します。
- [FM 多重情報] にタッチすると、文字または図形による VICS 情報を確認することができます。
  →「文字・図形情報を見る」(P100)

FM 光 電波 DSRC

文字・図形情報を見る

文字または図形による VICS 情報を確認することができます。

お知らせ

- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 *(P48)* や高速略図 *(P42)* からも同じ操作となります。

1 現在地画面で にタッチする

2 [FM 多重情報] または [ビーコン情報] にタッチする

3 知りたい情報の“番号”にタッチする

4 知りたい情報の“番号”にタッチする

▼

選んだ情報を表示します。

FM 光 電波 DSRC オンライン

渋滞情報を切り換える

渋滞情報を現在の情報または予測情報に切り換えることができます。

1 現在地画面で にタッチする

2 VICS 渋滞情報表示 または 予測渋滞情報表示 にタッチする

▼

アドバイス

- [VICS 渋滞情報表示] または [予測渋滞情報表示] を押すたびに切り換わります。

NAVI

VICS 機能

オンラインの情報を受信する

携帯電話の通信機能を利用して、オンデマンド VICS 情報およびリアルタイムプローブ® を受信します。

お知らせ

- あらかじめ DUN プロファイルに対応した携帯電話と本機を Bluetooth 接続しておく必要があります。→ *「Bluetooth の設定」(P279)*
- オンラインの情報を受信するには登録が必要となります。詳しくは、「OpenInfo サービスユーザー登録方法」*(P324)* を参照してください。さらに、[VICS の設定] の「走行情報 (オンライン)」を [送信する] にしておく必要があります。未登録の場合や [送信しない] に設定されていると、オンデマンド VICS 情報 *(P93)* のみを受信します。
  → *「NAVI の設定」(P269)*
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

ユーザー登録	[VICS の設定] →「走行情報 (オンライン)」	オンデマンド VICS	リアルタイムプローブ®
未登録	送信しない	○	×
	送信する	○	×
登録済み	送信しない	○	×
	送信する	○	○

1 現在地画面で [アイコン] にタッチする

2 オンラインで受信する にタッチする

3 はい にタッチする

渋滞情報の取得を開始します。

▼

アドバイス

- 「走行情報 (オンライン)」の送信では、より充実した道路交通情報の提供に役立てるために、お客さまの走行情報などをサービス事業者に提供します。
- オンライン受信の受信方法は、[VICS の設定] の「オンライン受信」で自動または手動を選ぶことができます。
  → *「NAVI の設定」(P269)*

VICS による自動処理

VICS には、安全で快適な運転をしていただくため、自動で処理される機能があります。

FM 光 電波 DSRC

緊急情報の割り込み表示

走行中、緊急情報を受信すると、受信音とともに自動的に表示します。

[戻る] にタッチすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 1 ページ以上ある場合、[自動送り]/[手動送り] にタッチすると自動送り、または手動送りに切り換えることができます。
- 表示できる情報が複数ページある場合は [≫] にタッチしてページを送ることができます。

■ 再表示するには

割り込んできた緊急情報を再度表示して、確認することができます。

お知らせ

- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 *(P48)* や高速略図 *(P42)* からも同じ操作となります。

1 現在地画面で にタッチする

2 [緊急注意情報] にタッチする

▼

緊急情報を表示します。

FM 光 電波 DSRC

ルート自動更新

ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。

▼

アドバイス

- [探索の設定] の「ルート自動更新」を [自動更新する] に設定しておく必要があります。→ *「NAVI の設定」(P269)*

光 電波 DSRC

図形 / 文字情報の割り込み表示

走行中、光ビーコンまたは電波ビーコンの情報を受信すると、受信音とともに図形情報または文字情報が自動的に表示されます。

[戻る] にタッチすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 操作をしなければ約 10 秒間で元の画面に戻ります。
- 図形情報または文字情報を自動で表示させたくない場合は、[VICS の設定] の「受信情報割り込み」を [割込表示しない] に設定してください。→*「NAVI の設定」(P269)*

FM

VICS 局を選ぶ

工場出荷時は、自車位置の都道府県の放送局を優先的に選局する [自動選局] に設定されていますが、都道府県を指定する方法、周波数を入力して指定する方法を選択することもできます。

1 NAVI MENU キーを押す

Navi メニューを表示します。

2 VICS の設定 にタッチする

3 「VICS 受信局周波数設定」の項目にタッチする

▼

VICS 受信局周波数設定画面を表示します。

自動選局

自車位置の都道府県の VICS 局を優先的に選局します。

1 VICS 受信局周波数設定画面で 自動選局 にタッチする

▼

VICS 局を自動選局に変更します。

県指定

選択した都道府県を VICS 局に指定することができます。

1 VICS 受信局周波数設定画面で 県指定 にタッチする

2 変更したい“都道府県”にタッチする

▼

選んだ都道府県に VICS 局を変更します。

アドバイス

- [自県] にタッチすると、現在地の都道府県を選択することができます。

周波数指定

入力した周波数を VICS 局に指定することができます。

1 VICS 受信局周波数設定画面で 周波数指定 にタッチする

2 変更したい“周波数”を入力する

3 決定 にタッチする

▼

入力した周波数に VICS 局を変更します。

DSRC 機能

タイプ別装備

DSRC サービスとは

タイプ別装備の DSRC 車載器は、さまざまな機能がご利用になれます。

DSRC とは

Dedicated Short Range Communication の略で、専用狭域 (きょういき) 通信による情報提供や料金決済などのサービスのことです。今後幅広いサービスが提供される予定です。
タイプ別装備の DSRC 車載器が本機に接続されていると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、タイプ別装備の DSRC 車載器と ETC カードが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ETC カード未挿入や DSRC 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。
- 料金所は名称で表示する場合と番号で表示する場合があります。
- 本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。

DSRC サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- DSRC サービスは、一部開始されていない場合があります。
- 本機は情報接続サービス (道の駅における情報接続、SA・PA における情報接続など) には対応していません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。→ *「音声情報」(P94)*
受信した音声情報を、自動で読み上げないように設定する場合は [VICS の設定] で「受信情報読み上げ」を [手動] に設定します。
→ *「VICS の設定」(P272)*

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立てます。
走行情報を提供しない場合は、[VICS の設定] で「走行情報 (DSRC)」を [送信しない] に設定します。
→ *「VICS の設定」(P272)*

■ 安全運転支援情報

以下のような情報がリアルタイムに提供されます。

注 意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。
  必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

前方の障害物情報

合流支援情報

事故多発地点情報

A V

オーディオ機能に関する操作の説明を行います。

MusicServer/SD 151

USB/iPod 176

オーディオ機能について

基本操作

お知らせ

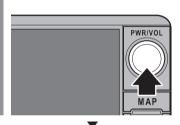
- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

オーディオを ON/OFF する

オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

■ オーディオ機能が ON のとき

1 PWR/VOL キーを押す

▼

オーディオ機能が OFF になります。

■ オーディオ機能が OFF のとき

1 PWR/VOL キーを押す

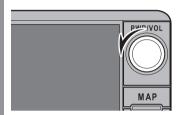
▼

オーディオ機能が ON になります。
直前に使用していたオーディオソースの画面に戻ります。

音量を調節する

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に PWR/VOL キーを左に回す

▼

音量表示

音量が小さくなります。

2 PWR/VOL キーを右に回す

▼

音量が大きくなります。

ディスクを挿入する / 取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注 意

- ディスク交換は、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスク挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- パネル上に物 (ジュースなど) を置かないでください。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないよう注意してください。

■ ディスクを挿入する

1 OPEN キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする

▼

パネルが開きます。

3 ディスク挿入口に、レーベル面を上にしてディスクを差し込む

ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

4 OPEN キーを押す

▼

パネルが閉まり再生を開始します。

■ ディスクを取り出す

1 OPEN キーを押す

2 DISC Eject にタッチする

▼

パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

3 OPEN キーを押す

▼

パネルが閉まります。

ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、*「ディスクを取り出す」*の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングが失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 電源を入れる際に OPEN キーを押し続ける

▼

本機からディスクが強制的に排出されます。

AV アイコンについて

オーディオ再生中、ナビ画面では以下のように現在再生中のオーディオソースを示すアイコンを表示します。

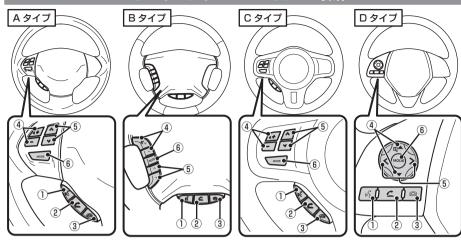
AV アイコン

アイコン	オーディオソース
	オーディオ OFF 状態
	ラジオ (例 :FM)
	交通情報
	ディスク (例 :MP3)
	DVD Video または DVD-VR
	SD カードの音楽ファイル (例 :MP3)
	MusicServer
	iPod/iPhone
	USB メモリーの音楽ファイル (例 :MP3)
	地上デジタル TV
	Bluetooth Audio
※ 1	AUX

※ 1　タイプ別装備です。

アドバイス

- AV アイコンにタッチすると、現在再生中のオーディオソース画面を表示します。

ステアリングリモコンスイッチの操作

① "SPEECH" キー
音声認識を開始します。押し続けると、音声認識を終了します。

② "OFF HOOK" キー
電話を受けるときに使用します。

③ "ON HOOK" キー
電話を終わるときに使用します。

④ VOL の ＋ キー、－ キー
オーディオ機能や電話機能の音量を調節することができます。

⑤ CH の ∨ キー、∧ キー
CD などのトラックやラジオの放送局を選ぶことができます。
→ *「CH キーの操作」(P114)*

⑥ MODE キー
押し続けることでオーディオ機能の ON/OFF が行えます。また、押すたびにオーディオのソースを切り換えることができます。
→ *「オーディオソースを切り換える」(P114)*

■ CH キーの操作

∨ キー、∧ キーのオーディオソース別の動作は以下のとおりです。

ラジオ	押すと前後のプリセット CH 番号を選ぶことができます。 押し続けると、受信可能な放送局の選局を行います。
DISC	押すと前後の曲を選ぶことができます。 押し続けると、早送り / 早戻しの操作が行えます。
SD カードの音楽ファイル	
MusicServer	
USB/iPod	
Bluetooth® Audio ※1	
DVD-Video	押すと前後のチャプターを選ぶことができます。 押し続けると、早送り / 早戻し再生の操作が行えます。
DVD-VR	
DTV	押すと前後のリモコン番号を選ぶことができます。 押し続けると、受信可能な放送局の選局を行います。

※ 1　AVRCP ver1.0 非対応機器については、動作しません。

■ オーディオソースを切り換える

ステアリングリモコンの [MODE] キーを押すと、オーディオソースを切り換えることができます。切り換え順は以下の通りとなります。接続されていない機器がある場合は、スキップして次のソースに切り換わります。

※ 1　本機に音楽用 SD カードを挿入する必要があります。

※ 2　市販の iPod ケーブルおよび iPod/iPhone が必要です。また、iPod のビデオを再生する場合は、別売の専用ケーブルが必要です。

※ 3　ケーブルは不要ですが、別途市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器が必要です。

※ 4　タイプ別装備です。また、外部入力機器、ケーブルが必要です。別売の外部入出力ケーブルおよび外部入力機器を本機に接続していない場合でも [AUX] に切り換わりますが、映像を表示できません。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなることがあります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露 (水滴) が付き正常に動作しない場合があります。
このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	サイズ	最大再生時間	備考
DVD ビデオ	12cm/ 片面 12cm/ 両面	133 分 (1 層)/ 242 分 (2 層) 266 分 (1 層)/ 484 分 (2 層) (MPEG2 方式)	・リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」 ・NTSC 方式で記録されたもの
DVD-R/RW DVD+R/RW	12cm/ 片面 12cm/ 両面	—	・CPRM/2 層ディスクを含む ・DVD VIDEO/DVD-VR フォーマット規格で記録されたディスク ・MP3/WMA/AAC/WAV ファイルが記録されたディスク
CD-DA	12cm/ 片面	74 分	—
CD-TEXT	12cm/ 片面	74 分	—
CD-R/RW	12cm/ 片面	—	・MP3/WMA/AAC/WAV ファイルが記録されたディスク

■ 再生できないディスク

- 「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- 8cm ディスクは使用できません。
- 異形のディスク (ハート形など) は故障の原因となるため、使用しないでください。
  また、一部が透明なディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- レコーダーや PC(パソコン) によって正しいフォーマットで記録したディスクでも、アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ヒビの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。
- ディスクにシールを貼っている場合、はがれかかっているもの、のりあとが付着しているものは使用できません。
- ディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったものは使用できません。

注 意

- DTS CD(5.1ch Music Disc) は、録音 / 再生できません。本機に挿入してもノイズのみが再生されますので挿入しないでください。

■ CD 規格外ディスクについて

本機では音楽 CD をお楽しみいただけますが、CD の規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に disc の入ったものなどの JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD 規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- CD 規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
  - ● 再生時に雑音が混入する。
  - ● 音飛びする。
  - ● ディスクを認識しない。
  - ● 1 曲目を再生しない。
  - ● 頭出しの時間が通常より長い。
  - ● 曲の途中から再生する。
  - ● 部分的に再生できない箇所がある。
  - ● 再生の途中でフリーズする。
  - ● 誤表示する。

■ DualDisc について

DualDisc は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオ、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオが収録されています。

注 意

- DualDisc を挿入時や取り出し時に再生面の反対側の面に傷がつく恐れがあります。
- DualDisc の仕様や規格などの詳細は、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

■ DVD ビデオに関して

DVD ビデオによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

■ DVD ビデオに表示されているマークの意味

DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
2	音声言語の数
2	字幕言語の数
3	アングルの数
16:9 LB	画面サイズ (アスペクト比 : 横と縦の比率) の種別
2 ALL	再生可能な地域を限定する番号。 本機で再生可能なリージョン番号 (地域番号) は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本で対応している映像方式です。この方式以外は再生できません。

AV

オーディオ機能について

音楽ファイル(MP3/WMA/AAC/WAV)について

本機ではCD-ROMやCD-R/RW、DVD-R/RW(DVD+R/RW)、USBデバイス、SDカード※1に記録されたMP3/WMA/AAC/WAV形式の音楽ファイルを再生することができます。

※1　USERスロットに挿入したSDカード

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので音楽ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。
また、お手持ちのCD-R/RWドライブやDVD-R/RW(DVD+R/RW)ドライブ、ライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。
音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

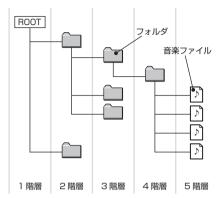
注意

- 音楽CDから書き込んだ(コピーした)ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- MP3/WMA/AAC/WAV形式以外のファイルに拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」「.wav」を付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生する可能性がある為、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

アドバイス

- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」「.wav」を付けてからディスクに書き込んでください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生することができません。
- 音楽ファイルの形式が混在したディスクも再生することができます。

フォルダの構成について

フォルダは 8 階層まで認識することができます。
ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (音楽ファイル) といった階層を作成して曲を管理することができます。

名称	規格	説明	
フォーマット仕様 (ディスク)	ISO9660	レベル 1	最大 8 文字のファイル名と 3 文字の拡張子を持つ。 (半角英大文字と半角数字、"_" が使用可能)
	ISO9660 拡張	Joliet	最大 64 文字までをファイル名として使用可能。
マルチセッション	非対応 (先頭のセッションのみ対象)		
最大階層数	8 階層 (Root を 1 階層目とした場合)		
最大フォルダ数	300 フォルダ (Root を含む)		
最大ファイル数※1	3000 ファイル (メディア内合計数。MP3/WMA/AAC/WAV ファイル以外は含まず)		
ファイル名、フォルダ名の制限	上限 128 バイト (Unicode 対応のため 64 文字となる) で、上限を超えるファイル名やフォルダ名の表示はできません。またそのファイルやフォルダの再生もできません。		
USB、SD カードの対応フォーマット	推奨ファイルシステムは、FAT16,FAT32 です。 1 パーティションのみ SD カードの対応容量は、最大 32GB(SDHC 規格対応) です。 SD カードの推奨クラスは、Class4 以上です。		

※ 1　MP3/WMA/AAC/WAV ファイル以外は含みません。但し、同じフォルダに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダおよび音楽ファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

MP3とは

MP3とは「MPEG-1AudioLayer3」の略称。MPEGとは「Motion Picture Experts Group」の略称でビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。
MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の1つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。
音楽CDの音質をほとんど損なうことなく約1/10のデータ容量に圧縮することができる為、約10枚分の音楽CDを1枚のCD-R/RWへ書き込むことが可能になります。

■ 再生できるMP3ファイルの規格について

再生できるMP3ファイルの仕様は以下のとおりです。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">規格</td><td colspan="2">MPEG-1 AUDIO LAYER3</td></tr>
<tr><td colspan="2">MPEG-2 AUDIO LAYER3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">サンプリング周波数 [kHz]</td><td colspan="2">MPEG-1：32/44.1/48</td></tr>
<tr><td colspan="2">MPEG-2：16/22.05/24</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ビットレート [kbps]</td><td colspan="2">MPEG-1：32 ～ 320</td></tr>
<tr><td colspan="2">MPEG-2：32 ～ 160</td></tr>
<tr><td>VBR(可変ビットレート)</td><td colspan="2">対応</td></tr>
<tr><td>チャンネルモード</td><td colspan="2">ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル</td></tr>
<tr><td>拡張子</td><td colspan="2">mp3</td></tr>
<tr><td>対応タグ情報</td><td colspan="2">ID3タグVer.1.0、Ver.1.1、Ver.2.2、Ver.2.3、Ver.2.4
(ISO-8859-1、UTF-16(Unicode))
タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル、チャンネルモード</td></tr>
<tr><td>ソースプレートに表示できる最大文字数</td><td colspan="2">アルバム名　半角41文字 (全角20文字)
タイトル名　半角18文字 (全角9文字)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">リストに表示できる最大文字数</td><td colspan="2">フォルダ名　：半角46文字 (全角23文字)
ファイル名　：半角34文字 (全角17文字)</td></tr>
<tr><td>フォルダリスト表示時</td><td>半角48文字 (全角24文字)
※第2階層 (Rootを第1階層とする) において。
※階層の表示により、表示文字数は変化します。
1階層下がるごとに半角2文字 (全角1文字) 減少します。</td></tr>
<tr><td>トラックリスト表示時</td><td>ファイル名 : 半角49文字 (全角24文字)</td></tr>
</table>

注意

- 上記規格以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

WMA とは

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。
MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

注 意

- WMA は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された WMA ファイルを再生することはできません。

■ 再生できる WMA ファイルの規格について

再生できる WMA ファイルの仕様は以下のとおりです。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>規格</td><td colspan="2">Windows Media Audio Version2 ～ 9</td></tr>
<tr><td>サンプリング周波数 [kHz]</td><td colspan="2">16/22.05/32/44.1/48</td></tr>
<tr><td>ビットレート [kbps]</td><td colspan="2">32 ～ 192</td></tr>
<tr><td>VBR(可変ビットレート)</td><td colspan="2">対応</td></tr>
<tr><td>チャンネルモード</td><td colspan="2">ステレオ / モノラル</td></tr>
<tr><td>拡張子</td><td colspan="2">wma</td></tr>
<tr><td>対応タグ情報</td><td colspan="2">WMA タグ
タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル、チャンネルモード</td></tr>
<tr><td>ソースプレートに表示できる最大文字数</td><td colspan="2">アルバム名　半角 41 文字 (全角 20 文字)
タイトル名　半角 18 文字 (全角 9 文字)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">リストに表示できる最大文字数</td><td colspan="2">フォルダ名　：半角 46 文字 (全角 23 文字)
ファイル名　：半角 34 文字 (全角 17 文字)</td></tr>
<tr><td>フォルダリスト表示時</td><td>半角 48 文字 (全角 24 文字)
※ 第 2 階層 (Root を第 1 階層とする) において。
※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。
1 階層下がるごとに半角 2 文字 (全角 1 文字) 減少します。</td></tr>
<tr><td>トラックリスト表示時</td><td>ファイル名 : 半角 49 文字 (全角 24 文字)</td></tr>
</table>

注 意

- 上記規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Pro」「Lossless」「Voice」には対応しておりません。

AAC とは

AAC とは Advanced Audio Coding の略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

注 意

- AAC は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された AAC ファイルを再生することはできません。

■ 再生できる AAC ファイルの規格について

再生できる AAC ファイルの仕様は以下のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">規格</td><td colspan="2">Advanced Audio Coding
MPEG4/AAC-LC
MPEG2/AAC-LC</td></tr>
<tr><td rowspan="2">サンプリング
周波数 [kHz]</td><td>MPEG4</td><td colspan="2">8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96</td></tr>
<tr><td>MPEG2</td><td colspan="2">8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ビットレート
[kbps]</td><td>MPEG4</td><td colspan="2">16 ～ 576</td></tr>
<tr><td>MPEG2</td><td colspan="2">16 ～ 576</td></tr>
<tr><td colspan="2">VBR(可変ビットレート)</td><td colspan="2">対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネルモード</td><td colspan="2">ステレオ / モノラル</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡張子</td><td colspan="2">m4a および aac</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応タグ情報</td><td colspan="2">AAC タグまたは ID3 タグ
タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル、チャンネルモード</td></tr>
<tr><td colspan="2">ソースプレートに表示できる
最大文字数</td><td colspan="2">アルバム名　半角 41 文字 (全角 20 文字)
タイトル名　半角 18 文字 (全角 9 文字)</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">リストに表示できる最大文字数</td><td colspan="2">フォルダ名　　: 半角 46 文字 (全角 23 文字)
ファイル名　　: 半角 34 文字 (全角 17 文字)</td></tr>
<tr><td>フォルダリスト表示時</td><td>半角 48 文字 (全角 24 文字)
※ 第 2 階層 (Root を第 1 階層とする) において。
※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。
1 階層下がるごとに半角 2 文字 (全角 1 文字) 減少します。</td></tr>
<tr><td>トラックリスト表示時</td><td>ファイル名 : 半角 49 文字 (全角 24 文字)</td></tr>
</table>

注 意

- 上記規格以外で書き込まれた AAC ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

WAV とは

WAV とは「RIFF wave form Audio Format」の略称で主に Windows で使用されています。通常は非圧縮の音楽ファイルで、Microsoft 社と IBM 社で開発された音声データフォーマットです。

■ 再生できる WAV ファイルの規格について

再生できる WAV ファイルの仕様は以下のとおりです。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>規格</td><td colspan="2">RIFF wave form Audio Format</td></tr>
<tr><td>サンプリング周波数 [kHz]</td><td colspan="2">8/11.025/16/22.05/32/44.1</td></tr>
<tr><td>量子化ビット数 [bit]</td><td colspan="2">16</td></tr>
<tr><td>ビットレート [kbps]</td><td colspan="2">128 ～ 1411.2</td></tr>
<tr><td>チャンネルモード</td><td colspan="2">ステレオ / モノラル</td></tr>
<tr><td>拡張子</td><td colspan="2">wav</td></tr>
<tr><td>ソースプレートに表示できる最大文字数※1</td><td colspan="2">フォルダ名　半角 41 文字 (全角 20 文字)
ファイル名　半角 18 文字 (全角 9 文字)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">リストに表示できる最大文字数※1</td><td colspan="2">フォルダ名　　: 半角 46 文字 (全角 23 文字)
ファイル名　　: 半角 34 文字 (全角 17 文字)</td></tr>
<tr><td>フォルダリスト表示時</td><td>半角 48 文字 (全角 24 文字)
※ 第 2 階層 (Root を第 1 階層とする) において。
※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。1 階層下がるごとに半角 2 文字 (全角 1 文字) 減少します。</td></tr>
<tr><td>トラックリスト表示時</td><td>ファイル名 : 半角 49 文字 (全角 24 文字)</td></tr>
</table>

※ 1　使用する文字により最大文字数まで入力できない場合があります。

注 意

- 上記規格以外で書き込まれた WAV ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く

FM 放送や AM 放送のラジオの聴きかたについて説明します。

1 **MODE キーを押す**

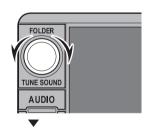
Mode メニューを表示します。

2 **FM または AM にタッチする**

ラジオの再生情報画面を表示します。
[AM] にタッチした場合は手順４に進みます。

3 **聴きたい“バンド”にタッチする**

4 **FOLDER/TUNE キーを回して選局する**

▼

選局した周波数の音声が流れます。

好みの放送局を登録する

お好みの放送局を FM1 に 6 局､FM2 に 6 局､AM に 6 局まで記憶することができます。

1 **ラジオ再生情報画面で FOLDER/TUNE キーを回して登録したい“放送局”を探す**

2 **登録したい“プリセットスイッチ”に「ピッ !」と鳴るまでタッチする**

▼

タッチしたプリセット CH 番号のスイッチに選局した放送局を登録します。

■ 再生情報画面について

① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名、プリセットCH 番号、受信中の周波数を表示します。

② FM1 , FM2
FM 放送のバンドを切り換えるときに使用します。
それぞれ各 6 局までお好みの放送局を登録することができます。(FM のみ)

③ **プリセットスイッチ**
お好みの放送局を登録することができます。
希望のプリセット CH 番号のスイッチを「ピッ !」と鳴るまでタッチし続けると、現在受信中の放送局を登録することができます。
→ *「好みの放送局を登録する」(P124)*

④ スキャン
受信できる放送局をまとめて探します。放送局を受信すると 10 秒間だけ音声を流し次の放送局を探します。
→ *「スキャンを開始する」(P126)*

⑤ オートセレクト
受信できる放送局を探し、受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。→*「オートセレクトを開始する」(P127)*

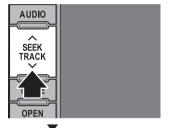
受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探す場合に便利です。
ここでは、ラジオの再生情報画面からの操作方法を説明します。

■ シークを開始する

受信できる放送局を 1 つずつ探します。

1 ラジオの再生情報画面で「ピッ！」と鳴るまで ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押し続ける

▼

受信できる放送局が見つかると、音声が流れます。

■ スキャンを開始する

受信できる放送局をまとめて探します。

1 ラジオの再生情報画面で スキャン にタッチする

▼

スキャン中の表示

放送局を受信すると 10 秒間だけ音声を流し次の放送局を探します。

スキャンを解除する

1 スキャン中のラジオ再生情報画面で スキャン解除 にタッチする

▼

スキャンを解除します。

■ オートセレクトを開始する

受信できる放送局を探し、受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。

アドバイス

- 滞在する地域の放送局を一時的に登録するためにあります。
  (FM1、FM2 の各 6 局と AM の 6 局)
- オートセレクトを解除すれば、元の状態に戻ります。

1 ラジオの再生情報画面で オートセレクト にタッチする

オートセレクト中の表示

受信できる放送局を探し始めます。
受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。
オートセレクト終了後は一番受信状態がよかった CH を選択します。

オートセレクトを解除する

オートセレクトを解除すると、登録したプリセットスイッチは元の状態に戻ります。

1 オートセレクト中のラジオ再生情報画面で オートセレクト解除 にタッチする

▼

オートセレクトを解除します。
プリセットスイッチが元の状態に戻ります。

交通情報を聴く

交通情報の聴きかたについて説明します。

1 [ ] **キーを押す**

交通情報の再生情報画面を表示します。

▼

受信できる周波数の交通情報が流れます。

お知らせ

- 本機では、1620kHz または 1629kHz のいずれかで受信できる周波数を自動的に受信します。
- いずれの周波数も受信できない場合は最後に使用したオーディオソースに切り換えます。

交通情報を OFF にする

1 **交通情報の再生情報画面で 交通情報 OFF にタッチする**

▼

交通情報を終了し、交通情報を聴く前のオーディオソースの再生を再開します。

アドバイス

- 交通情報を聴く前がオーディオ OFF だった場合は、オーディオ OFF となります。

表示内容について

① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名、受信中の周波数を表示します。

② 交通情報 OFF
タッチすると、交通情報を終了し、交通情報を聴く前のオーディオソースの再生を再開します。

音楽 CD を聴く

音楽 CD(CD-DA/CD-TEXT) の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P111)
また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽 CD 挿入後、[開始する] にタッチすることで MusicServer への録音を開始します。
→「音楽 CD の録音方法を変更する」(P300)

お知らせ

- 音楽 CD を本機に挿入した状態で操作してください。

1 MODE キーを押す

Mode メニューを表示します。

2 CD にタッチする

音楽 CD の再生情報画面を表示します。

3 ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押して曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

リストを表示する

トラックリストを表示することができます。
ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽 CD の再生情報画面で リスト表示 にタッチする

▼

トラックリストを表示します。

2 再生情報 にタッチする

▼

音楽 CD の再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- ∧ ∨ や ︽ ︾ にタッチしてトラックを選ぶことができます。

■ 再生情報画面について

① **アルバム名**
タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

② **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「Track ○○」と表示します。(○○はトラック番号)

③ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

④ **ジャンル名**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑤ 録音設定
録音方法の設定が行えます。
→*「音楽 CD の録音方法を変更する」(P300)*

⑥ リスト表示
トラックリスト *(P131)* を表示します。

⑦ ▲
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P132)*

⑧ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P132)*
：リピート再生中
：スキャン再生中
：ランダム再生中

⑨ **再生時間**

⑩ 録音開始 , 録音停止
録音の開始や停止が行えます。
→ *「録音を開始 / 停止する」(P152)*

⑪ タイトル取得
手動でタイトル情報を取得します。
→ *「タイトル情報を取得する」(P135)*

■ リストについて

① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② **録音状態アイコン**
Ⓡ (青): 未録音
Ⓡ (赤): 録音中
※ 録音済は表示されません。

③ **カーソルスイッチ**
トラックを選択できます。

④ **ホームアイコン**
タッチすると、現在再生している曲にカーソルが移動します。

⑤ ▲
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P132)*

⑥ 再生情報
再生情報画面 *(P130)* に戻ります。

⑦ **トラック番号**

⑧ **トラック名**
トラック名を表示します。
トラック名の情報が空白だった場合は、「Track ○○」と表示します。(○○はトラック番号)

⑨ 録音設定
録音方法の設定が行えます。
→ *「音楽 CD の録音方法を変更する」(P300)*

⑩ タイトル取得
タイトル情報を取得します。
→ *「タイトル情報を取得する」(P135)*

⑪ 録音開始 , 録音停止
録音の開始や停止が行えます。
→ *「録音を開始 / 停止する」(P152)*

AV
DISC

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽 CD の再生情報画面で ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする

3 ▼ にタッチする

再生モード表示

選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 選んだ再生モードを解除するときは、手順 2 でもう一度選んだ再生モードにタッチします。

■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
スキャン	ディスク内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	ディスク内の曲を順不同に再生します。

タイトル情報を取得する

音楽 CD を本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。
オーディオ画面以外を表示していた場合は、[設定する] にタッチすることで取得できます。

お知らせ

- タイトル情報は、地図カードに記録されている Gracenote データベースを利用してタイトル情報を取得します。
- 一度取得したタイトル情報は USER スロットの音楽用 SD カードに記録されます。次回同じ音楽 CD を挿入した場合、タイトル情報の取得操作 ([設定する] にタッチする操作) が不要になりますので、音楽用 SD カードを挿入しておくことをお勧めします。
- CD-TEXT の場合は CD 内から TEXT 情報を取得して表示します。TEXT 情報が無い場合は、地図カード内の Gracenote データベースからタイトル情報を取得して表示します。
- タイトル情報が取得できない場合は、「NO TITLE」や「NO NAME」などと表示され、NoTitle リストに登録されます。
- 本機の発売時期以降に発売された音楽 CD のタイトル情報は地図カードに記録された Gracenote データベースから取得することはできません。また、それ以前の音楽 CD でも情報を取得できない場合があります。
- 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示する場合があります。
- CD-TEXT は日本語と英語以外の言語には対応していません。
- タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 通信でタイトル情報の取得を行う場合は携帯電話の表示を待ち受け画面にしてください。

■ 取得できる情報について

- アルバム名
- アルバム名の読み
- アルバムのアーティスト名
- アルバムのアーティスト名の読み
- トラック名
- トラックのアーティスト名
- ジャンル名

■ Gracenote について

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。
Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

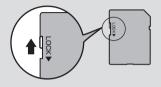
著作権、使用許諾について詳しくは*「Gracenote サービスについて」(P328)* をご覧ください。

AV
DISC

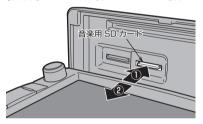
■ Gracenote データベースを SD カードで更新する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して Gracenote のデータベースを SD カードで取得することができます。

お知らせ

- あらかじめ地図カードおよび音楽用 SD カードのロックを解除しておいてください。

- あらかじめ Gracenote データベースバージョンを確認しておいてください。
→「バージョンを確認する」(P267)

1 本機から音楽用 SD カードを取り出す

(音楽用SDカードが挿入されている場合のみ)

→「SD カードを取り出す」(P18)

2 ご自宅のパソコンから Gracenote データベースを取得する

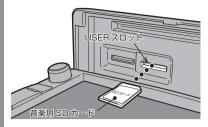
三菱自動車ホームページから Gracenote データベースをダウンロードします。

3 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する

ZIP 圧縮されているファイルは、解凍しておく必要があります。

4 解凍したファイルをすべて音楽用 SD カードにコピーする

解凍したファイルの容量を確認し、容量にあった SD カードを準備してください。

5 ファイルがコピーされた音楽用 SD カードを本機に挿入する

→「SD カードを挿入する」(P17)

6 更新する にタッチする

本機データベースのバージョンよりも新しいバージョンであれば、以下の画面を表示します

▼

Gracenote データベースの更新が完了します。

アドバイス

- CD-R に解凍済のファイルを書き込めば、本機に挿入することで手順 6 以降の操作で Gracenote データベースを更新することができます。

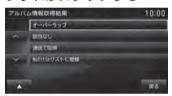
■ 手動で取得する

ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽 CD の再生情報画面で タイトル取得 にタッチする

▼

タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタッチする

アルバム名 / アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タッチすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	タイトル情報なしの状態となります。NoTitle リスト *(P166)* への登録も行いません。
通信で取得	携帯電話のデータ通信機能を使ってタイトル情報を取得します。但し、あらかじめ DUN プロファイルに対応した携帯電話と本機を Bluetooth 接続しておく必要があります。 → *「Bluetooth の設定」(P279)*
NoTitle リストに登録	MusicServer の NoTitle リストにこの音楽 CD の情報を登録します。後でまとめてタイトル情報を取得することができます。 → *「NoTitle リストを管理する」(P166)*
▲	サブメニューを表示します。選択しているタイトル候補のトラック情報を確認することができます。

AV

DISC

ディスクの音楽ファイルを聴く

ディスク内の音楽ファイルの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P111)

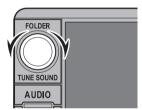
お知らせ

- 音楽ファイルのディスクを本機に挿入した状態で操作してください。

1 MODE キーを押す

Mode メニューを表示します。

2 CD にタッチする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

3 FOLDER/TUNE キーを回して、フォルダを選ぶ

4 ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押して曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。
ここでは、音楽ファイルの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽ファイルの再生情報画面で リスト表示 にタッチする

▼

リストを表示します。

2 再生情報 にタッチする

▼

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT] にタッチすると、フォルダを展開します。
- ∧ ∨ や ≪ ≫ にタッチしてフォルダやトラックを選ぶことができます。

■ 再生情報画面について

① **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。
WAV 形式の場合はフォルダ名を表示します。

② **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

③ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1, ※2

④ **ジャンル名**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。
タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。※2

⑤ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。
Stereo ：ステレオ
Joint-St ：ジョイントステレオ
Dual-Ch ：デュアルチャンネル
Monoral ：モノラル

⑥ ▲
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P139)*

※ 1　表示できるジャケット写真は、JPEG 形式 (最大画素数：縦 320 ×横 240) です。また、画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

※ 2　WAV 形式は対応していません。

⑦ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P139)*
：リピート再生中
：フォルダリピート再生中
：スキャン再生中
：フォルダスキャン再生中
：ランダム再生中
ALL ：オールランダム再生中

⑧ **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。
WAV 形式の場合はファイル名を表示します。

⑨ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。※2

⑩ **再生時間**

⑪ **リスト表示**
フォルダリスト *(P138)* を表示します。

■ リストについて

① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② **カーソルスイッチ**
フォルダやファイルを選択できます。

③ **ホームアイコン**
タッチすると、現在再生している曲にカーソルが移動します。

④ ▲
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P139)*

⑤ 再生情報
音楽ファイルの再生情報画面 *(P137)* に戻ります。

⑥ ROOT
階層の最上位を示します。

⑦ **フォルダ名**
タッチすると、フォルダを展開します。

⑧ **ファイル名**
タッチすると、曲の再生を開始します。

⑨ Root へ移動
リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。

⑩ 1 階層上がる
階層が 1 つ上がります。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 音楽ファイルの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする

3 にタッチする

▼

再生モード表示

選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

リピート	タッチするたびに「リピート」→「フォルダリピート」→「解除」と切り換わります。 **リピート**：再生中の曲を繰り返して再生します。 **フォルダリピート**：再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
スキャン	タッチするたびに「スキャン」→「フォルダスキャン」→「解除」と切り換わります。 **スキャン**：再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。 **フォルダスキャン**：メディア内の全フォルダの 1 曲目を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	タッチするたびに「ランダム」→「オールランダム」→「解除」と切り換わります。 **ランダム**：再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。 **オールランダム**：メディア内の曲すべてを順不同に再生します。

DVD ビデオを見る

DVD ビデオの見かたについて説明します。

注 意

- DVD ビデオの映像は安全上の配慮から、停車しているときだけご覧になることができます。
(後席ディスプレイなどに表示した映像は走行中でもご覧になれます。)
- DVD ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- DVD ビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVD ビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、⊘ マークを表示します。
- 本機は「dts」*(P322)* には対応しておりませんので、「dts」を選んでいた場合は音声が出力されません。必ず「dts」以外の音声を選んでください。
- DOLBY DIGITAL や MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
- DVD ビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアから DVD ビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→ *「ディスクを挿入する」(P111)*

お知らせ

- DVD ビデオを本機に挿入した状態で操作してください。

1 **MODE キーを押す**

Mode メニューを表示します。

2 **DVD にタッチする**

DVD ビデオの再生画面を表示します。

3 **FOLDER/TUNE キーを回して、タイトルを選ぶ**

4 **∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押してチャプターを選ぶ**

選んだチャプターの再生を開始します。

アドバイス

- ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押し続けることで早送り、早戻しができます。

DVD ビデオの操作画面を表示する

DVD ビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 画面のいずれかにタッチする

▼

操作画面を表示します。

お知らせ

- 本書では DVD ビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

DVD VIDEO	ビデオモードで記録されたディスク
DVD-VR	VR モードで記録されたディスク

AV DISC

■ 再生中の操作画面

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。

DVD VIDEO の場合

① **ソースプレート**
現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。
状態アイコン
▶ ：再生中
II ：一時停止中
▶▶ ：早送り中
◀◀ ：早戻し中
1/2 I▶ ：スロー再生中

② サーチ
タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。
→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P145)

③ 切換
音声の言語 / 種別や字幕情報の選択 *(P146)* や画面サイズの切り換え *(P146)*、アングルの切り換え *(P147)* が行えます。

④ 数字入力
DVD ビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。
→「数字入力でメニューを選ぶ」(P148)

⑤ メニュー
記録されているタイトルメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。
→「メニューを操作する」(P147)

⑥ メニュー操作
メニュー操作パネルを表示します。

⑦ 再生
一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止
映像が表示された状態で停止します。

⑨ 停止
再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わります。*(P144)*

⑩ スロー
タッチするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑪ リターン
あらかじめ DVD ビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生)

DVD-VR の場合

① **ソースプレート**

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

- ▶ ：再生中
- ❚❚ ：一時停止中
- ▶▶ ：早送り中
- ◀◀ ：早戻し中
- 1/2 ❙▶ ：スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。
→*「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P145)*

③ 切換

音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択 *(P146)* や画面サイズの切り換え *(P146)* が行えます。

④ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。
→*「タイトルリストを表示する」(P150)*

⑤ 音声多重切換

二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されていた場合、タッチするたびに [主音声] → [副音声] → [主＋副] → [主音声]･･･のように音声を切り換えることができます。
→*「音声多重を切り換える」(P150)*

⑥ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑦ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑧ 停止

再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わります。*(P144)*

⑨ スロー

タッチするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] ･ ･ ･
と再生速度が変わります。(スロー再生)

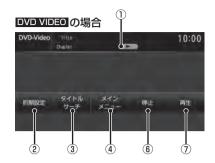
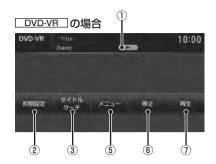
⑩ 次の静止画

静止画表示中に、次の静止画を表示することができます。→*「静止画を送る」(P149)*

■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。

DVD VIDEO の場合

DVD-VR の場合

① **状態アイコン**

[▶] (点滅) : 停止中 (続き再生可能)

[■] : 停止中 (続き再生不可)

② 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。

→ *「DVD ビデオの初期設定」(P301)*

③ タイトルサーチ

タイトル番号を入力して選ぶことができます。

→ *「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P145)*

④ メインメニュー

記録されているメインメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。

→ *「メニューを操作する」(P147)*

⑤ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。

→ *「タイトルリストを表示する」(P150)*

⑥ 停止

再生中から停止にしたとき (状態アイコン [▶] が点滅状態) は続き再生 (レジューム再生) ができます。

再度 [停止] にタッチすると状態アイコンが [■] になり続き再生ができなくなります。

⑦ 再生

状態アイコン [▶] が点滅状態であれば、続き再生ができます。

状態アイコンが [■] であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

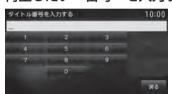
DVD VIDEO　DVD-VR

タイトル番号やチャプター番号を選ぶ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 サーチ にタッチする

3 タイトル または チャプター にタッチする

4 再生したい“番号”を入力する

→「文字入力のしかた」(P20)

5 決定 にタッチする

▼

指定した番号のタイトルまたはチャプターから再生します。

アドバイス

- タイトルの場合は最大で2桁、チャプターの場合は最大3桁まで入力できます。
- 手順4で最大桁数まで入力した場合は、手順5の[決定]は必要ありません。

■ 停止画面からの操作

停止中では、タイトル番号の変更のみ行えます。

1 停止中、画面にタッチする

2 タイトルサーチ にタッチする

3 再生したい“番号”を入力する

→「文字入力のしかた」(P20)

4 決定 にタッチする

▼

指定した番号のタイトルから再生します。

アドバイス

- 手順3で最大桁数の2桁まで入力した場合は、手順4の[決定]は必要ありません。

DVD VIDEO　DVD-VR

音声 / 字幕を切り換える

DVD VIDEO では音声の言語 / 種別や字幕情報の選択が行え、DVD-VR では音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択が行えます。

1 再生中、画面にタッチする

2 切換 にタッチする

3 音声 または 字幕 にタッチする

音声または字幕の切換メニューを表示します。

4 音声 または 字幕 にタッチする

▼

タッチするたびに、音声または字幕が切り換わります。

アドバイス

- 変更中には音声情報または字幕情報がソースプレートに表示されます。

DVD VIDEO　DVD-VR

画面表示を切り換える

DVD ビデオでは 4 種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 切換 にタッチする

3 画面サイズ設定 にタッチする

モードの切換メニューを表示します。

4 いずれかの“モード”にタッチする

▼

画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- ノーマル画面は縦横比 4:3、ワイド画面は縦横比 16:9 です。
- ズームでは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると (フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行う)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

DVD VIDEO

アングルを切り換える

複数のアングルが収録された DVD ビデオであればアングルを切り換えることができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 切換 にタッチする

3 アングル にタッチする

アングルの切換メニューを表示します。

4 アングル にタッチする

▼

タッチするたびに、アングルが切り換わります。

アドバイス

- 変更中にはアングル番号がソースプレートに表示されます。

DVD VIDEO

メニューを操作する

タイトルメニューやメインメニューを表示し、各メニューの選択および決定が行えます。

■ タイトルメニューの場合

1 再生中、画面にタッチする

2 メニュー にタッチする

タイトルメニューを表示します。

3 カーソルスイッチにタッチしてメニューを選ぶ

カーソルスイッチ

4 決定 にタッチする

▼

選択したメニューの項目の再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルで [戻る] にタッチすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- [左へ移動] または [右へ移動] にタッチすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

AV

DISC

■ メインメニューの場合

1 停止中、画面にタッチする

2 [メインメニュー] にタッチする

メインメニューを表示します。

3 カーソルスイッチにタッチしてメニューを選ぶ

カーソルスイッチ

4 [決定] にタッチする

▼

選択したメニューの項目の再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルで [戻る] にタッチすると映像はメインメニューのまま操作画面を表示します。
- [左へ移動] または [右へ移動] にタッチすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

DVD VIDEO

数字入力でメニューを選ぶ

DVD ビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

1 メニューを表示する

→ *「メニューを操作する」(P147)*

2 [戻る] にタッチする

▼

操作画面を表示します。

アドバイス

- 再び、メニュー操作パネルを表示するときは、[メニュー操作] にタッチします。

3 [数字入力] にタッチする

4 再生したい“メニュー番号”を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P20)*

5 [決定] にタッチする

▼

指定したメニュー番号の項目を再生します。

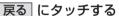
DVD VIDEO

視聴制限がある DVD ビデオを再生したとき

「視聴制限のレベルを設定する」(P302) で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のある DVD ビデオを再生すると、視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。また、DVD ビデオによっては、視聴制限のあるシーンに差し掛かるとパスワードを入力する画面を表示する場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

視聴制限のあるシーンに差し掛かり、
パスワードを入力する画面が表示されたら・・・

1 戻る にタッチする

▼

視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

お知らせ

- DVD ビデオによっては、[戻る] にタッチしても継続して再生することができない場合があります。
- パスワードを入力すると視聴制限のあるシーンを飛ばすことなく再生することができます。パスワードは*「視聴制限のレベルを設定する」(P302)* で設定したパスワードとなります。

DVD-VR

静止画を送る

静止画表示中に、次の静止画を表示することができます。

1 静止画表示中、画面にタッチする

2 次の静止画 にタッチする

▼

タッチするたびに、次の静止画の表示に切り換わります。

AV DISC

DVD-VR

音声多重を切り換える

二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されていた場合、[主音声] → [副音声] → [主＋副] → [主音声] ・・・のように音声を切り換えることができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 音声多重切換 にタッチする

▼

タッチするたびに、[主音声] → [副音声] → [主＋副] → [主音声]・・・と切り換わります。

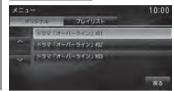
DVD-VR

タイトルリストを表示する

1 再生中または停止中、画面にタッチする

2 メニュー にタッチする

タイトルリストを表示します。

3 オリジナル または プレイリスト にタッチする

4 再生したい“メニュー”にタッチする

▼

選んだメニューの再生を開始します。

MusicServer/SD

MusicServer に録音する

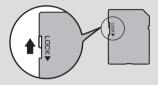
MusicServer への録音について

本機は、挿入した音楽 CD の曲を等倍～約 4 倍速で USER スロットに挿入された SD カード (音楽用 SD カード) に録音することができます。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽 CD を挿入後、[録音する] にタッチすることで音楽 CD 内の曲をすべて MusicServer に録音します。

注 意

- 録音したものを個人で楽しむなど以外の目的で使用することは、著作権法上禁止されています。
- MusicServer に録音できるのは音楽 CD (CD-DA) からのみです。音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア (SD カードや USB メモリーなど) からの録音はできません。
- 録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。

お知らせ

- SD カードの対応容量は、最大 32GB (SDHC 規格対応) です。
  SD カードによっては、正常に録音できない場合があります。
- 読み書き可能な SD カードを本機の USER スロットに挿入した状態で操作してください。(SD カードの Lock は解除しておいてください。)

- 音楽用 SD カードは、あらかじめ*「SD カードをフォーマットする」(P231)* の [SD カード (USER スロット) の初期化] で SD-Audio フォーマットに初期化しておく必要があります。初期化を行わないと、正常に録音や再生ができない場合があります。
- 1 枚の SD カードに最大 CD99 枚まで録音することができます。
- 録音ビットレートは 128kbps です。
- 録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- MusicServer に録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、ハードディスク、USB メモリー、SD カードなど) に複製 / 移動することはできません。
- すでに録音した曲は同じ音楽 CD から重複して録音することはできません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 本機の処理負荷の状態や音楽 CD 側の状態により、録音速度が等倍速より遅くなる場合があります。

次のページにつづく

お知らせ

- 音飛びなどのエラーがあった場合は、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- 曲と曲の間にブランクがない場合は、曲間に無音が録音されます。
- SCMS(孫コピー防止技術) の働きにより、音楽 CD をデジタル録音したディスクから MusicServer へ録音することはできません。

アドバイス

- 録音方法を変更することができます。→*「音楽CDの録音方法を変更する」(P300)*

録音を開始 / 停止する

ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。→*「音楽CDを聴く」(P129)*

1 録音したい曲を再生する

2 音楽 CD の再生情報画面で 録音開始 にタッチする

▼

選んだ曲の録音を開始し、追いかけ再生を行います。

3 録音を停止するときは、録音停止 にタッチする

▼

録音を停止します。

MusicServer を聴く

MusicServer とは、USER スロットに挿入された SD カードに音楽 CD の曲を録音し、再生する機能です。

注 意

- 音楽用 SD カードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の補償は致しかねます。

お知らせ

- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本書では、USER スロットに挿入された音楽ファイルが記録された SD カードのことを“音楽用 SD カード”と説明しています。

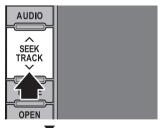
1 **MODE キーを押す**

Mode メニューを表示します。

2 **SD にタッチする**

3 **MusicServer にタッチする**

4 **∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押して曲を選ぶ**

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。
- プレイリスト内の曲を再生している場合は、[FOLDER/TUNE] キーを回すと、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

■ SD-Audio について

本機の MusicServer は SD-Audio 規格に対応しています。
ご家庭のパソコンなどで SD-Audio 規格で録音した音楽ファイルの SD カードを本機の USER スロットに挿入することで、MusicServer として再生することができます。

他の機器で録音したプレイリストの情報について

他の機器で録音したプレイリストの情報を本機で編集すると、以下のようになります。

- プレイリスト名 / トラック名 / アルバム名 / アーティスト名 / ジャンル名以外の情報は消去されます。
- 各名称の 19 文字以降はカットされます。
- 半角文字 (カタカナ、英数字) は全角文字になります。
- 規定外の文字コードで入力されている文字は“□”で表示されます。

■ 再生情報画面について

① MP3/WMA/AAC/WAV
再生情報画面を SD カードに切り換え、SD カードの再生を開始します。
→ *「SD カードの曲を聴く」(P170)*

② **全曲 / プレイリスト名**
全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

③ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

④ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1

⑤ **ジャンル名**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑦ ▲
サブメニューを表示します。*(P164)*
再生モードの変更や NoTitle リストの表示 *(P166)*、MusicServer の全消去 *(P169)* が行えます。

⑧ 全曲
全曲のトラックリスト *(P156)* を表示します。

⑨ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「サブメニューを表示する」(P164)*
：リピート再生中
：プレイリストリピート再生中
：スキャン再生中
：プレイリストスキャン再生中
：ランダム再生中
：プレイリストランダム再生中
ALL：オールランダム再生中

⑩ **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「Track ○○」と表示します。(○○はトラック番号)
録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。

⑪ **再生時間**

⑫ プレイリスト
プレイリスト選択画面 *(P155)* を表示します。

⑬ PlaylistMode
メディア内にご家庭のパソコンなどで作成したプレイリストが存在しているときのみ表示します。タッチして ON 状態のとき、[全曲] と [プレイリスト] が [Music Menu] に変わり、Music Menu を表示できるようになります。

※1 表示できるジャケット写真は、JPEG 形式 (最大画素数：縦 320 ×横 240) です。また、画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ プレイリスト選択画面

① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② **カーソルスイッチ**
フォルダやファイルを選択できます。

③ **ホームアイコン**
タッチすると、現在再生している曲にカーソルが移動します。

④ ▲
サブメニューを表示します。*(P164)*
再生モードの変更やプレイリスト *(P157)* の編集が行えます。

⑤ **プレイリスト名**
タッチすると、そのプレイリスト内のトラックリスト *(P156)* を表示します。

⑥ 再生情報
MusicServer の再生情報画面 *(P154)* に戻ります。

■ トラックリストについて

① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② **カーソルスイッチ**
フォルダやファイルを選択できます。

③ **ホームアイコン**
タッチすると、現在再生している曲にカーソルが移動します。

④ ▲
サブメニューを表示します。*(P164)*
再生モードの変更やトラックの編集 *(P161)* が行えます。

⑤ 再生情報
MusicServer の再生情報画面 *(P154)* に戻ります。

⑥ **全曲 / プレイリスト名**
全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。
プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

⑦ **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報があれば曲名を表示します。
タイトル情報がなければ「Track ○○」と表示します。(○○はトラック番号)
録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。
タッチすると、選択した曲の再生を開始します。

⑧ 戻る
プレイリスト内の曲を再生している場合は、プレイリスト選択画面 *(P155)* を表示します。全曲再生の場合は、表示されません。

プレイリスト選択画面を表示する

MusicServer に音楽 CD の曲を録音すると、自動的にアルバムごとのプレイリストが作成されます。このプレイリストをアルバムごとに選択することができます。
ここでは、MusicServer の再生情報画面からの操作方法を説明します。

お知らせ

- MusicServer に 1 曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

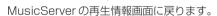
1 MusicServer の再生情報画面で、[プレイリスト] にタッチする

▼

プレイリスト選択画面を表示します。
各プレイリストにタッチすると、そのプレイリストのトラックリストを表示します。

2 [再生情報] にタッチする

▼

MusicServer の再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [︿] [﹀] や [⌃⌃] [⌄⌄] にタッチしてプレイリストを選ぶことができます。

プレイリストを編集する

プレイリストのタイトルや再生順序の変更、消去が行えます。

■ プレイリストのタイトルを変更する

プレイリスト名を変更することができます。
ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。
→*「プレイリスト選択画面を表示する」(P157)*

1 カーソルスイッチでタイトルを変更したい“プレイリスト”を選ぶ

2 [▲] → [編集] にタッチする

3 [プレイリスト情報編集] にタッチする

プレイリストの情報編集画面を表示します。

4 [タイトル] にタッチする

アドバイス

- [▲] にタッチすると、選択しているプレイリストのタイトル情報を取得できます。→*「タイトル情報を取得する」(P165)*

AV

MusicServer/SD

次のページにつづく

5 変更したい“タイトル”を入力し、[入力完了]にタッチする

→「文字入力のしかた」(P20)

▼

プレイリストの情報編集画面に戻ります。

6 [決定]にタッチする

▼

選択したプレイリストのタイトル変更が完了します。

■ プレイリストの再生順序を変更する

MusicServer 内のプレイリストは録音順に格納され、通常その順序で再生されます。本機能は、プレイリストの再生順序を変更することができます。ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P157)

1 [▲] → [編集] にタッチする

2 [プレイリスト再生順変更]にタッチする

再生順序を変更する画面を表示します。

3 再生順序を変更したい“プレイリスト”にタッチする

4 カーソルスイッチで“プレイリスト”を移動する

5 移動した“プレイリスト”にタッチする

手順 2 で選択したプレイリストにタッチします。

▼

再生順序の変更が完了します。

アドバイス

- 手順 4 でプレイリストを直接タッチすることでタッチしたトラックの位置に移動します。

■ プレイリストを消去する

1 件のみ消去する場合と選択して消去する場合の方法があります。

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P157)

アドバイス

・録音中にこの操作は行えません。

1 件を消去する場合

1 カーソルスイッチで消去したい“プレイリスト”を選ぶ

2 ▲ → 編集 にタッチする

3 プレイリスト消去 にタッチする

4 1 件消去 にタッチする

5 消去する にタッチする

▼

選択したプレイリストの消去が完了します。

選択して消去する場合

1 ▲ → 編集 にタッチする

2 プレイリスト消去 にタッチする

3 選択消去 にタッチする

4 消去したいすべての“プレイリスト”にタッチする

消去されるプレイリストのチェックボックスが ☑ に変わります。

アドバイス

・ここで ▲ にタッチすると、すべてチェックする [全選択] とすべてのチェックを解除する [全解除] が選べます。

5 決定 にタッチする

6 消去する にタッチする

▼

選択したすべてのプレイリストの消去が完了します。

AV

MusicServer/SD

トラックリストを表示する

お知らせ

- MusicServer に 1 曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

■ 全曲再生のトラックリストを表示する

MusicServer内に録音されたすべてのトラックリストを表示します。
ここでは、MusicServer の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 MusicServer の再生情報画面で、[全曲] にタッチする

全曲のトラックリストを表示します。
各トラックにタッチすると、そのトラックの再生を開始します。

2 [再生情報] にタッチする

▼

MusicServer の再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [∧] [∨] や [⩓] [⩔] にタッチしてトラックを選ぶことができます。

■ プレイリスト内のトラックリストを表示する

アルバムごとに管理されたプレイリストを選択し、そのトラックリストを表示します。

1 MusicServer の再生情報画面で、[プレイリスト] にタッチする

プレイリスト選択画面を表示します。

2 再生したい“プレイリスト”にタッチする

▼

選択したプレイリストのトラックリストを表示します。
各トラックにタッチすると、そのトラックの再生を開始します。

3 [戻る] にタッチする

▼

プレイリスト選択画面に戻ります。

アドバイス

- [∧] [∨] や [⩓] [⩔] にタッチしてトラックを選ぶことができます。

トラックを編集する

トラックの情報や再生順序の変更、消去が行えます。

■ トラックの情報を編集する

トラックのタイトルやアルバム名、アーティスト名、ジャンル名を変更できます。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→ *「トラックリストを表示する」(P160)*

1 カーソルスイッチでタイトルを変更したい"トラック"を選ぶ

2 [▲] → [編集] にタッチする

3 [トラック情報編集] にタッチする

トラックの情報編集画面を表示します。

4 変更したいいずれかの"入力ボックス"にタッチし、入力する

▼

→ *「文字入力のしかた」(P20)*

アドバイス

- [▲] にタッチすると、選択しているトラックのタイトル情報を取得できます。
→ *「タイトル情報を取得する」(P165)*

5 [決定] にタッチする

▼

選択したトラック情報の変更が完了します。

■ トラックの再生順序を変更する

トラックの再生順序を変更することができます。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→ *「トラックリストを表示する」(P160)*

1 [▲] → [編集] にタッチする

2 [トラック再生順変更] にタッチする

再生順序を変更する画面を表示します。

3 再生順序を変更したい"トラック"にタッチする

4 カーソルスイッチで"トラック"を移動する

5 移動した"トラック"にタッチする

手順３で選択したトラックにタッチします。

▼

再生順序の変更が完了します。

アドバイス

- 手順４でトラックを直接タッチすることでタッチしたトラックの位置に移動します。
- プレイリスト内のトラックリストを表示中 *(P160)* に、[CD 収録曲順] → [実行する] にタッチすると、録音した順に並び替わります。

■ トラックを消去する

1 件のみ消去する場合と選択して消去する場合の方法があります。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P160)

1 件を消去する場合

1 カーソルスイッチで消去したい“トラック”を選ぶ

2 ▲ → 編集 にタッチする

3 トラック消去 にタッチする

4 1 件消去 にタッチする

5 消去する にタッチする

▼

選択したトラックの消去が完了します。

選択して消去する場合

1 ▲ → 編集 にタッチする

2 トラック消去 にタッチする

3 選択消去 にタッチする

4 消去したいすべての“トラック”にタッチする

消去されるトラックのチェックボックスが ☑ に変わります。

アドバイス

- ここで ▲ にタッチすると、すべてチェックする [全選択] とすべてのチェックを解除する [全解除] が選べます。

5 決定 にタッチする

6 消去する にタッチする

▼

選択したすべてのトラックの消去が完了します。

Music Menu を表示する

Music Menu を表示すると、アーティストやアルバムごとのリストを表示することができます。

お知らせ

- メディア内にご家庭のパソコンなどで作成したプレイリストが存在しているときにのみ本機能をご利用になれます。

1 MusicServer の再生情報画面で PlaylistMode にタッチする

▼

[PlaylistMode] が ON 状態になり、[リスト表示] が [Music Menu] に変わります。

2 Music Menu にタッチする

Music Menu を表示します。

3 いずれかの“メニュー”にタッチする

▼

各メニューに対応したリストを表示します。

■ Music Menu について

アーティスト	アーティストのリストを表示します。
アルバム	アルバムのリストを表示します。
曲	曲のリストを表示します。
ジャンル	ジャンルのリストを表示します。
再生情報	再生情報画面に戻ります。 →*「再生情報画面について」(P154)*
▲	サブメニューを表示し、再生モードの変更ができます。 →*「サブメニューを表示する」(P164)*

サブメニューを表示する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。
この操作は、MusicServerの再生情報画面*(P154)*やプレイリスト選択画面*(P155)*、トラックリスト*(P156)*から行えます。

1 MusicServerの再生情報画面などで、[▲]にタッチする

▼

サブメニューを表示します。

■ サブメニューについて

リピート	タッチするたびに「リピート」→「プレイリストリピート」→「解除」と切り換わります。 **リピート**：再生中の曲を繰り返して再生します。 **プレイリストリピート**：再生中の曲があるプレイリストを繰り返して再生します。
スキャン※1	タッチするたびに「スキャン」→「プレイリストスキャン」→「解除」と切り換わります。 **スキャン**：再生中の曲があるプレイリスト内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。 **プレイリストスキャン**：MusicServer内の全フォルダの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	タッチするたびに「ランダム」→「プレイリストランダム」→「オールランダム」→「解除」と切り換わります。 **ランダム**：再生中の曲があるプレイリスト内の曲を順不同に再生します。 **プレイリストランダム**：MusicServer内の全プレイリストを順不同に選択し、プレイリスト内の曲を順番に再生します。 **オールランダム**：MusicServer内の曲すべてを順不同に再生します。
NoTitleリスト※1、※2	NoTitleリストの管理が行えます。 →*「NoTitleリストを管理する」(P166)*
MusicServer全消去※2	MusicServer内の曲をすべて消去することができます。 →*「MusicServer内の曲をすべて消す」(P169)*
編集※3	プレイリスト選択画面*(P155)*から操作すると、プレイリストの編集*(P157)*が行えます。 トラックリスト*(P156)*から操作すると、トラックの編集*(P161)*が行えます。

※1　PlaylistModeがON時のサブメニューには表示されません。

※2　MusicServerの再生情報画面のときのサブメニューにのみ表示します。

※3　プレイリスト選択画面*(P155)*またはトラックリスト*(P156)*からのサブメニューにのみ表示します。

タイトル情報を取得する

通常は、音楽 CD を本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得しますが、MusicServer に録音した後の再取得について説明します。
MusicServer からのタイトル情報の取得は、プレイリストの情報編集画面 *(P157)* またはトラックの情報編集画面 *(P161)* から行うことができます。

お知らせ

- タイトル情報について詳しくは *「タイトル情報を取得する」(P133)* をご覧ください。
- 本機の Gracenote データベースを更新する場合は、*「Gracenote データベースを SD カードで更新する」(P134)* をご覧ください。

■ 本体から取得する

地図カードに記録されているデータからタイトル情報を取得します。

1 プレイリストまたはトラックの情報編集画面で ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 本機から取得 にタッチする

タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

3 いずれかにタッチする

→*「タイトル候補の選択画面について」(P166)*

■ 通信で取得する

携帯電話のデータ通信機能を使ってタイトル情報を取得します。

お知らせ

- あらかじめ DUN プロファイルに対応した携帯電話と本機を Bluetooth 接続しておく必要があります。
  → *「Bluetooth の設定」(P279)*
- 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

1 プレイリストまたはトラックの情報編集画面で ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 通信で取得 にタッチする

3 取得する にタッチする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

4 いずれかにタッチする

→*「タイトル候補の選択画面について」(P166)*

■ タイトル候補の選択画面について

アルバム名 / アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タッチすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	現在のタイトル情報から変更を行いません。NoTitle リスト *(P166)* への登録も行いません。
通信で取得	携帯電話のデータ通信機能を使ってタイトル情報を取得します。但し、あらかじめ DUN プロファイルに対応した携帯電話と本機を Bluetooth 接続しておく必要があります。 → *「Bluetooth の設定」(P279)*
NoTitle リストに登録	MusicServer の NoTitle リストにこの音楽 CD の情報を登録します。別の方法を使い、後でまとめてタイトル情報を取得することができます。 →*「NoTitle リストを管理する」(P166)*
▲	サブメニューを表示します。選択しているタイトル候補のトラック情報を確認することができます。

NoTitle リストを管理する

タイトル情報が取得できなかったアルバムをあらかじめ NoTitle リストに登録しておくと、さまざまな方法でタイトル情報を取得することができます。

1 MusicServer の再生情報画面で ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 NoTitle リスト にタッチする

▼

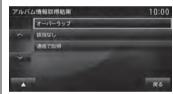
NoTitle リストを表示します。

■ 本機からタイトル情報を取得する

Gracenote データベースを更新 *(P134)* したときや本機のバージョンアップ *(P241)* を行ったときは、以下の方法でタイトル情報を取得することができます。
ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

1 NoTitle リストで、タイトル情報を取得したい“アルバム”にタッチする

タイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタッチする

→*「タイトル候補の選択画面について」(P166)*

■ 通信でタイトル情報を取得する

携帯電話のデータ通信機能を使って登録されている NoTitle リストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

お知らせ

- あらかじめ DUN プロファイルに対応した携帯電話と本機を Bluetooth 接続しておく必要があります。
  →「Bluetooth の設定」(P279)
- 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

1 NoTitle リストで、 通信で一括取得 にタッチする

2 取得する にタッチする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。

▼

NoTitle リストの中でタイトル情報が取得できたアルバムを表示し、それぞれ適用します。

3 確認 にタッチする

▼

タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitle リストから消去されます。

1 件のみ通信で取得する場合

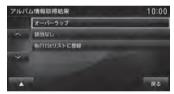
NoTitle リストから個別にタイトル情報を取得します。

1 NoTitle リストで、タイトル情報を取得したい“アルバム”をカーソルスイッチで選ぶ

2 ▲ → 通信で取得 にタッチする

3 取得する にタッチする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

4 いずれかにタッチする

→「タイトル候補の選択画面について」(P166)

■ パソコンからタイトル情報を取得する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して登録されている NoTitle リストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

お知らせ

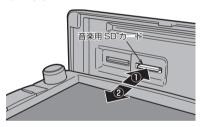
- あらかじめ三菱自動車ホームページから専用ソフトをダウンロードし、ご自宅のパソコンにインストールしておく必要があります。
  URL：http://www.mitsubishi-motors.co.jp/support/download/

1 NoTitle リストで、 PC で一括取得 にタッチする

2 書き出し にタッチする

▼

音楽用 SD カードに NoTitle リスト情報を書き出します。

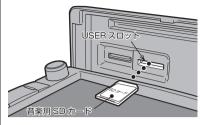
3 本機から音楽用 SD カードを取り出す

→「SD カードを取り出す」(P18)

4 ご自宅のパソコンからタイトル情報を取得する

音楽用 SD カードを本機から取り出し、ご自宅のパソコンにインストールした専用のソフトを使ってタイトル情報を取得します。

▼

音楽用 SD カードにタイトル情報が保存されます。

5 “タイトル情報”が保存された音楽用 SD カードを本機に挿入する

→「SD カードを挿入する」(P17)

6 NoTitle リストで、 PC で一括取得 にタッチする

7 取り込み にタッチする

▼

タイトル情報の取り込みを開始します。NoTitle リストの中でタイトル情報が取得できたタイトルを表示し、各タイトルへ適用します。

8 確認 にタッチする

▼

タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitle リストから消去されます。

■ NoTitle リストから消去する

NoTitle リストの登録を解除したいアルバムがあった場合、この機能を使って NoTitle リストから消去することができます。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

アドバイス

- この操作を行うことで MusicServer から曲が消去されるわけではありません。

1 件を消去する場合

1 カーソルスイッチで消去したい“アルバム”を選ぶ

2 ▲ → NoTitle リストから消去 にタッチする

3 1 件消去 にタッチする

4 消去する にタッチする

▼

選択したアルバムを NoTitle リストから消去します。

選択して消去する場合

1 NoTitle リストで ▲ → NoTitle リストから消去 にタッチする

2 選択消去 にタッチする

3 消去したいすべての“アルバム”にタッチする

4 決定 にタッチする

5 消去する にタッチする

▼

選択したすべてのアルバムを NoTitle リストから消去します。

MusicServer 内の曲をすべて消す

MusicServer(挿入中の音楽用 SD カード) 内にあるすべての曲を消去します。
ここでは、MusicServer の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 MusicServer の再生情報画面で ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 MusicServer 全消去 にタッチする

3 消去する にタッチする

4 再度、消去する にタッチする

▼

MusicServer 内にあるすべての曲の消去が完了します。

SD カードの曲を聴く

USER スロットに挿入された、音楽用 SD カード(音楽ファイルが記録されたSDカード)を本機で再生することができます。

お知らせ

- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- SD カードの推奨ファイルシステムは、FAT16 と FAT32 です。
- SD カードの対応容量は、最大 32GB (SDHC 規格対応) です。
- 本書では、USER スロットに挿入された音楽ファイルが記録された SD カードのことを“音楽用 SD カード”と説明しています。
- 音楽用SDカードを本機のUSERスロットに挿入した状態で操作してください。

注 意

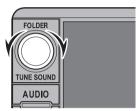
- 取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合があるのでデータのバックアップをお勧めします。
- 音楽用 SD カードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の補償は致しかねます。

1 MODE キーを押す

Mode メニューを表示します。

2 SD にタッチする

3 MP3/WMA/AAC/WAV にタッチする

SD カードの再生情報画面を表示します。

4 FOLDER/TUNE キーを回して、フォルダを選ぶ

5 ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押して曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

■ 再生情報画面について

① MusicServer
再生情報画面を MusicServer に切り換え、MusicServer の再生を開始します。
→ *「MusicServer を聴く」(P153)*

② **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV 形式の場合はフォルダ名を表示します。

③ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

④ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1, ※2

⑤ **ジャンル名**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。
タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。※2

⑥ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

Stereo ：ステレオ
Joint-St ：ジョイントステレオ
Dual-Ch ：デュアルチャンネル
Monoral ：モノラル

⑦ ▲
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P174)*

⑧ リスト表示
フォルダリスト *(P172)* を表示します。

⑨ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P174)*

：リピート再生中
：フォルダリピート再生中
：スキャン再生中
：フォルダスキャン再生中
：ランダム再生中
ALL ：オールランダム再生中

⑩ **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV 形式の場合はファイル名を表示します。

⑪ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。※2

⑫ **再生時間**

⑬ PlaylistMode
メディア内にプレイリストが存在しているときのみ表示します。タッチして ON 状態のとき、[リスト表示] が [Music Menu] に変わり、Music Menu を表示できるようになります。

※1　表示できるジャケット写真は、JPEG 形式 (最大画素数：縦 320 ×横 240) です。また、画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

※2　WAV 形式は対応していません。

AV

MusicServer/SD

■ リストについて

① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② **カーソルスイッチ**
フォルダやファイルを選択できます。

③ **ホームアイコン**
タッチすると、現在再生している曲にカーソルが移動します。

④ ▲
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P174)*

⑤ 再生情報
音楽ファイルの再生情報画面 *(P171)* に戻ります。

⑥ ROOT
階層の最上位を示します。

⑦ **フォルダ名**
タッチすると、フォルダを展開します。

⑧ **ファイル名**
タッチすると、曲の再生を開始します。

⑨ Root へ移動
リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。

⑩ 1 階層上がる
階層が 1 つ上がります。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。
ここでは、SD カードの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 SD カードの再生情報画面で [リスト表示] にタッチする

▼

リストを表示します。

2 [再生情報] にタッチする

▼

SD カードの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT] にタッチすると、フォルダを展開します。
- [∧] [∨] や [︽] [︾] にタッチしてフォルダやトラックを選ぶことができます。

Music Menu を表示する

Music Menu を表示すると、アーティストやアルバムごとのリストを表示することができます。

お知らせ

- メディア内にプレイリストが存在しているときにのみ本機能をご利用になれます。

1 SD カードの再生情報画面で [PlaylistMode] にタッチする

▼

[PlaylistMode] が ON 状態になり、[リスト表示] が [Music Menu] に変わります。

2 [Music Menu] にタッチする

Music Menu を表示します。

3 いずれかの“メニュー”にタッチする

▼

各メニューに対応したリストを表示します。

■ Music Menu について

プレイリスト	プレイリストを表示します。 wpl ファイル (プレイリスト定義ファイル) が必要です。wpl ファイルはメディアのルート階層に格納してください。
アーティスト	アーティストのリストを表示します。
アルバム	アルバムのリストを表示します。
ソング	ソングのリストを表示します。
ジャンル	ジャンルのリストを表示します。
再生情報	再生情報画面に戻ります。 →「再生情報画面について」(P171)
▲	サブメニューを表示し、再生モードの変更ができます。 →「再生モードについて」(P175)

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 SD カードの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする

3 ▼ にタッチする

再生モード表示

選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

リピート	タッチするたびに「リピート」→「フォルダリピート」→「解除」と切り換わります。 **リピート**：再生中の曲を繰り返して再生します。 **フォルダリピート**：再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
スキャン※1	タッチするたびに「スキャン」→「フォルダスキャン」→「解除」と切り換わります。 **スキャン**：再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。 **フォルダスキャン**：メディア内の全フォルダの 1 曲目を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	タッチするたびに「ランダム」→「オールランダム」→「解除」と切り換わります。 **ランダム**：再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。 **オールランダム**：メディア内の曲すべてを順不同に再生します。

※ 1　Music Menu から表示したサブメニューには表示されません。

USB デバイスの曲を聴く

市販されている USB デバイスを本機に接続することで、USB メモリーなどの USB デバイスに記録された音楽ファイルを本機で再生することができます。

注 意

- 運転中に USB デバイスを手に持っての操作は危険なため絶対に行わないでください。
- USB デバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のエンジンスイッチを“OFF”にしてから取り外してください。
- 取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合があるのでデータのバックアップをお勧めします。
- USB デバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の補償は致しかねます。

お知らせ

- USB デバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USB 入力端子の取り扱いなどの詳細は車両取扱説明書をご覧ください。
- USB メモリーの推奨ファイルシステムは、FAT16 と FAT32 です。
- USB メモリーの対応容量は、最大 32GB です。

お知らせ

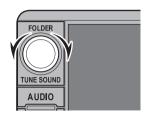
- 音楽ファイルが記録された USB デバイスを本機に接続した状態で操作してください。接続方法については、車両取扱説明書をご覧ください。
- USB デバイスを接続するときは、市販の接続ケーブルを使用してください。接続ケーブルを使用しないで接続すると、USB 接続部に負荷がかかりコネクターが破損する場合があります。
- 接続ケーブルを挟み込むなど、走行中に危険がないように設置してください。
- USB デバイスを抜き差しするときは、安全のために車両を停止させてください。
- USB 端子に音楽機器以外のものを挿入しないでください。機器や装置が破損する場合があります。
- USB デバイスの状態によっては機器の認識、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- USB デバイスを抜き差ししたとき、機器の認識がされない場合があります。その場合は、エンジンスイッチを“OFF”にしてから“ACC”または“ON”にしてください。
- USB デバイス接続中は機器のボタンは操作できません。
- USB デバイスの仕様や設定により接続できない場合や、動作、表示などが異なる場合があります。
- USB デバイス内の音楽データによっては楽曲情報の表示が、正しく表示できない場合があります。
- 車両や機器の状態によりエンジン始動時に続き再生にならないことがあります。
- 著作権情報の含まれるデータは再生できない場合があります。

1 MODE キーを押す

Mode メニューを表示します。

2 USB にタッチする

USBデバイスの再生情報画面を表示します。

3 FOLDER/TUNE キーを回して、フォルダを選ぶ

4 ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押して曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

AV

USB/iPod

■ 再生情報画面について

① **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。
WAV 形式の場合はフォルダ名を表示します。

② **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

③ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1, ※2

④ **ジャンル名**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。
タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。※2

⑤ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。
Stereo ：ステレオ
Joint-St ：ジョイントステレオ
Dual-Ch ：デュアルチャンネル
Monoral ：モノラル

⑥ [▲]
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P181)*

⑦ [リスト表示]
フォルダリスト *(P179)* を表示します。

⑧ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P181)*
：リピート再生中
：フォルダリピート再生中
：スキャン再生中
：フォルダスキャン再生中
：ランダム再生中
ALL ：オールランダム再生中

⑨ **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。
WAV 形式の場合はファイル名を表示します。

⑩ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。※2

⑪ **再生時間**

⑫ [PlaylistMode]
メディア内にプレイリストが存在しているときのみ表示します。タッチして ON 状態のとき、[リスト表示] が [Music Menu] に変わり、Music Menu を表示できるようになります。

※1　表示できるジャケット写真は、JPEG 形式 (最大画素数：縦 320 ×横 240) です。また、画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

※2　WAV 形式は対応していません。

■ リストについて

① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② **カーソルスイッチ**
フォルダやファイルを選択できます。

③ **ホームアイコン**
タッチすると、現在再生している曲にカーソルが移動します。

④ ▲
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P181)*

⑤ 再生情報
音楽ファイルの再生情報画面 *(P178)* に戻ります。

⑥ ROOT
階層の最上位を示します。

⑦ **フォルダ名**
タッチすると、フォルダを展開します。

⑧ **ファイル名**
タッチすると、曲の再生を開始します。

⑨ Root へ移動
リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。

⑩ 1 階層上がる
階層が 1 つ上がります。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。
ここでは、USB デバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 USB デバイスの再生情報画面で リスト表示 にタッチする

▼

リストを表示します。

2 再生情報 にタッチする

▼

USB デバイスの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT] にタッチすると、フォルダを展開します。
- ︿ ﹀ や ︽ ︾ にタッチしてフォルダやトラックを選ぶことができます。

Music Menu を表示する

Music Menu を表示すると、アーティストやアルバムごとのリストを表示することができます。

お知らせ

- メディア内にプレイリストが存在しているときにのみ本機能をご利用になれます。

1 USB デバイスの再生情報画面で PlaylistMode にタッチする

▼

[PlaylistMode] が ON 状態になり、[リスト表示] が [Music Menu] に変わります。

2 Music Menu にタッチする

Music Menu を表示します。

3 いずれかの“メニュー”にタッチする

▼

各メニューに対応したリストを表示します。

■ Music Menu について

プレイリスト	プレイリストを表示します。wpl ファイル (プレイリスト定義ファイル) が必要です。wpl ファイルはメディアのルート階層に格納してください。
アーティスト	アーティストのリストを表示します。
アルバム	アルバムのリストを表示します。
ソング	ソングのリストを表示します。
ジャンル	ジャンルのリストを表示します。
再生情報	再生情報画面に戻ります。 →*「再生情報画面について」(P178)*
▲	サブメニューを表示し、再生モードの変更ができます。 →*「再生モードを変更する」(P181)*

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 USB デバイスの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする

3 ▼ にタッチする

選んだモードの再生を開始します。

AV

USB/iPod

■ 再生モードについて

リピート	タッチするたびに「リピート」→「フォルダリピート」→「解除」と切り換わります。 **リピート**：再生中の曲を繰り返して再生します。 **フォルダリピート**：再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
スキャン※1	タッチするたびに「スキャン」→「フォルダスキャン」→「解除」と切り換わります。 **スキャン**：再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。 **フォルダスキャン**：メディア内の全フォルダの 1 曲目を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	タッチするたびに「ランダム」→「オールランダム」→「解除」と切り換わります。 **ランダム**：再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。 **オールランダム**：メディア内の曲すべてを順不同に再生します。

※ 1　Music Menu から表示したサブメニューには表示されません。

iPod を再生する

市販の iPod ケーブル、iPod/iPhone を本機に接続することで、iPod/iPhone の映像※1 や音声を本機で再生することができます。

※ 1　別売の専用ケーブルが必要です。

注 意

- 運転中に iPod/iPhone を手に持っての操作は危険なため絶対に行わないでください。
- iPod/iPhone 本体を車内に放置しないでください。
- iPod/iPhone の破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の補償は致しかねます。
- 取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合があるのでデータのバックアップをお勧めします。
- iPod/iPhone を Bluetooth 対応オーディオ機器として、本機に Bluetooth 接続した場合、iPod/iPhone と iPod ケーブルは接続しないでください。同時に接続を行うと正常に動作しません。

お知らせ

- 最新のソフトウェアバージョンにした iPod/iPhone を推奨します。
- iPod/iPhone の世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。(→ P9) また、本書で説明する操作方法通りに再生できない場合があります。
- iPod/iPhone を本機に接続した状態で操作してください。接続方法については、車両取扱説明書をご覧ください。
- iPod/iPhone を接続するときは、市販の iPod ケーブルを使用してください。
- iPod のビデオを再生するには、別売の専用ケーブルが必要です。
- 正しく動作しないときは、iPod/iPhone を本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 接続ケーブルを挟み込むなど、走行中に危険がないように設置してください。
- iPod/iPhone を抜き差しするときは、安全のために車両を停止させください。

お知らせ

- iPod/iPhone の状態によっては機器の認識、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- iPod/iPhone 接続中は機器のボタンは操作できません。
- iPod/iPhone の仕様や設定により接続できない場合や、動作、表示などが異なる場合があります。
- iPod/iPhone 内の音楽データによっては楽曲情報の表示が、正しく表示できない場合があります。
- 車両や機器の状態によりエンジン始動時に続き再生にならないことがあります。
- 著作権情報の含まれるデータは再生できない場合があります。
- iPod/iPhone のイコライザー設定をフラットにすることをお勧めします。
- ソフトウェアをアップデートすると、本機と接続して利用できる機能が変更される場合があります。

1 **MODE キーを押す**

Mode メニューを表示します。

2 **iPod にタッチする**

ミュージック再生情報画面を表示します。

3 **∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押して曲を選ぶ**

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

■ ミュージック再生情報画面について

① **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

② **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。

③ **アートワーク**
iPod 内にアートワーク情報があれば、
画像を表示します。

④ **ジャンル名**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑤ [▲]
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P187)*

⑥ **状態アイコン**
- ▶ ：再生中
- 1X ：再生中 (再生速度：普通) ※1
- 2X ：再生中 (再生速度：速い) ※1
- 1/2X ：再生中 (再生速度：遅い) ※1
- II ：一時停止中
- ■ ：停止中
- ▶▶ ：早送り中
- ◀◀ ：早戻し中

※ 1　オーディオブック再生中のみ

⑦ **再生モード表示 (ミュージックのみ)**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P187)*
- ：シングルリピート再生中
- ：シャッフル再生中
- ：アルバムシャッフル再生中
- ：シングルリピート / シャッフル再生中
- ：シングルリピート / アルバムシャッフル再生中

⑧ [▶]
再生を開始します。

⑨ [II]
再生を一時停止します。

⑩ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

⑪ **再生時間 (ミュージックのみ)**

⑫ [メニュー]
ミュージックメニュー*(P185)* を表示します。

※ [チャプターリスト]
(オーディオブック再生中のみ)
オーディオブックのチャプターリストを表示します。
→ *「チャプターリストを表示する」(P189)*

■ ミュージックメニューについて

ミュージック再生情報画面で [メニュー] にタッチすると表示します。
ミュージックメニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示することができます。

カテゴリーメニュー	各カテゴリーのリストを表示します。 *→「リストで探す」(P188)*
再生情報	再生情報画面に戻ります。 *→「ミュージック再生情報画面について」(P184)*
ビデオ	ビデオメニューを表示します。 *→「ビデオメニューについて」(P186)*
▲	サブメニューを表示します。 再生モードの変更が行えます。 *→「再生モードを変更する」(P187)*

iPod のビデオを見る

iPod 内のビデオの見かたについて説明します。

お知らせ

- ビデオ再生機能のない iPod では本機能をご使用になれません。
- iPod のビデオを再生するには、別売の専用ケーブルが必要です。
- iPod ビデオの映像は安全上の配慮から、停車しているときだけご覧になることができます。
  (後席ディスプレイなどに表示した映像は走行中でもご覧になれます。)
- iPod/iPhone 側の出力設定は、「TV 画面 : ワイドスクリーン」「画面に合わせる : OFF」としておくことをおすすめします。
  詳細は iPod/iPhone のユーザーガイドをご覧ください。

1 **MODE キーを押す**

Mode メニューを表示します。

2 **iPod にタッチする**

ミュージック再生情報画面を表示します。

3 **メニュー → ビデオ にタッチする**

4 **“カテゴリー” にタッチする**

5 **再生したい “トラック” にタッチする**

▼

選んだトラックのビデオを再生します。

次のページにつづく

アドバイス

- 手順４で [ビデオプレイリスト] にタッチした場合は、再生したいプレイリストを選ぶ必要があります。
  その後、手順５に続きます。

■ ビデオ再生情報画面について

ビデオ再生中に画面にタッチすると表示するビデオ再生情報画面について説明します。

iPod メニュー	ビデオメニューを表示します。→ *「ビデオメニューについて」(P186)*
▲	サブメニューを表示します。 再生モードの変更が行えます。 →*「再生モードを変更する」(P187)*
チャプターリスト（オーディオブック再生中のみ）	オーディオブックのチャプターリストを表示します。 →*「チャプターリストを表示する」(P189)*
▶	再生を開始します。
❚❚	再生を一時停止します。

■ ビデオメニューについて

ビデオ再生情報画面で [iPod メニュー] にタッチすると表示します。
ビデオメニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示することができます。

お知らせ

- ビデオメニューのカテゴリーメニューは iPod から情報を取得しています。そのため、iPod の世代や機種、ソフトウェアバージョンにより表示内容が異なります。

カテゴリーメニュー

カテゴリーメニュー	各カテゴリーのリストを表示します。 →*「リストで探す」(P188)*
再生情報	ビデオ再生情報画面に戻ります。 →*「ビデオ再生情報画面について」(P186)*
ミュージック	ミュージックメニューを表示します。 →*「ミュージックメニューについて」(P185)*
▲	サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。 →*「再生モードを変更する」(P187)*

再生モードを変更する

リピート再生やシャッフル再生、オーディオブックの再生スピードなどの設定が行えます。ここでは、ミュージック再生情報画面からの操作を説明します。

1 **ミュージック再生情報画面で ▲ にタッチする**

サブメニューを表示します。

2 **変更したい“モード”にタッチする**

3 **にタッチする**

▼

再生モード表示

選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

リピート	タッチするたびに「シングルリピート」→「解除」と切り換わります。 **シングルリピート**：再生中の曲を繰り返して再生します。
シャッフル	タッチするたびに「シャッフル」→「アルバムシャッフル」→「解除」と切り換わります。 **シャッフル**：再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。 **アルバムシャッフル**：再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
再生速度	オーディオブック再生時に再生速度を変更することができます。タッチするたびに「普通」→「速い」→「遅い」と切り換わります。

アドバイス

- シングルリピート中は、シャッフル再生やアルバムシャッフル再生を行ってもシングルリピートを継続します。

リストで探す

ミュージックメニュー *(P185)* やビデオメニュー *(P186)* でカテゴリーにタッチするとそのカテゴリーのリストを表示します。リストにタッチしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲やビデオのトラックを探すことができます。

1 ミュージックメニュー *(P185)* またはビデオメニュー *(P186)* を表示する

2 “カテゴリー”にタッチする

▼

選んだカテゴリーのリストを表示します。

3 リストから再生したい“項目”にタッチする

▼

選んだ項目内のリストを表示します。
手順 3 の操作を繰り返し、曲 (トラック) を探します。
リストから再生したい曲 (トラック) にタッチすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順 2 で選んだカテゴリーによって、手順 3 で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、iPod に記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生しているミュージック再生情報画面やビデオ再生情報画面を表示することができます。

1 リスト表示画面で 再生情報 にタッチする

▼

リスト表示から再生情報画面に切り換わります。

■ チャプターリストを表示する

iPod 内にオーディオブックが収録されていれば、オーディオブックのチャプターリストを表示することができ、チャプターごとに再生することができます。
ここでは、ミュージック再生情報画面からの操作を説明します。

お知らせ

- オーディオブック再生機能のない iPod では本機能はご使用になれません。
- ビデオ再生情報画面からはこの操作はできません。

1 **オーディオブック再生中、ミュージック再生情報画面で チャプターリスト にタッチする**

▼

地上デジタル TV

テレビ機能について

本機では、地上デジタル TV 放送をご覧になることができます。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

注 意

- テレビの映像は安全上の配慮から、停車しているときだけご覧になることができます。(後席ディスプレイなどに表示した映像は走行中でもご覧になれます。)
- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- PPV 番組 (有料番組) に対応していません。
- 地上デジタル TV 放送は放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

B-CAS カードについて

本機対応の地上デジタル TV チューナーは、B-CAS カードが内蔵されています。デジタル放送を視聴していただくには「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意する必要があります。内容については、下記をご覧ください。

■ B-CAS カード使用許諾契約約款

(KB0007C)

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するための IC カード (B-CAS(ビーキャス) カード)(以下「カード」といいます) が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ (以下「当社」といいます) が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器 (社団法人電波産業会 (ARIB) の技術的基準に適合した受信機器) に内蔵されます。

当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。

この約款は「特別内蔵用 B-CAS カード」と「特別内蔵用 miniB-CAS カード」に適用されます。

第 1 条 (カードの使用目的)

このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第 2 条 (カードの所有権と使用許諾)

このカードの所有権は、当社に帰属します。

2. この約款の契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第３条 (カードの故障交換等)

カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店 (以下「メーカー等」といいます) に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。

2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第１条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第４条 (カードの交換依頼)

カードの不具合やシステム変更 (バージョンアップ) 等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります

第５条 (契約の終了)

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第６条 (禁止事項)

第１条のカードの使用目的に反する機器 (例えば著作権保護に対応していない機器) に、このカードを使用することはできません。

2. このカードを使用して、BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
3. カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
4. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第7条 (損害賠償)

お客様が第６条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第８条 (約款の変更)

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ (http://www.b-cas.co.jp) に掲載します。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

テレビを見る

フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

(ホーム CH スキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に「B-CAS カード使用許諾契約」に同意する必要があります。その後、地域設定とホーム CH スキャンを行います。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホーム CH の“リモコン番号”に登録する操作です。

1 MODE キーを押す

Mode メニューを表示します。

2 DTV にタッチする

3 同意画面に進む にタッチする

4 *「B-CAS カード使用許諾契約約款」(P190)* を確認し、同意する にタッチする

[同意しない] を選んだ場合は、テレビをご覧になることができません。

5 居住地域 にタッチする

6 設定したい“地方”にタッチする

7 設定したい“都道府県”にタッチする

8 スキャン開始 にタッチする

▼

ホーム CH スキャンを開始します。

お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に [中止] にタッチすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホーム CH へ登録される放送局が少なくなる場合があります。

9 完了 にタッチする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

お知らせ

- ホーム CH には最大 12 局まで登録することができます。
- [キャンセル] にタッチした場合はホーム CH に登録されません。

放送局を選ぶ

初期設定のスキャンで登録した放送局を選びます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 見たい放送局の“リモコン番号”にタッチする

リモコン番号

▼

選んだ放送局の番組を表示します。

アドバイス

- [FOLDER/TUNE] キーを回すと、登録した放送局をリモコン番号の順に、または逆順に選局できます。
- CH モードが [ホーム] のとき、∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押すと、受信可能な放送局の自動選局を開始します。
  →*「受信状態の良い放送局を探す」(P200)*
- CH モードが [ドライブ] のとき、∧ SEEK TRACK キーを押すと、初期ドライブ CH スキャン *(P202)* を行い、SEEK TRACK ∨ キーを押すと再ドライブ CH スキャン *(P203)* を行います。

表示内容について

画面にタッチして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて

① **ノーマルバナー**
受信中の 3 桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。
マーク
マークで CH モードおよび選局中のリモコン番号を示します。
：ホーム CH
：ドライブ CH
：エリア CH
(画面のリモコン番号は「1」)

② **CH モード**
ホーム にタッチすると、ホーム CH スキャン *(P201)* で登録した放送局を選べます。
ドライブ にタッチすると、ドライブ CH スキャン *(P202)* で登録した放送局を選べます。
エリア にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ **リモコン番号** *(P193,206)*
タッチすると、登録された放送局を表示します。タッチし続けることで“リモコン番号”の割り当てを変更することができます。

④ 閉じる
操作パネルを消しテレビ映像のみにします。

⑤ メニュー *(P204,208,306,309)*
各種設定を行います。

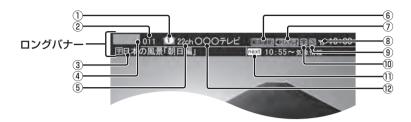
⑥ EPG *(P198)*
電子番組表 (EPG) を表示します。

⑦ 番組内容 *(P197)*
現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ ワンセグ / フルセグ *(P206)*
フルセグとワンセグを切り換えます。
タッチし続けることで、自動ワンセグ切り換え *(P207)* の設定ができます。

⑨ 系列局 *(P200)*
系列局の放送局を表示します。タッチし続けることで系列局サーチを開始します。

■ ロングバナーについて

チャンネルリスト *(P199)* から選局した後などに表示するロングバナーについて説明します。
ノーマルバナー *(P194)* よりも詳しい情報を表示します。

① マーク
マークで CH モードおよび選局中のリモコン番号を示します。
：ホーム CH
：ドライブ CH
：エリア CH
(画面のリモコン番号は「1」)

② 3 桁チャンネル番号
複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号を表示します。フルセグでは、011 番から、ワンセグは 611 番から始まります。

③ 番組名
現在放送中の番組名を表示します。

④ ロゴマーク
放送局のロゴマークまたは放送局名 (省略名) を表示します。

⑤ 物理チャンネル番号
リモコン番号とは異なる、実際に送信されているテレビのチャンネル番号 (13ch ～ 62ch まで) です。

⑥ 映像情報 *(P208)*
複数の映像があるときに表示します。

⑦ 音声モード
放送中の音声モードを表示します。
：ステレオ
：モノラル
：サラウンド
※ サラウンド音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。

⑧ 受信強度
受信中の放送局の受信強度を表示します。

⑨ 放送モード *(P206)*
フルセグを見ているときは 、ワンセグを見ているときは を表示します。
放送モードは切り換えることができます。

⑩ 字幕情報
字幕放送中の番組で表示します。
「視聴設定」の [字幕 / 音声] で切り換えることができます。
→ *「DTV の設定」(P306)*

⑪ 次の番組名
次に放送される番組名を表示します。

⑫ 放送局名
放送局名を表示します。

■ 走行制限の表示について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。

① **ソースプレート**
現在選ばれている受信中の 3 桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② **CH モード**
ホーム CH にタッチすると、ホーム CH スキャン *(P201)* で登録した放送局を選べます。
ドライブ CH にタッチすると、ドライブ CH スキャン *(P202)* で登録した放送局を選べます。
エリア CH にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ **リモコン番号** *(P193,206)*
タッチすると、登録された放送局を表示します。

④ ワンセグ / フルセグ *(P206)*
フルセグとワンセグを切り換えます。

⑤ 系列局サーチ *(P200)*
系列局サーチを開始します。再度、タッチすると中止します。

⑥ ドライブ CH スキャン *(P202)*
タッチすると、ドライブ CH スキャンを行うことができます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 走行中はホーム CH スキャンを行うことができません。

CH モードを切り換える

ホーム CH、ドライブ CH、エリア CH を切り換えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 切り換えたい "CH モード" にタッチする

ホーム CH

▼

ドライブCH

CH モードが切り換わります。

CH モードについて

ホーム	お住まいの地域 (長期的に滞在する地域) の放送局を登録しています。あらかじめ「ホーム CH スキャン」を行う必要があります。 →*「はじめてテレビを見るとき」(P192)*
ドライブ	旅行先など (一時的に滞在する地域) で放送局を登録しています。あらかじめ「ドライブ CH スキャン」を行う必要があります。 →*「ドライブ CH スキャンを行う」(P202)*
エリア	位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

番組の内容を見る

現在選局中の番組の内容を表示します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [番組内容] にタッチする

▼

選局中の番組の内容を表示します。

アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。
- [戻る] にタッチすることで閉じることができます。

■ 記号について

番組内容の画面では記号で番組情報を示しています。

番組属性例

記号	内容
MV	マルチ番組
二	二重音声
サ	サラウンド ※ サラウンド音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
字	字幕あり

ジャンル

以下のマークを表示します。

ニュース報道	スポーツ
情報ワイドショー	ドラマ
音楽	バラエティ
映画	アニメ特撮
ドキュメンタリー教養	劇場公演
趣味教育	福祉
その他	

放送局を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探します。

番組表で探す

電子番組表 (EPG) を表示し、見たい番組を探すことができます。

■ 現在放送中の番組から探す

現在放送中の番組をリストで確認できます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタッチする

現在放送中の番組のリストを表示します。

3 見たい“番組”にタッチする

▼

選択した番組の放送局を選局します。

アドバイス

- 本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示するため、すべて表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- [戻る] にタッチすることで番組表を閉じ、選択した番組を表示します。

■ 番組表を取得するには

番組表を手動で取得することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタッチする

3 更新 にタッチする

▼

番組表の取得を開始します。

アドバイス

- 番組データをすべて取得するにはしばらく時間がかかります。
- 取得中に再度 [更新中止] にタッチすると更新を中止します。

■ 番組表の内容を確認する

現在放送中の番組、または 2 日分の詳細な番組内容を確認することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタッチする

3 表示切換 にタッチする

4 “CH 切換”の < , > にタッチし、見たい“放送局”を選ぶ

5 見たい“番組”にタッチする

▼

番組の詳細な内容を表示します。

アドバイス

- データ取得中は空欄になります。
- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。

チャンネルリストから探す

ホーム CH スキャン *(P201)* やドライブ CH スキャン *(P202)*、エリア CH*(P196)* で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタッチする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → CH 一覧 にタッチする

現在見ているホーム CH またはドライブ CH の一覧を表示します。

4 フルセグ または ワンセグ にタッチする

5 見たい“放送局”にタッチする

▼

選択した放送局を選局します。

AV

地上デジタル TV

系列局を探す

移動中に受信ができなくなったとき、同じ系列局の放送局に切り換えて、引き続き見ることができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [系列局] にタッチする

▼

系列局の放送局に切り換わります。

アドバイス

- [系列局] にタッチし続けると系列局サーチを開始します。系列局が見つかると切り換わります。中止する場合は [中止] にタッチします。また、受信状態によりしばらく時間がかかる場合があります。
- 系列局がない場合や、サーチを行っても見つからない場合があります。また、系列局があった場合でも放送局の都合により同じ番組にならないことがあります。
- 現在見ている番組の放送局がチャンネルリストにない場合は切り換わりません。

受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ホーム] にタッチする

3 ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押す

▼

シークを開始し、受信できる放送局が見つかると表示します。

アドバイス

- 放送局が見つかるまでシークを行います。中止する場合は [中止] にタッチします。
- 電波状況によってはシークを行っても放送局が見つからない場合があります。
- ホーム CH またはエリア CH のときのみ操作が可能です。

好みの放送局を登録する

受信可能な放送局を探し、ホーム CH やドライブ CH に放送局を登録します。

ホーム CH スキャンを行う

お住まいの地域 (長期的に滞在する地域) が変わったときや新しい放送局が開局されたときなどに行います。

■ 初期ホーム CH スキャン

お住まいの地域 (長期的に滞在する地域) が変わったときなどに行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタッチする

3 初期設定 → ホーム CH スキャン にタッチする

4 初期ホーム CH スキャン にタッチする

5 居住地域 にタッチする

6 "地方" にタッチする

7 "都道府県" にタッチする

8 スキャン開始 にタッチする

▼

初期ホーム CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

9 完了 にタッチする

▼

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- ホーム CH には最大 12 局まで登録することができます。
- [キャンセル] にタッチした場合はホーム CH に登録されません。

■ 再ホーム CH スキャン

新しい放送局が開局されたときなどに行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタッチする

3 初期設定 → ホーム CH スキャン にタッチする

4 再ホーム CH スキャン にタッチする

5 スキャン開始 にタッチする

▼

再ホーム CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

6 表示された内容を確認し、次へ にタッチする

以降の操作は、*「初期ホーム CH スキャン」(P201)* の手順 9 以降と同じです。

ドライブ CH スキャンを行う

旅行先など (一時的に滞在する地域) で受信可能な放送局を探し、ドライブ CH のリモコン番号に登録します。

■ 初期ドライブ CH スキャン

現在のドライブ CH を消して、新たにドライブ CH を登録しなおします。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 ドライブ にタッチする

ドライブ CH に切り換えます。

3 ∧ SEEK TRACK キーを押す

▼

初期ドライブ CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

4 完了 にタッチする

▼

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- はじめてドライブ CH スキャンを行う場合は、以下の画面を表示します。この画面のときに ∧ SEEK TRACK キーを押してください。

- ドライブ CH は最大 12 局まで登録することができます。
- [キャンセル] にタッチした場合はドライブ CH に登録されません。

■ 再ドライブ CH スキャンを行う

初期ドライブ CH スキャンで登録したチャンネルを消さずに新たに受信できる放送局があったとき追加で登録をします。

アドバイス

- 再ドライブ CH スキャンで登録する放送局の合計が 13 局以上になったときは、追加できない放送局があります。その場合は初期ドライブ CH スキャンを行ってください。
  →*「初期ドライブ CH スキャン」(P202)*

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 ドライブ にタッチする

ドライブ CH に切り換えます。

3 SEEK TRACK ∨ キーを押す

▼

再ドライブ CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

4 表示された内容を確認し、次へ にタッチする

以降の操作は、*「初期ドライブ CH スキャン」(P202)* の手順 4 以降と同じです。

AV

地上デジタル TV

情報を確認する

DTV に関する各種情報を確認することができます。

メールを確認する

放送局から送られる放送メールや本機からお知らせする内部メールを確認することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタッチする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → メール にタッチする

▼

メール一覧を表示します。

4 読みたい“メール”にタッチする

▼

選んだメールの内容を表示します。

アドバイス

- [戻る] にタッチするとメール一覧に戻ります。
- メールの保存件数は放送メールと内部メールそれぞれ 7 通までです。
  7 通を超えた場合、既読メールの受信日が古いものから削除されます。すべて未読だった場合でも受信日が古いものから削除されます。

IC カードを確認する

内蔵されている B-CAS カードの情報を確認することができます。

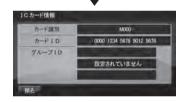
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタッチする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → IC カード にタッチする

▼

B-CAS カードの情報を表示します。

ソフトウェアバージョンを確認する

DTV のソフトウェアバージョンを確認することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタッチする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → S/W バージョン にタッチする

▼

DTV のソフトウェアバージョンを表示します。

AV

地上デジタル TV

その他の操作

リモコン番号を変更する

登録しているリモコン番号 *(P323)* を変更することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 変更したい“リモコン番号”にタッチする

3 変更先の“リモコン番号”をタッチし続ける

▼

変更先のリモコン番号への登録が完了します。

お知らせ

- 同じ放送局を複数の“リモコン番号”に登録することはできません。変更前のリモコン番号は登録が解除されます。

フルセグとワンセグを切り換える

フルセグとワンセグの切り換えについて説明します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ワンセグ / フルセグ] にタッチする

フルセグ

▼

ワンセグ

[ワンセグ / フルセグ] をタッチするたびにフルセグ→ワンセグ→フルセグと切り換わります。

■ 自動ワンセグ切り換えについて

フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定を変更します。

アドバイス

- 工場出荷時、フルセグを優先的に視聴する設定になっています。ワンセグ優先にしたい場合や、手動切り換えのみの設定にしたい場合にこの設定を行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 ワンセグ / フルセグ に タッチし続ける

▼

[ワンセグ / フルセグ] にタッチし続けるたびに「ON(フルセグ視聴優先)」→「ON(ワンセグ視聴優先)」→「OFF」と切り換わります。

ON(フルセグ視聴優先)	フルセグの受信状態が著しく悪くなったときに自動でワンセグに切り換えます。可能な限り高画質な状態で視聴したい方にお勧めします。
ON(ワンセグ視聴優先)	フルセグの受信状態が少しでも悪くなると自動でワンセグに切り換えます。安定した受信状態で視聴したい方にお勧めします。
OFF	自動切り換えを行いません。[ワンセグ / フルセグ] にタッチする操作でのみ切り換えます。

アドバイス

- 「受信機設定」の [自動選局] でも設定を変更することができます。
→ *「DTV の設定」(P306)*
- 地上デジタル TV 放送では、1 つの放送局が複数の番組を送信することが可能です。また一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自サービスを行っています。
このような場合、自動ワンセグ切換を ON(フルセグ視聴優先 / ワンセグ視聴優先) に設定していると、ワンセグに切り換わったとき、番組内容が異なることがあります。同じ番組を続けて見たい場合は、自動ワンセグ切換を OFF に設定してお使いください。

映像や音声を切り換える

現在見ている番組で、複数の映像や音声の情報があるときに切り換えることができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタッチする

設定メニューを表示します。

3 視聴設定 → 信号切換 にタッチする

4 映像 または 音声 にタッチする

5 切り換えたい“情報”にタッチする

▼

選択した情報の設定に切り換わります。

映像について

1 つのチャンネルでアングルの違う映像などが複数あるときに切り換えることができます。

音声について

1 つのチャンネルで同時に「主音声」、「副音声」に分けた 2 種類の言語を放送しているとき (二ヶ国語放送) に切り換えることができます。また、二重音声放送の場合は、[視聴設定] → [字幕 / 音声] の「二重音声設定」で切り換えることができます。

→ *「DTV の設定」(P306)*

Bluetooth Audio を使う

本機では、市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の曲を再生することができます。

注 意

- 運転中に Bluetooth 対応オーディオ機器を手に持っての操作は危険なため絶対に行わないでください。
- Bluetooth オーディオ機器を車内に放置しないでください。
- 取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合があるのでデータのバックアップをお勧めします。
- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になる恐れがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。
→「*音量を調節する*」*(P110)*

■ 対応プロファイルと対応機能について

各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力	○

※ サンプリングレート：16kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4
再生 / 停止 / 一時停止の操作	○	○	○
早送り / 早戻しの操作	○	○	○
トラックの選択操作	○	○	○
グループの選択操作	×	○	○
リピート / ランダム / スキャン再生の操作	×	○	○
再生状態の表示	×	○	○
バッテリー残量の表示	×	○	○
グループリストの表示	×	×	×
グループリストからの選曲	×	×	×

お知らせ

- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合、カタログスペック通りに動作しない場合があります。
- 市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Bluetooth 対応オーディオ機器を本機に接続している状態では、別機器の Bluetooth 接続によるハンズフリー機能 *(P243)* およびデータ通信機能はご利用になれません。(Bluetooth 対応オーディオ機器と同一機器であればハンズフリー機能をご利用になれます。)
- Bluetooth オーディオ機器の状態によっては機器の認識、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- Bluetooth オーディオ機器の仕様や設定により接続できない場合や動作、表示などが異なる場合があります。
- Bluetooth オーディオ機器内の音楽データによっては楽曲情報が正しく表示できない場合があります。
- 車両や機器の状態によりエンジン始動時に続き再生にならないことがあります。
- 著作権情報の含まれるデータは再生できない場合があります。
- Bluetooth オーディオ機器のイコライザー設定をフラットにすることをお勧めします。
- ソフトウェアをアップデートすると、本機と接続して利用できる機能が変更される場合があります。
- 初めて Bluetooth オーディオを聴く場合は接続設定をする必要があります。*(P279)*

Bluetooth 対応オーディオ機器を接続する

本機と Bluetooth 対応オーディオ機器は、Bluetooth 機能を使用して接続します。
詳細については*「Bluetooth の設定」(P279)*をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

注 意

- iPod/iPhone を Bluetooth 対応オーディオ機器として、本機に Bluetooth 接続した場合、iPod/iPhone と iPod ケーブルは接続しないでください。同時に接続を行うと正常に動作しません。

Bluetooth 対応オーディオ機器の曲を聴く

1 **MODE キーを押す**

Mode メニューを表示します。

2 **Bluetooth Audio にタッチする**

Bluetooth Audio の再生情報画面を表示します。

3 **∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押して曲を選ぶ**

アドバイス

- ∧ SEEK TRACK キーまたは SEEK TRACK ∨ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。
- ∨ Group ∧ にタッチしてグループを選ぶことができます。
(AVRCP が v1.3 および v1.4 のとき)

■ 再生情報画面について

① **グループ名**
※ AVRCPがv1.0のときは表示しません。

② **トラック名 / アーティスト名 / ジャンル名**
※ AVRCPがv1.0のときは表示しません。

③ [▲]
サブメニューを表示します。再生モードの変更が行えます。
→ *「再生モードを変更する」(P212)*
※ AVRCPがv1.0のときは表示しません。

④ [∨ Group ∧]
グループを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のグループへと切り換わり、最初の曲を再生します。
※ AVRCPがv1.0のときは表示しません。

⑤ **状態アイコン**
- ▶ ：再生中
- ❚❚ ：一時停止中
- ■ ：停止中
- ▶▶ ：早送り中
- ◀◀ ：早戻し中

※ AVRCPがv1.0のときは表示しません。

⑥ **バッテリー残量表示**
接続している Bluetooth 対応オーディオ機器のバッテリー残量を表示します。
※ AVRCPがv1.0のときは表示しません。

⑦ **Bluetooth 接続アイコン**

⑧ **再生モード表示**
- ：リピート再生中
- ：グループリピート再生中
- ：オールリピート再生中
- ：スキャン再生中
- ：グループスキャン再生中
- ：ランダム再生中
- ：グループランダム再生中
- ：リピート＋ランダム再生中
- ：リピート＋グループランダム再生中
- ：グループリピート＋ランダム再生中
- ：グループリピート＋グループランダム再生中
- ：オールリピート＋ランダム再生中
- ：オールリピート＋グループランダム再生中

※ AVRCP が v1.0 のときや情報が取得できないときは表示しません。

⑨ [❚❚]
一時停止にします。

⑩ [▶]
一時停止、停止の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑪ [■]
再生を停止します。

⑫ **再生時間**
※ AVRCPがv1.0のときは表示しません。

⑬ [∨ Track ∧]
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

※ AVRCP が v1.0 のときはこの機能をご利用になれません。

この操作は、Bluetooth Audio の再生情報画面 *(P211)* から行えます。

1 Bluetooth Audio の再生情報画面などで、[▲] にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする

▼

再生モード表示

選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

Bluetooth 対応のオーディオ機器の種類によっては、再生モードの内容が異なる場合があります。

リピート	タッチするたびに「リピート」→「グループリピート」→「オールリピート」→「解除」と切り換わります。 **リピート**：再生中の曲を繰り返して再生します。 **グループリピート**：再生中の曲があるグループを繰り返し再生します。 **オールリピート**：Bluetooth 対応オーディオ機器内にあるすべての曲を繰り返して再生します。
スキャン	タッチするたびに「スキャン」→「グループスキャン」→「解除」と切り換わります。 **スキャン**：再生中の曲があるグループ内のすべての曲が対象で、始めの部分を順番に再生します。 **グループスキャン**：Bluetooth 対応オーディオ機器内にある全グループの 1 曲目 (初めの部分) を順番に再生します。
ランダム	タッチするたびに「ランダム」→「グループランダム」→「解除」と切り換わります。 **ランダム**：再生中の曲があるグループ内の曲を順不同に再生します。 **グループランダム**：Bluetooth 対応オーディオ機器内にある全グループを順不同に選択し、グループ内の曲を順番に再生します。

タイプ別装備

AUX を使う

外部入力ケーブルおよび AUX 機器などを本機に接続することで、映像や音声を本機で再生することができます。

注 意

- オーディオソースの [AUX] を選択していない状態、または音量を下げた状態で AUX 機器を接続してください。
- AUX 機器の映像は安全上の配慮から、停車しているときだけご覧になることができます。
(後席ディスプレイなどに表示した映像は走行中でもご覧になれます。)
- AUX 機器の映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- 接続する AUX 機器によってはノイズが発生することがあります。
- 接続する AUX 機器の電源は、機器に付属のバッテリー等を使用してください。車両に装着されているアクセサリーソケットで充電しながら使用すると、スピーカーからノイズ音が発生することがあります。
- AUX 機器を接続していないときは、オーディオソースの [AUX] を選択しないでください。AUX 機器を接続しないで [AUX] 選択状態にしていると、スピーカーからノイズ音が発生することがあります。
- AUX 機器の接続方法については、車両取扱説明書をご覧ください。

表示するには

1 MODE キーを押す

Mode メニューを表示します。

2 AUX にタッチする

▼

AUX 機器の映像を表示します。

お知らせ

- タッチスイッチの [AUX] は、外部入力ケーブルおよび AUX 機器を本機に接続していない場合でも表示されます。

AV

外部入力機器

画面表示を切り換える

AUX では 4 種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

1 AUX 機器の映像を表示中、画面にタッチする

2 画面サイズ設定 にタッチする

モードの切換メニューを表示します。

3 いずれかの“モード”にタッチする

▼

画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- ノーマル画面は縦横比 4:3、ワイド画面は縦横比 16:9 です。
- ズームでは、画質が粗くなります。

情報 / 設定

主に情報確認や各種設定が行えます。

各種設定を変更する 269

各種情報を確認する

カレンダーを使う

カレンダーを表示します。特別日や記念日の確認、設定を行うことができます。

表示内容について

① **表示しているカレンダーの年月**

② **月送り**
タッチすると、先月または翌月のカレンダーを表示します。

③ **年送り**
タッチすると、昨年または翌年のカレンダーを表示します。

④ 記念日 *(P221)*
設定している記念日のリストを表示し、記念日の編集などが行えます。

⑤ 特別日 *(P220)*
設定している特別日のリストを表示し、特別日の編集などが行えます。

⑥ **現在の年月日**

⑦ **カレンダー表示**
今日は、水色で表示されます。
日に直接タッチすると、特別日を設定することができます。
→*「特別日を設定する」(P219)*

⑧ 戻る
タッチすると、INFO メニュー *(P27)* に戻ります。

表示するには

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 カレンダー にタッチする

カレンダーを表示します。

お知らせ

- 特別日または記念日が設定された日にはアイコンが表示されます。
- 特別日と記念日が同日に設定されている場合は、特別日優先でアイコンを表示します。

特別日を設定する

新しく特別日を設定します。特別日は最大200 件まで設定することができます。

1 カレンダー表示中に、特別日に設定したい日にタッチする

特別日設定画面を表示します。

アドバイス

- すでに特別日が設定されている日にタッチすると、特別日の編集が行えます。
- 今日より過去の日付に特別日を設定することはできません。

2 アイコン にタッチする

3 いずれかの“アイコン”にタッチする

4 メモ にタッチする

5 特別日の名称などを入力し、入力完了 にタッチする

→「文字入力のしかた」(P20)

6 決定 にタッチする

特別日の設定が完了します。

お知らせ

- 設定された特別日は、特別日当日から 3 日過ぎると自動的に消去されます。

■ 特別日を変更する

設定済みの特別日を編集します。

1 カレンダー表示中に、特別日 にタッチする

設定されている特別日のリストを表示します。

2 編集したい特別日にタッチする

▼

特別日設定画面を表示します。
以降の操作は、*「特別日を設定する」(P219)*の手順 2 以降と同じです。

■ 特別日を消去する

設定済みの特別日を消去します。

1 カレンダー表示中に、特別日 にタッチする

設定されている特別日のリストを表示します。

2 消去したい特別日にタッチする

3 削除 にタッチする

4 消去する にタッチする

▼

特別日の消去が完了します。

記念日を設定する

新しく記念日を設定します。記念日は最大20 件まで設定することができます。

1 カレンダー表示中に、記念日 にタッチする

記念日のリストを表示します。

2 新規登録 にタッチする

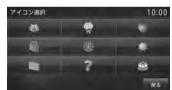
▼

記念日設定画面を表示します。

アドバイス

- 同日に複数の記念日を設定することができます。
- 同日に複数の記念日を設定している場合、最後に設定した記念日優先でアイコンを表示します。

3 アイコン にタッチする

4 いずれかの“アイコン”にタッチする

5 日付 にタッチする

6 ▲ または ▼ にタッチして、“月”および“日”を入力し、決定 にタッチする

7 メモ にタッチする

8 記念日の名称などを入力し、入力完了 にタッチする

→「文字入力のしかた」(P20)

9 決定 にタッチする

▼

記念日の設定が完了します。

情報／設定 各種情報を確認する

■ 記念日を変更する

設定済みの記念日を編集します。

1 カレンダー表示中に、記念日 にタッチする

設定されている記念日のリストを表示します。

2 編集したい記念日にタッチする

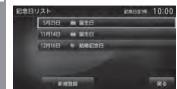
▼

記念日設定画面を表示します。
以降の操作は、*「記念日を設定する」(P221)*の手順 3 以降と同じです。

■ 記念日を消去する

1 カレンダー表示中に、記念日 にタッチする

設定されている記念日のリストを表示します。

2 消去したい記念日にタッチする

3 削除 にタッチする

4 消去する にタッチする

▼

記念日の消去が完了します。

FM 文字情報を見る

FM 多重放送による文字情報 (FM 文字多重放送) を確認することができます。

FM 文字多重放送とは

FM 放送電波のすき間を利用して音声と一緒に文字情報を送信するサービスです。
FM 文字多重放送は、本機に接続しているFM アンテナから受信して以下の情報を見ることができます。

番組情報 FM	ラジオ番組と連携した今流れている曲のタイトルやアーティスト名、リクエストの宛先などの情報。
独立情報	ラジオ番組とは関係なく、いつでも見られるニュースや天気、交通などの情報。
緊急情報	放送局が「緊急情報番組」を放送したときのみ表示させる情報。 →*「緊急情報の受信について」(P225)*

表示するには

初期の状態では、放送局は登録されていませんので、マニュアル操作による放送局の選局が必要になります。

1 **INFO キーを押す**

INFO メニューを表示します。

2 **FM 文字情報 にタッチする**

▼

マニュアル選局画面を表示します。

アドバイス

- すでに放送局がプリセット *(P227)* されている場合は、プリセット選局画面を表示します。
→ *「プリセット済の場合」(P224)*

3 **∨ 周波数 ∧ にタッチし、“受信したい放送局の周波数”を選ぶ**

4 **受信 にタッチする**

▼

受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は *「番組を表示する」(P224)* と同じです。

■ プリセット済の場合

「表示するには」(P223) の手順 2 の後、プリセット済の場合は、プリセット選局画面を表示します。その場合は、以下の操作を行います。

1 “受信したい放送局の番号”にタッチする

▼

選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は *「番組を表示する」(P224)* と同じです。

番組を表示する

選んだ放送局の番組情報を見ます。

1 ジャンル一覧を表示する

→ *「表示するには」(P223)*

2 “見たいジャンルの番号”にタッチする

▼

番組一覧を表示します。

3 “見たい番組の番号”にタッチする

▼

番組を表示します。

緊急情報の受信について

番組表示中などに緊急情報を受けると受信音とともに文字情報を自動的に表示します。

放送局を変更する

番組表示中やジャンル一覧、番組一覧、プリセット選局画面から、別の放送局に変更することができます。
ここでは、番組表示中 *(P224)* からの操作を説明します。

アドバイス

- 変更した放送局を登録 (プリセット) することができます。登録した放送局はプリセット選局画面で表示されます。
  → *「放送局を登録する」(P227)*

■ プリセット選局で変更する

あらかじめ登録された放送局の中から選ぶことができます。

お知らせ

- あらかじめ放送局を登録しておく必要があります。
  → *「放送局を登録する」(P227)*

1 番組表示中、 ▲ にタッチする

2 プリセット選局 にタッチする

▼

プリセット選局画面を表示します。

3 “受信したい放送局の番号” にタッチする

▼

選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は *「番組を表示する」(P224)* と同じです。

情報 / 設定　各種情報を確認する

■ サーチで変更する

電波の強い受信可能な放送局を自動で探し、一覧表示します。

1 **番組表示中、[▲] にタッチする**

2 **[サーチ] にタッチする**

▼

受信可能な放送局の一覧を表示します。

3 **“受信したい放送局の番号”にタッチする**

▼

選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は *「番組を表示する」(P224)* と同じです。

アドバイス

- 再度、サーチを行う場合は [▲] → [再サーチ] にタッチします。

■ マニュアルで変更する

直接周波数を指定して放送局を変更します。

1 **番組表示中、[▲] にタッチする**

2 **[マニュアル選局] にタッチする**

▼

マニュアル選局画面を表示します。

3 **[∨ 周波数 ∧] にタッチし、“受信したい放送局の周波数”を選ぶ**

4 **[受信] にタッチする**

▼

受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は *「番組を表示する」(P224)* と同じです。

シークによる選局

マニュアル選局中でも、シークを行うことで、放送局のある周波数をはやく探し出すことができます。

1 番組表示中、[▲] にタッチする

2 [マニュアル選局] にタッチする

▼

マニュアル選局画面を表示します。

3 [∨ 周波数 ∧] にタッチし続ける

▼

受信可能な放送局が見つかればシークが止まります。
この操作を繰り返し、受信したい放送局を探します。

4 [受信] にタッチする

▼

受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は*「番組を表示する」(P224)*と同じです。

放送局を登録する

受信中の放送局を登録 (プリセット) します。
放送局を登録しておくことで、プリセット選局画面から放送局を選択できるようになります。

1 放送局 (周波数) を選ぶ

→*「放送局を変更する」(P225)*

2 [▲] にタッチする

3 [プリセット登録] にタッチする

4 “登録したい番号” にタッチする

▼

放送局 (周波数) を選んだ番号に登録します。

情報 / 設定

各種情報を確認する

統計渋滞情報を確認する

エリアと日付を設定することで、過去の統計から予想した渋滞情報を確認することができます。

条件設定画面について

① エリア

タッチすると渋滞情報を表示するエリアを変更することができます。

② **設定年**

今年または来年の西暦数字を表示します。

③ **設定月**

◀ または ▶ にタッチして設定する月を変更することができます。

④ **設定時間**

◀ または ▶ にタッチして設定する時間を変更することができます。

⑤ 表示

タッチすると、設定されている条件の渋滞情報を表示します。

⑥ **設定エリア**

渋滞情報を表示するに設定されている地名を表示します。

⑦ **設定日**

◀ または ▶ にタッチして設定する日を変更することができます。

⑧ 戻る

タッチすると、INFO メニュー *(P27)* に戻ります。

※ 統計渋滞情報の元となる道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センター (JARTIC) から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICS センター) の技術が用いられています。

表示するには

エリアや日付を設定し、統計渋滞情報を表示します。

お知らせ

・表示される渋滞情報は過去の統計から予想されたものです。あくまでも参考としてください。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 統計渋滞情報 にタッチする

▼

条件設定画面を表示します。

3 エリア にタッチする

4 確認したい"都道府県"にタッチする

5 確認したい"地域"にタッチする

▼

エリアの設定が完了し、条件設定画面に戻ります。

6 ◀ または ▶ にタッチし、確認した"月"、"日"、"時間"を設定する

7 表示 にタッチする

▼

設定された条件の統計渋滞情報を表示します。

アドバイス

・◀ または ▶ にタッチすることで時間を変更することができます。

情報/設定 各種情報を確認する

SD カードの情報を確認する

SD カードの容量や空き領域の確認が行えます。また、さまざまな情報の更新を行うことができます。

表示するには

1 **INFO キーを押す**

INFO メニューを表示します。

2 **ユーザー SD にタッチする**

▼

SD 情報画面を表示します。SD カードの容量や空き領域の確認が行えます。

アドバイス

- 各メニューにタッチすることで、さまざまな情報の更新が行えます。

■ 更新できる情報について

開通道路情報更新	更新用の差分データをコピーした音楽用 SD カードが本機に挿入されていれば、[開通道路情報更新] → [更新する] にタッチすることで開通道路情報を差分更新することができます。 更新用の差分データ取得方法について詳しくは、*「差分データを取得する」(P239)* をご覧ください。
地図データベース更新	バージョンアップ用のデータ (有償) をコピーしたメディア (音楽用 SD カードまたは DISC、USB メモリ) が本機に挿入されていれば、本機をバージョンアップすることができます。詳しくは *「バージョンアップについて」(P241)* をご覧ください。
Gracenote データベース更新	更新用の Gracenote データベースをコピーしたメディア (音楽用 SD カードまたは DISC) が本機に挿入されていれば、本機の Gracenote データベースを更新することができます。詳しくは *「Gracenote データベースを SD カードで更新する」(P134)* をご覧ください。
充電ポイント情報更新	更新用の差分データをコピーした音楽用 SD カードが本機に挿入されていれば、[充電ポイント情報更新] → [更新する] にタッチすることで充電ポイント情報を差分更新することができます。 更新用の差分データ取得方法について詳しくは、*「差分データを取得する」(P239)* をご覧ください。
SD カードフォーマット	MusicServer に関するすべてのデータまたは、音楽用 SD カードのフォーマットを行うことができます。詳しくは *「SD カードをフォーマットする」(P231)* をご覧ください。

SD カードをフォーマットする

MusicServer に関するすべてのデータまたは、音楽用 SD カードのフォーマットを行うことができます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 ユーザー SD にタッチする

3 SD カードフォーマット にタッチする

4 いずれかにタッチする

MusicServer の初期化	MusicServer に関するデータをすべて消去します。MusicServer で録音した曲や、取得したタイトル情報を消去します。
SD カード (USER スロット) の初期化	MusicServer で録音した曲を含む音楽用 SD カード内にあるすべてのデータを消去し、SD-Audio フォーマットに初期化します。

5 初期化する にタッチする

6 再度、初期化する にタッチする

▼

選んだ項目の初期化が完了します。

お知らせ

- SD カードのフォーマットは、CD の再生中や MusicServer への録音中に操作できません。

タイプ別装備

ETC 情報を確認する

ETC の使いかたについて説明します。

ETC とは

ETC とは、有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことです。
タイプ別装備の ETC 車載器付き車または DSRC 車載器付き車は、本機能をご利用になれます。

- 有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。
- 料金所の出入り口で通行料金を音声で案内します。
- ETC の通行履歴を表示することができます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、タイプ別装備の ETC 車載器または DSRC 車載器と ETC カードが必要です。
- ETC カード未挿入や ETC 車載器または DSRC 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。
- ETC ゲート、ETC カード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金所案内図やお知らせ等を表示する場合があります。
- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。
- 本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC 車載器または DSRC 車載器本体の詳細については、車両取扱説明書をご覧ください。

案内表示について

ETC カードの挿入案内や料金所を通過したときなどの案内表示について説明します。

■ ACC ON にしたとき

ACC ON にすると、ETC カードの使用可否を表示と音声でお知らせします。

アドバイス

- カード使用可否の案内は、[ETC の設定] の「ETC カード案内」で案内有無を選ぶことができます。
→ *「NAVI の設定」(P269)*
- 画面 OFF の状態でも、ETC 車載器からお知らせがあると画面を ON にし表示と音声案内が行われます。

■ 料金所を通過したとき

- 均一料金所や出口料金所を通過したとき、料金所案内図が表示され、音声で料金案内を行います。
- 入口料金所を通過したときは、料金所案内図が表示されますが音声案内はありません。

アドバイス

- [ETC の設定] の「ETC 通過音」で [鳴らす] に設定すると ETC ゲート通過時に、通過音を鳴らすことができます。
→ *「NAVI の設定」(P269)*

■ 予告アンテナを通過したとき

予告アンテナを通過したことを告げるテロップが表示されます。
予告アンテナ受信内容が表示され、音声でも案内が行われます。

ETC の履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認することができます。

注 意

- 履歴読み込み中に ETC カードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

お知らせ

- ETC に関するエラー表示があった場合、ETC カードを正しく ETC 車載器に挿入するまで ETC 履歴の画面を表示できません。

アドバイス

- 履歴は最大 100 件まで新しいものから順に表示します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 ETC 情報 にタッチする

▼

全履歴情報画面を表示します。

累積料金を表示する

累積料金を確認することができます。

1 全履歴情報画面表示中、▲ にタッチする

2 累積料金 にタッチする

▼

累積料金を表示します。

アドバイス

- ▲ →［全履歴情報］にタッチすると、全履歴情報画面 *(P233)* に戻ります。
- 料金は、－ 99,999,999 円～ 999,999,999 円まで表示することができます。

■ 累積料金を消去する

累積料金を消去（クリア）することができます。

1 *「累積料金を表示する」(P233)* を操作する

2 累積料金クリア にタッチする

3 クリアする にタッチする

▼

累積料金を消去します。

月別料金表を表示する

月別に料金を確認することができます。

1 全履歴情報画面表示中、
▲ にタッチする

2 月別料金表 にタッチする

アドバイス

- 各月に表示されている料金は、その月での累積料金です。

3 見たい“月のリスト”にタッチする

▼

選んだ月の詳細な履歴を表示します。

アドバイス

- ▲ →［全履歴情報］にタッチすると、全履歴情報画面 *(P233)* に戻ります。
- 料金は、－ 99,999,999 円～ 999,999,999 円まで表示することができます。

日別料金表を表示する

日別の料金を確認することができます。

1 全履歴情報画面表示中、
▲ にタッチする

2 日別料金表 にタッチする

アドバイス

- 各日に表示されている料金は、その日の累積料金です。

3 見たい“日にちのリスト”にタッチする

▼

選んだ日の詳細な履歴を表示します。

アドバイス

- ▲ →［全履歴情報］にタッチすると、全履歴情報画面 *(P233)* に戻ります。
- 料金は、－ 99,999 円～ 999,999 円まで表示することができます。

ETC 車載器の情報を表示する

本機に接続されている ETC 車載器または DSRC 車載器の型名、型式登録番号、車載器管理番号、ETC カードの有効期限を確認することができます。

1 全履歴情報画面表示中、
▲ にタッチする

2 ETC 登録情報 にタッチする

▼

登録情報を表示します。

アドバイス

- ▲ → [全履歴情報] にタッチすると、全履歴情報画面 *(P233)* に戻ります。

情報 / 設定

各種情報を確認する

GPS 情報を確認する

現在地の地名や緯度 / 経度、受信している GPS 衛星の基数、衛星の配置図を確認することができます。

表示内容について

① **現在地の地名**

② **現在地の緯度 / 経度**

③ **受信している GPS の基数**

アドバイス

- 3D が表示されているとき、4 基以上の GPS 衛星からの有効な電波を受信できており、緯度 / 経度 / 高度の 3 次元の位置を計算する 3 次元測位が可能な状態を示しています。
- 2D が表示されているとき、3 基以下の GPS 衛星からのみ有効な電波を受信できており、緯度 / 経度の 2 次元の位置を計算する 2 次元測位が可能な状態を示しています。この場合は、3 次元測位よりも位置精度が低下します。
- いずれのマークも表示されていないときは、GPS 衛星から有効な電波を受信できていない非測位状態を示しています。

④ **北基準**
タッチすると、衛星配置図が北を上とした北基準に変更できます。

⑤ **自車基準**
タッチすると、衛星配置図が前方を上とした自車基準に変更できます。

⑥ **衛星配置図**
受信している GPS の位置が確認できます。実際の測位計算に使用されている GPS は黄色で表示され、計算に使用されていない GPS は灰色で表示されます。

⑦ **戻る**
タッチすると、INFO メニュー *(P27)* に戻ります。

表示するには

1 **INFO キーを押す**

INFO メニューを表示します。

2 **GPS 情報 にタッチする**

▼

GPS 情報画面を表示します。

情報／設定
各種情報を確認する

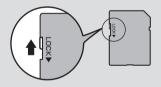
地図データの差分を更新する

通信または SD カードによる地図データ差分更新の概要を説明します。

地図データの差分取得について

「開通道路情報更新」では、高速道路と主要な国道の開通道路情報が取得でき、新しい道路で快適に目的地までナビゲーションをします。
「充電ポイント情報更新」では、電気自動車 (EV) の充電スタンド情報が取得でき、ドライブ前に最新情報をチェックできます。

お知らせ

- 地図データを取得するにはOpenInfoサービスのユーザー登録が必要となります。詳しくは、「OpenInfo サービス ユーザー登録方法」*(P324)* を参照してください。
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- 通信で地図データを取得するには、あらかじめ DUN プロファイルに対応した携帯電話と本機を Bluetooth 接続しておく必要があります。*「Bluetooth の設定」(P279)* をご覧ください。
- あらかじめ地図カードのロックを解除しておいてください。

開通道路情報更新について

- 開通道路情報更新はお使いの地図データバージョンから 1 年間の開通予定道路のみ対象となります。
- 開通道路を通る経路では実際と異なる料金が表示 / 案内される場合があります。
- 開通道路は市街地地図表示には反映されません。
- 開通道路では高速略図の表示ができません。
- 開通道路ではVICS 情報に対応しておりません。
- 開通道路では都市高速入口イラストマップや 3D リアルジャンクションに対応しておりません。
- 実際の道路形状と異なる場合があります。

差分データを通信で更新する

1 **INFO** キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 **地図データ更新** にタッチする

地図情報更新画面を表示します。
[NAVI MENU] キー→ [OpenInfo] → [地図情報更新] でも以降の操作が行えます。

3 「開通道路情報更新」または「充電ポイント情報更新」の **通信** にタッチする

4 **接続する** にタッチする

▼

データを更新するための認証が行われます。認証後、地図データのダウンロードが行われます。

▼

ダウンロード完了後、地図データを更新します。

注 意

- 地図更新中に“ACC OFF”にしないでください。

アドバイス

- すでに通信中の場合、手順 4 の [接続する] の操作は必要ありません。

差分データを SD カードで更新する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して地図データを取得します。

■ 差分データを取得する

1 本機から音楽用 SD カードを取り出す

(音楽用SDカードが挿入されている場合のみ)

→「SD カードを取り出す」(P18)

2 ご自宅のパソコンから対象の地図データを取得する

三菱自動車ホームページから地図データをダウンロードします。

3 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する

ZIP 圧縮されているファイルは、解凍しておく必要があります。

4 解凍したファイルをすべて音楽用 SD カードにコピーする

解凍したファイルの容量を確認し、容量にあった SD カードを準備してください。

■ 本機の地図データを更新する

1 ファイルがコピーされた音楽用SD カードを本機に挿入する

→「SD カードを挿入する」(P17)

2 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

3 地図データ更新 にタッチする

地図情報更新画面を表示します。
[NAVI MENU] キー→ [OpenInfo] → [地図情報更新] でも以降の操作が行えます。

4 「開通道路情報更新」または「充電ポイント情報更新」の SD にタッチする

▼

データを更新するためのファイルチェックが行われます。ファイルチェック後、地図データの更新が行われます。

▼

音楽 SD カードからの更新が完了します。

バージョンアップについて

バージョンアップには無償更新と有償更新があります。

■ 無償更新を行うには

クーポン券をお持ちの上、お近くの三菱自動車販売店にご相談ください。

■ 有償更新を行うには

お近くの三菱自動車販売店でお買い求めください。

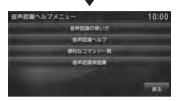
音声認識ヘルプを確認する

音声操作 *(P23)* を行うための使い方やコマンド一覧などが確認できます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 音声認識ヘルプ にタッチする

▼

この後、各メニューにタッチし操作方法を確認してください。

■ 確認できる内容について

音声認識の使い方	音声操作を行うための共通操作について説明しています。
音声認識ヘルプ	音声による操作方法を機能ごとに説明しています。
便利なコマンド一覧	覚えておくと便利なコマンドが各機能を例にあげて説明しています。
音声認識単語集	音声操作で認識可能な各コマンドを機能ごとに説明しています。

電話を使う

本機とお手持ちの携帯電話を Bluetooth 接続することによりハンズフリー機能がご利用になれます。

⚠ 警告

禁止

- **運転者は運転中に携帯電話を手にもって使用しない。**
  走行中に携帯電話を手にもって使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- **携帯電話を車内に放置しない。**
  停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。

必ず行う

- **ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、送話音量の確認を行ってください。**
  事故の原因となることがあります。
  [電話設定] の「送話音量」で適度な音量に設定しご使用ください。
  → *「システムの設定」(P294)*
  音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth 機能を使用して接続します。

お知らせ

- Bluetooth 接続ができる携帯電話が必要です。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態で接続してください。

お知らせ

- 接続中に携帯電話機で操作 (受話操作など) を行うと正しく動作しない場合があります。
- 本機と携帯電話の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては接続できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置に携帯電話を置いてください。
- 本機では Bluetooth 対応の携帯電話と Bluetooth Audio を合わせて 7 台まで登録することができます。
- Bluetooth 対応の携帯電話機であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- Bluetooth 対応の携帯電話機であっても、電話機の仕様や設定により、表示が異なるなど、正常に動作しない場合があります。
- 一部接続未確認の機種や接続できない機種があります。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 ▲ → Bluetooth 設定 にタッチする

▼

Bluetooth 接続を行うための Bluetooth 設定画面を表示します。
詳細については*「Bluetooth の設定」(P279)*をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

電話帳を表示する

電話帳には、本機に記録されるシステム電話帳と携帯電話側を参照できる携帯電話帳があります。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 ▲ → 電話帳 にタッチする

▼

システム電話帳を表示します。

4 携帯電話帳 にタッチする

初めて携帯電話帳を表示させるときは、手順 5 へ進みます。

▼

携帯電話帳を表示します。

5 ▲ → 取込 にタッチする

同じ携帯電話を接続するときは、本手順以降の操作を毎回行う必要はありません。

6 はい にタッチする

▼

携帯電話帳の取り込みが完了します。

お知らせ

- 接続設定 *(P279)* されている携帯電話を変更すると、取り込まれていた携帯電話帳は消去されます。
- 携帯電話の種類によっては、携帯電話側に User ID およびパスワードを入力する必要があります。その場合は、以下のとおり入力してください。
  User ID：MMC
  パスワード：1111
- 携帯電話帳は、電話番号の登録や編集、消去の操作を本機側で行えません。
- 携帯電話帳は、最大 1000 件まで表示することができます。

電話帳に登録する

名前および読み仮名、電話番号の登録が行えます。

1 **INFO キーを押す**

INFO メニューを表示します。

2 **電話 にタッチする**

3 **登録したい“電話番号”を入力する**

4 **▲ → 電話帳登録 にタッチする**

5 **電話番号の“種別”にタッチする**

6 **各情報を入力する**

7 **終了 にタッチする**

システム電話帳への登録が完了します。

■ 携帯電話から登録する

携帯電話の電話帳を本機の電話帳に登録することができます。

お知らせ

- 携帯電話の機種によっては転送が正常に行われない場合があります。
- Bluetooth 機器として登録されている iPhone を本機にケーブル接続していると、転送が正しく行えません。転送を行う際は、iPhone をケーブルから外しておいてください。
- 転送されるメモリーは電話番号と名称と読み仮名のみです。
- 転送が終了するまで 3 分程度かかります。但し、携帯電話の電話帳登録件数によって変化します。

アドバイス

- 電話帳の最大登録件数は 1000 件です。

1 **システム電話帳を表示する** *(P244)*

2 **▲ → 登録 にタッチする**

3 **携帯電話から登録する にタッチする**

4 **いずれかの“登録方法”にタッチする**

全件追加	携帯電話の電話帳 (全件) を本機の電話帳へ追加登録します。
選択追加	携帯電話の電話帳から選択して本機の電話帳へ追加登録します。
全件上書き	携帯電話の電話帳 (全件) を本機の電話帳へ上書き登録します。

次のページにつづく

5 実行する にタッチする

▼

[全件追加] または [全件上書き] にタッチした場合は、転送完了後、本機の電話帳の登録が完了します。
[選択追加] にタッチした場合は、手順 6 へ進みます。

お知らせ

- Bluetooth 対応オーディオ機器を接続している場合は、再度 [実行する] にタッチする必要があります。

6 携帯電話にて転送する電話帳を選択する

アドバイス

- メモリー転送中、[中止] にタッチするとメモリー転送を中止します。

7 登録したい“電話帳”を選択する

アドバイス

- ここで ▲ にタッチすると、すべてチェックする [全選択] とすべてのチェックを解除する [全解除] が選べます。

8 登録 にタッチする

▼

携帯電話の電話帳からの登録が完了します。

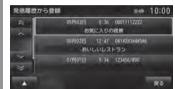
■ 履歴から登録する

発信履歴または着信履歴から本機の電話帳に登録することができます。

1 システム電話帳を表示する *(P244)*

2 ▲ → 登録 にタッチする

3 着信履歴から登録する または 発信履歴から登録する にタッチする

4 登録したい“履歴”にタッチする

アドバイス

- ここで ▲ にタッチすると、すべてチェックする [全選択] とすべてのチェックを解除する [全解除] が選べます。

5 登録 にタッチする

6 登録する にタッチする

▼

履歴からの登録が完了します。

電話帳を編集する

電話帳を編集することができます。

1 システム電話帳を表示する *(P244)*

2 編集したい“電話帳”を選ぶ

3 [▲] → [編集] にタッチする

4 各情報を編集する

5 [終了] にタッチする

▼

編集が完了します。

■ 電話帳を消去する

登録している電話帳を消去することができます。

1 システム電話帳を表示する *(P244)*

2 消去したい“電話帳”を選び、[▲] にタッチする

3 [消去] にタッチする

4 いずれかの“消去方法”にタッチする

1 件消去	現在選ばれている電話帳を消去します。
選択消去	複数の電話帳を選んで[消去]にタッチすると消去します。
全消去	登録されているすべての電話帳を消去します。

5 [消去する] にタッチする

▼

電話帳の消去が完了します。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

注意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。

お知らせ

- 同じ相手に電話をかける場合は携帯電話の制約により 3 分間に 4 回以上かけることができない場合があります。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 “電話番号”を入力する

オフフックキー

アドバイス

- 誤入力した場合は、[消去] にタッチして修正します。
- [リダイヤル] にタッチすると 1 回前にかけた電話番号へ電話をかけることができます。

4 “オフフックキー”にタッチする

▼

電話がかかります。

■ 電話帳からかける

電話帳を使用して電話をかけることができます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 ▲ → 電話帳 にタッチする

4 かけたい“相手”にタッチする

5 かけたい“電話番号”にタッチする

6 かける にタッチする

▼

電話がかかります。

アドバイス

- 手順 4 で [携帯電話帳] にタッチすると携帯電話側の電話帳を利用できます。

■ 履歴からかける

発信・着信履歴を使用して電話をかけることができます。

お知らせ

- 非通知設定の場合は着信履歴から電話をかけられません。
- 本機で記憶している着信・発信履歴を使用します。

アドバイス

- 発信・着信履歴は最大 30 件です。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 ▲ → 履歴 にタッチする

4 発信履歴 または 着信履歴 にタッチする

5 かけたい“相手”にタッチする

6 かける にタッチする

▼

電話がかかります。

履歴を消去する

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 ▲ → 履歴 にタッチする

4 発信履歴 または 着信履歴 にタッチする

5 消去したい“履歴”を選び、▲ にタッチする

6 消去 にタッチする

7 いずれかの“消去方法”にタッチする

1 件消去	現在選ばれている履歴を消去します。
選択消去	複数の履歴を選んで [消去] にタッチすると消去します。
全消去	登録されているすべての履歴を消去します。

8 消去する にタッチする

▼

履歴の消去が完了します。

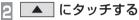
■ 地図に登録された電話番号にかける

地図上に登録された施設に電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

お知らせ

- 検索した施設などに電話番号の情報がなければ電話をかけることはできません。

1 電話をかけたい“場所”を探す

→「場所を探す」(P58)

2 にタッチする

3 ダイヤル にタッチする

▼

電話がかかります。

電話がかかってくると

着信音がなり、着信中の画面が表示されます。

アドバイス

- [MUTE] にタッチすると、本機に接続されたマイク機能を OFF にします。[MUTE 解除] にタッチすると、マイク機能が ON になります。
- [転送] にタッチすると、スピーカーおよびマイクの機能を携帯電話側に切り換えます。[転送解除] にタッチすると、スピーカーおよびマイクの機能を本機側に切り換えます。
- 着信中の画面はしばらくすると消えますが、強制的に消したい場合は、[MAP] キーなど、その他のキーを押します。
  再び表示させる場合は、[TEL] にタッチします。

■ かかってきた電話にでるには

1 **着信中、ステアリングリモコンの“OFF HOOK”キーを押す**

▼

通話することができます。

■ 音量を調整する

通話時などに、車両スピーカーから聞こえる受話音量を調整することができます。

1 **ステアリングリモコンの ＋ キーまたは － キーを押す**

▼

受話音量を調整します。

アドバイス

- 着信時にこの操作を行うと着信音量の変更が行えます。
- 送話音量は [電話設定] の「送話音量」であらかじめ設定することができます。
→「システムの設定」(P294)

■ 保留にする

運転中などの場合、安全な場所に停車するまで保留にしておくことができます。

1 **着信中、ステアリングリモコンの“ON HOOK”キーを押す**

▼

電話を保留中にします。

■ 電話を終了する

通話を終了します。

1 **通話中、ステアリングリモコンの“ON HOOK”キーを押す**

▼

通話が終了します。

■ 着信中画面を表示する

通話中、着信中の画面はしばらくすると消えます。再度、表示したい場合は以下の操作を行ってください。

1 **TEL にタッチする**

▼

着信中の画面を再び表示します。

ロック機能を使用する

■ ロックを設定する

第三者に対して不用意に電話機能を使用できないように暗証番号によるロックをかけることができます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 ▲ → ロック にタッチする

4 4 桁の“暗証番号”を入力し、決定 にタッチする

▼

暗証番号によるロックの設定が完了します。

注 意

- 次に電話機能を使用するときに、さきほど入力した暗証番号を入力する必要がありますので、忘れないようにしてください。

アドバイス

- 再起動後有効になります。
- エンジンスイッチを ON/OFF にした後、30 秒以上たってからエンジンスイッチを ACC または ON にしてください。すぐにエンジンスイッチを ACC または ON にすると正しく設定されない場合があります。
- 暗証番号を設定した場合、エンジンスイッチを ON にした後に正しく設定されたことを確認ください。
- 暗証番号を忘れた場合は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

■ ロックを解除する

暗証番号によるロック状態を解除します。次に電話機能を使用するときに暗証番号の入力が不要になります。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 設定した“暗証番号”を入力し、決定 にタッチする

4 ▲ → ロック解除 にタッチする

▼

暗証番号によるロックの解除が完了します。

初期化する

システム電話帳や発信 / 着信履歴などすべての記録を消去し、電話機能を工場出荷状態に戻します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 ▲ → 初期化 にタッチする

4 はい にタッチする

5 はい にタッチする

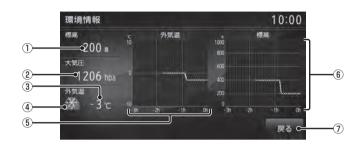
▼

電話機能の初期化が完了します。

タイプ別装備

環境情報を確認する

標高や気圧、外気温を確認することができます。

表示内容について

① **標高**

② **大気圧**※1

③ **外気温**※1

④ **凍結マーク**※1

路面凍結の恐れがある場合に表示されます。

※ 1　タイプ別装備の項目です。

⑤ **外気温グラフ**※1

⑥ **標高グラフ**

⑦ 戻る

タッチすると、INFO メニュー *(P27)* に戻ります。

お知らせ

- 表示グラフは 5 分単位で最新の情報を表示します。

表示するには

1 **INFO キーを押す**

INFO メニューを表示します。

2 **more → 環境情報 にタッチする**

▼

環境情報画面を表示します。

情報 / 設定　各種情報を確認する

発進・停止履歴を確認する

急発進、急加速、急減速と判断された地点を記憶しリスト(最大 100 件)表示します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 発進・停止履歴 にタッチする

発進・停止履歴画面を表示します。

3 見たい"履歴"にタッチする

▼

地点とアドバイスを表示します。

アドバイス

- ◀ または ▶ にタッチすると、前の履歴、次の履歴を確認することができます。
- 各アイコンは、以下の地点を示します。
  - 発：発進した地点
  - 加：加速した地点
  - 減：減速した地点

■ 発進・停止履歴を消去する

履歴を消去することができます。

1 発進・停止履歴画面を表示する

2 消去したい"履歴"を選び、 ▲ にタッチする

3 いずれかの"消去方法"にタッチする

1 件消去	現在選ばれている場所を履歴から消去します。
選択消去	複数の場所を選んで [消去] にタッチすると履歴から消去します。
全消去	登録されているすべての履歴を消去します。

4 消去する にタッチする

▼

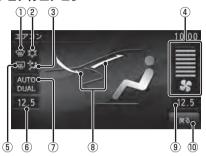
発進・停止履歴の消去が完了します。

タイプ別装備

エアコン情報を確認する

エアコンの状態を確認することができます。

表示内容について

デュアルエアコン

デュアルエアコン以外

① **フロントデフロスター表示**
フロントデフロスターが動作中のときに表示されます。

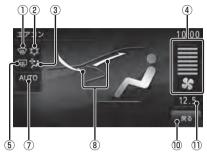
② **エアコン表示**
エアコンが動作中のときに表示されます。

③ **空気清浄機表示**
空気清浄機が動作中のときに表示されます。

④ **風量**
9 段階で表示されます。

⑤ **リアデフォッガー表示**
リアデフォッガーが動作中のときに表示されます。

⑥ **左側の温度設定**

⑦ **AUTO エアコンモード表示**
AUTO エアコンモードが動作中のときに表示されます。

⑧ **風向 / 外気取り入れ口**

⑨ **右側の温度設定**

⑩ 戻る
タッチすると、INFO メニュー *(P27)* に戻ります。

⑪ **温度設定**

お知らせ

- ナビ画面やオーディオ画面などを表示中にエアコン操作を行ったとき、次のエアコン状態画面が表示されます。

エアコン操作をしばらく行わなかったらエアコンの表示は自動的に消えます。
[SETTINGS] キー→ [システム設定] → [エアコン割り込み設定] でエアコン状態画面の表示有無を設定できます。*(P294)*

表示するには

1 **INFO キーを押す**

INFO メニューを表示します。

2 **more → エアコン にタッチする**

▼

環境情報画面を表示します。

タイプ別装備

メンテナンス情報を確認する

お車の各パーツの交換時期を管理することができます。

メンテナンス情報を表示する

エンジンオイルやオイルフィルタなどの交換時期を確認することができます。

お知らせ

- メンテナンス情報で使用する走行距離は本機で計算したものであり、車両の距離計と必ずしも一致しません。
- 地図更新中、プログラム更新中などは走行距離の計算ができないため、この間に走行した距離はメンテナンス情報に反映されません。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 more → メンテナンス情報 にタッチする

▼

メンテナンス情報を表示します。

アドバイス

- 各パーツの交換予定日または交換後の走行距離が近づくと黄色、過ぎると赤色で表示されます。
- 交換時期の通知は交換予定日の 10 日前もしくは交換後の走行距離が残り 100km 以下となります。

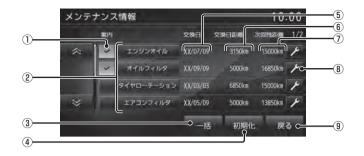
3 見たい各“パーツ”にタッチする

▼

詳細情報を表示します。

アドバイス

- 「交換日」は、前回メンテナンスを実施した日付を表示します。
- 「交換日距離」は、前回メンテナンスを実施した距離を表示します。
- 「次回残距離」はメンテナンス実施日までの残走行距離を表示します。

■ 表示内容について

① **案内**
パーツの交換日が近づいたり、過ぎたりすると案内表示をするかしないかの設定をします。→ *「メンテナンス情報の案内を設定する」(P261)*

② **パーツ**
メンテナンスできるパーツを表示します。

③ 一括
パーツすべてのメンテナンス情報を更新します。→ *「メンテナンス情報を更新する」(P261)*

④ 初期化
すべてのメンテナンス情報を初期化します。→ *「車両設定」(P288)*

⑤ **交換日**
前回メンテナンスを実施した日付を表示します。

⑥ **交換日距離**
前回メンテナンスを実施したときの走行距離を表示します。

⑦ **次回残距離**
次回メンテナンスまでの残走行距離を表示します。

⑧
メンテナンスを実施した日付と走行距離を更新します。→ *「メンテナンス情報を更新する」(P261)*

⑨ 戻る
1 つ前の画面に戻ります。

メンテナンス情報を設定する

メンテナンス期日およびメンテナンス距離を設定することができます。

1 メンテナンス情報を表示する *(P257)*

2 設定したい“パーツ”にタッチする

3 “メンテナンス期日”の 入力 にタッチする

4 ▲ または ▼ にタッチして期日を入力し、決定 にタッチする

5 “メンテナンス距離”の 入力 にタッチする

6 “距離”を入力し、決定 にタッチする

→ *「文字入力のしかた」(P20)*

▼

メンテナンス情報の設定が完了します。

■ メンテナンス情報を追加する

お客さまが追加したいメンテナンス項目を登録することができます。

1 メンテナンス情報を表示する*(P257)*

2 USER ○ にタッチする

アドバイス

- 「USER1」～「USER3」までの項目に追加することができます。

3 名称設定 にタッチする

→*「文字入力のしかた」(P20)*

4 追加する"パーツ名"を入力し、入力完了 にタッチする

▼

以降は、*「メンテナンス情報を設定する」(P259)* 手順 3 と同じです。
「メンテナンス期日」および「メンテナンス距離」を設定してください。

■ メンテナンス情報を初期化する

設定したパーツの「交換日」および、「交換日距離」、「次回残距離」の情報を工場出荷時の状態に戻します。

1 メンテナンス情報を表示する*(P257)*

2 初期化したい"パーツ"にタッチする

3 初期設定 にタッチする

4 はい にタッチする

▼

選んだパーツの初期化が完了します。

メンテナンス情報を更新する

パーツの交換を実施したときに、メンテナンス情報を更新します。

1 メンテナンス情報を表示する *(P257)*

2 交換を実施した“パーツ”の 🔧 にタッチする

3 はい にタッチする

▼

メンテナンス情報を更新します。

アドバイス

- 情報を更新すると「交換日」は現在の日付が設定されます。
- 手順２で [一括] にタッチすると、すべてのパーツを更新することができます。

メンテナンス情報の案内を設定する

メンテナンス情報の案内を設定すると、本機起動後にパーツの交換日が近づいたり、過ぎたりすると案内表示をします。

1 メンテナンス情報を表示する *(P257)*

2 案内したいパーツの“案内”にタッチする

▼

「案内」が設定されます。

✓：案内する

■：案内しない

■ 案内するに設定した場合

パーツの交換日が近づいたり、過ぎたりした場合に本機起動後、以下のようなメッセージを表示します。

各タッチスイッチにタッチするとメッセージが消えます。次回起動後の動作は以下のようになります。

次回から表示しない	次回起動後からメッセージを表示しません。
消去する	次回起動後もメッセージを表示します。

タイプ別装備

走行情報を確認する

走行情報を確認、設定することができます。

表示内容について

車種によっては、表示される項目が異なる場合があります。

アイドリングストップ装備車

標準車

① **燃費グラフ**
平均燃費と瞬間燃費が確認できます。
→*「燃費グラフについて」(P263)*

② マニュアル , オート *(P264)*
リセットモードを切り換えることができます。

③ 履歴 *(P264)*
燃費やECOスコアの履歴を確認することができます。

④ ラップタイム *(P265)*
時間、距離、車速、燃費を計測することができます。

⑤ リセット
リセットモードが“マニュアルモード”のときにタッチすると、各走行情報をリセットすることができます。

⑥ **現在のリセットモード** *(P264)*

⑦ **ECOスコア**※1, ※2
アクセルペダルやブレーキの踏みかたから採点します。
葉っぱの量が多いほど燃費に良い運転ができていると言えます。

⑧ **航続可能距離**
現在の燃料残量と最近の平均燃費から、航続可能距離を計測し表示します。

⑨ **今回のアイドリングストップ時間**※1
車のエンジンを手動でかけてから現在までのアイドリングストップを使用した時間を表示します。

⑩ **累積アイドリングストップ時間**※1
各走行情報がリセットされてから現在までのアイドリングストップを使用した累積時間を表示します。

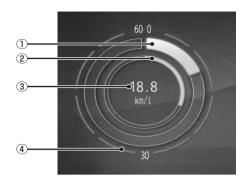
⑪ 戻る
タッチすると、INFOメニュー*(P27)*に戻ります。

⑫ **平均車速**
各走行情報がリセットされてから現在までの平均車速を表示します。

⑬ **走行時間**
ACCをONにしてから現在までの経過時間を表示します。

※1 車種の仕様によっては表示されない項目です。

※2 エンジンスイッチONからOFFまでのエコスコアを表示します。

■ 燃費グラフについて

① **瞬間燃費グラフ**
16 段階で表示されます。1 段階あたり 3.75km/l です。

② **平均燃費グラフ**
16 段階で表示されます。1 段階あたり 3.75km/l です。

③ **平均燃費**

④ **目盛り**
1 本あたり 7.5km/l です。

表示するには

1 **INFO キーを押す**

INFO メニューを表示します。

2 **走行情報 にタッチする**

▼

走行情報画面を表示します。

情報 / 設定

各種情報を確認する

リセットモードを切り換える

走行情報をリセットするタイミングを切り換えることができます。

1 走行情報画面を表示する *(P263)*

2 マニュアル にタッチする

▼

オートモードからマニュアルモードに切り換わります。

3 オート にタッチする

マニュアルモードからオートモードに切り換わります。

オートモード	給油時に各走行情報がリセットされます。
マニュアルモード	走行情報画面で、[リセット] にタッチしたときにリセットされます。

■ リセットされる走行情報

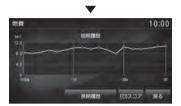
アイドリングストップ車	平均燃費 航続可能距離 累積アイドリングストップ時間
標準車	平均燃費 航続可能距離 平均車速

履歴を確認する

燃費や ECO スコア※1 の履歴を確認することができます。

1 走行情報画面を表示する *(P263)*

2 履歴 にタッチする

▼

前回表示した履歴画面 (燃費履歴または ECO スコア履歴) を表示します。

お知らせ

- 燃費履歴画面で [ECO スコア] にタッチすると、ECO スコア履歴画面を表示します。
- ECO スコア履歴画面で [燃費] にタッチすると、燃費履歴画面を表示します。
- ECO スコア履歴では、エンジンスイッチを OFF にする直前の値を記録します。

※ 1　車種の仕様によっては表示されない項目です。

■ 燃費履歴の表示を切り換える

燃費履歴には長期履歴と短期履歴が用意されています。

1 燃費履歴画面で、［長期履歴］にタッチする

▼

短期履歴画面から長期履歴画面に切り換わります。

2 ［短期履歴］にタッチする

▼

長期履歴画面から短期履歴画面に切り換わります。

ラップタイムを使う

時間、距離、車速、燃費を計測することができます。

1 走行情報画面を表示する *(P263)*

2 ［ラップタイム］にタッチする

ラップタイム画面を表示します。

3 ［スタート］にタッチする

▼

計測を開始します。このとき、車速と燃費は計測中のため表示されません。

4 ［ラップ］にタッチする

▼

現在の計測結果を「A」に記録します。

5 ［ストップ］にタッチする

▼

計測を中止し、トータル欄に計測結果を記録します。

次のページにつづく

アドバイス

- 手順４で再度［ラップ］にタッチすると、「A」の計測結果は「B」に記録され、さきほどの計測結果が「A」に記録されます。このように「ラップ」にタッチするたびに計測結果が「A」→「B」→「C」→「D」と下に移動していきます。
- 手順５の計測を中止した後、［スタート］にタッチすると、続きから計測を再開します。

お知らせ

- 計測中にエンジンスイッチを OFF にすると、計測を中止します。このとき、エンジンスイッチを ON に戻すと続きから計測を再開します。

■ ラップタイムを消去する

記録した計測結果を消去します。

1 ラップタイム画面で、リセット にタッチする

▼

記録された計測結果の消去が完了します。

バージョンを確認する

本機のプログラムおよび地図データ、Gracenote データベースのバージョンが確認できます。

表示するには

1 **INFO キーを押す**

INFO メニューを表示します。

2 **バージョン情報 にタッチする**

▼

各データのバージョンを表示します。

アドバイス

- 地図データを更新する場合は、*「地図データの差分を更新する」(P238)* をご覧ください。
- 本機の Gracenote データベースを更新する場合は、*「Gracenote データベースを SD カードで更新する」(P134)* をご覧ください。

タイプ別装備

カメラを使う

カメラについて

- カメラ (リヤ、サイド、ノーズ) は車両後方、横、前方の映像を表示し、死角をカバーすることができます。装備されるカメラの種類 (リヤ、サイド、ノーズ) は車種により異なります。
- 各カメラ位置、各カメラ画面などの表示範囲、詳しい操作方法については車両取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 画面に表示される範囲には限度があります。必ず周囲を目視確認し、カメラ画面は補助的に使用してください。
- 各カメラは特殊レンズを使用しているため画面に映る距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のような場合、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - * 暗いところ (夜間)
  - * 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに入ったとき

    高輝度の点が画面に映ると CCD カメラ特有のスミヤ現象※1 が発生することがあります。
- カメラレンズ前面のガラスが汚れていると障害物を十分に確認できません。水滴、雪、泥などが付着したときはガラスを傷つけないよう丁寧にふき取ってください。
- エンジンスイッチ ON 直後などは映像を表示することはできますが、ガイドラインを表示できない場合があります。

※ 1　高輝度の点 (バンパーに反射した太陽など) が画面に映るとその点が上下 (縦方向) に尾を引くことがあります。この現象をスミヤ現象と言います。

リヤビューカメラを表示する

- エンジンスイッチが ON のときにセレクターレバーをリバースに入れると車両後方の映像を自動的に表示します。
- セレクターレバーをリバース以外の位置にすると元の画面に戻ります。

お知らせ

- 後退時のブザーはセレクターレバーがリバース位置にあることを知らせるもので障害物があることを警告するブザーではありません。

マルチアラウンドモニターを表示する

カメラスイッチを押すことでカメラの映像を切り換えることができます。

各種設定を変更する

NAVI の設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

1 **NAVI MENU キーを押す**

Navi メニューを表示します。

2 **変更したい“項目”にタッチする**

▼

選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

項目	説明
OpenInfo	OpenInfo に関する設定の変更や情報の確認が行えます。 → *「OpenInfo の設定」(P278)*
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更が行えます。 → *「探索の設定」(P270)*
音声の設定	音声案内に関する設定の変更が行えます。 → *「音声の設定」(P271)*
VICS の設定	VICS に関する設定の変更が行えます。 → *「VICS の設定」(P272)*
ルートの編集	設定したルートの編集が行えます。 → *「ルートの変更」(P76)*
ルートのデモ開始	作成したルートを仮想的に走行させ確認することができます。 → *「デモ走行を見る」(P75)*
表示の設定	表示に関する設定の変更が行えます。 → *「表示の設定」(P273)*
ETC の設定	タイプ別装備の ETC に関する設定が行えます。 → *「ETC の設定」(P276)*
センサ補正	センサー学習情報の消去が行えます。 → *「センサ補正」(P277)*

探索の設定

ルート探索に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
ルート探索条件	**有料 (推)**	ルート探索時の初期値を“有料優先”に変更します。 目的地 (経由地) までできるだけ有料道路を使用するルートを探索します。
	省エネ	ルート探索時の初期値を“省エネ”に変更します。 目的地(経由地)までできるだけ燃費節約となるルートを探索します。
	一般 (推)	ルート探索時の初期値を“一般優先”に変更します。 目的地 (経由地) までできるだけ一般道路を使用するルートを探索します。
	距離	ルート探索時の初期値を“距離優先”に変更します。 目的地(経由地)までできるだけ距離が短くなるルートを探索します。
ルート自動更新	**自動更新する**	[自動更新する] に設定されていると、ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。
	自動更新しない	
スマート IC	考慮する	スマート IC*(P319)* の使用有無を設定できます。 タイプ別装備の ETC 車載器または DSRC 車載器を接続している場合は、[考慮する] が工場出荷時の状態になります。
	考慮しない	
渋滞予測	使う	渋滞予測の使用有無を設定できます。
	使わない	
到着予想時刻学習リセット	学習データをリセットする	到着予想時刻の計算で使用する学習データを消去します。
学習ルート	**考慮する**	学習ルートを考慮するかしないかを設定できます。
	考慮しない	
ルート学習リセット	学習データをリセットする	学習ルートのデータを消去します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声の設定

音声案内に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
県境案内	**案内する**	県境通過時の県境表示 *(P45)* および音声案内の有無を設定できます。
	案内しない	
カーブ案内	**案内する**	カーブ案内の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
レーン案内	案内する	レーン案内の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
	ルート案内のみ	ルート案内時のみレーン案内を行います。
ルート案内頻度	最大	ルート案内時の案内頻度を設定できます。
	通常	
	最小	
	なし	
サマリーガイダンス	**案内する**	ルート探索完了時に路線名 (高速 / 国道 / フェリー) の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
ルート上の合流案内	案内する	合流案内 (ルート上) の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
ルート上の踏切案内	案内する	踏切案内 (ルート上) の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
交差点名称読み上げ	**読み上げる**	交差点名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	
方面名称読み上げ	**読み上げる**	方面名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

VICS の設定

VICS に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
VICS 受信局 周波数設定	**自動選局**	VICS 局の指定方法を選択することができます。 → *「VICS 局を選ぶ」(P104)*
	県指定	
	周波数指定	
VICS 受信時地図色	変える	[変える] に設定すると、VICS 情報 (レベル 3) 受信時、VICS 情報を見やすくするために地図色を変更します。
	変えない	
VICS 情報 (一般道)	**表示する**	地図に表示する VICS 情報 (一般道) の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS 情報 (高速道)	**表示する**	地図に表示する VICS 情報 (高速道) の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS 駐車場情報	**表示する**	地図に表示する VICS 駐車場情報の有無を設定できます。
	表示しない	
受信情報割り込み	**割込表示する**	情報受信時の割り込み表示をするかしないかを設定できます。
	割込表示しない	
順調線表示	**表示する**	地図に表示する順調線の有無を設定できます。
	表示しない	
受信情報読み上げ	**自動**	受信した音声情報の読み上げ方法を設定できます。
	手動	
走行情報 (DSRC)	**送信する**	DSRC 車載器接続時、走行情報を送信するかしないかを設定できます。
	送信しない	
走行情報 (オンライン)	送信する	通信接続時、走行情報を送信するかしないかを設定できます。
	送信しない	
オンライン受信※1	10 分毎	自動接続の周期を設定できます。※2
	20 分毎	
	手動 1	手動で受信します。
	手動 2	本機起動後、初回のみ自動受信を行い以降は手動で受信します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※ 1　あらかじめ登録作業および設定が必要です。詳しくは *「オンラインの情報を受信する」(P102)* をご覧ください。

※ 2　サーバーの状況によって設定した周期よりも受信間隔が長くなることがあります。

表示の設定

表示に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
3D 建物	**表示する**	地図基準向きの 3D*(P43)* 表示中の建物について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
3D ポリゴンランドマーク	**表示する**	地図基準向きが 3D*(P43)* のときに表示する 3D ポリゴンランドマーク *(P67)* について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
カメラマーク	**表示する**	地図画面上に表示するカメラマーク *(P67)* について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
季節マーク	**表示する**	地図に表示する季節マークについて、表示有無を設定できます。
	表示しない	
走行軌跡	**表示する**	地図に表示する走行軌跡について、表示有無を設定できます。(表示しないに設定している場合でも蓄積は行われています。)
	表示しない	
走行軌跡データ消去	走行軌跡を消去する	蓄積されている自車の走行軌跡情報をクリアします。
登録地名称	**表示する**	地図に表示する登録地名称について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
道路縁取り	**幅付き**	地図の道路線について、縁取り表示を変更できます。
	しない	
レーン案内地点	表示しない	レーン情報の表示を行いません。
	1	前方 1 箇所のレーン情報を表示します。
	3	前方 3 箇所のレーン情報を表示します。
ランドマーク	**表示する**	地図に表示するランドマークについて、表示有無を設定できます。
	表示しない	
ランドマーク選択	ランドマークを選択する	ランドマークの種類ごとに表示有無を設定できます。 *→「ランドマークの表示を個別に設定する」(P275)*
3D スクロール	**3D のまま**	地図基準向きが 3D*(P43)* のときに手動でスクロールしたときの表示方法を設定できます。
	2D に切換える	
2 画面スクロール	**2 画面のまま**	地図の種類がスタンダード 2 画面 *(P41)* のときに手動でスクロールしたときの表示方法を設定できます。
	1 画面に切換える	

次のページにつづく

「表示の設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
スクロール方面名称	**表示する**	スクロール中に表示する方面名称について、表示有無を設定できます。→ *「スクロール方面名称表示について」(P48)*
	表示しない	
昼夜色	**自動切換**	地図画面の色を車両の ILL(ヘッドランプおよびポジションランプ) 点灯に連動して変更します。 ILL ON 時：暗い色になります。 ILL OFF 時：明るい色になります。
	昼固定	常に明るい色になります。
	夜固定	常に暗い色になります。
地図色	**地図色 1**	地図を通常の色合いにします。
	地図色 2	地図をユニバーサルデザインの色合いにします。
	地図色 3	地図をパステル調の色合いにします。
	地図色 4	地図を道路強調の色合いにします。
文字サイズ	**標準**	地図に表示する文字の大きさについて、設定できます。
	大	
高速略図自動表示	**自動表示する**	高速道路走行時、高速略図を自動で表示するかしないかを設定できます。
	自動表示しない	
AV アイコン	**表示する**	地図に表示する AV アイコン *(P38)* について表示有無を設定できます。
	表示しない	
電話アイコン	**表示する**	地図に表示する電話アイコン *(P38)* について表示有無を設定できます。
	表示しない	
ETC アイコン	**表示する**	地図に表示する ETC アイコン *(P38)* について表示有無を設定できます。
	表示しない	
ルート残距離	**目的地まで**	ルート設定時の現在地画面 *(P36)* で表示する“目的地 / 経由地情報”での距離の基準を変更できます。
	次の経由地まで	
到着予想時刻表示	到着予想時間	目的地 / 経由地情報 *(P36)* で表示される情報について、到着予想時間または所要時間を選ぶことができます。
	所要時間	
探索ルート	**矢印**	ルート案内マーク *(P36)* の表示方法を変更できます。
	線	
3D 視点	変更する	地図基準向きの 3D*(P43)* の視点角度を変更できます。 → *「3D の視点を切り換える」(P49)*

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ ランドマークの表示を個別に設定する

ランドマークの種類ごとに表示有無を設定できます。

1 NAVI MENU キーを押す

Navi メニューを表示します。

2 表示の設定 にタッチする

3 「ランドマーク選択」の ランドマークを選択する にタッチする

4 種類ごとに 表示する または 表示しない をタッチしていく

▼

表示するランドマークの選択が完了します。

アドバイス

- [詳細] にタッチすると、さらに細かく設定することができます。

ETC の設定

タイプ別装備の ETC に関する設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
ETC 通過音	**鳴らす**	ETC ゲート通過時に音を鳴らすか鳴らさないかの設定が行えます。
	鳴らさない	
ETC カード案内	**案内する**	ETC カードの挿入、未挿入の案内をするかしないかの設定が行えます。
	案内しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

センサ補正

車速センサー・ジャイロセンサーは自動学習によりレベルがあがります。タイヤを交換したときなどは車速の学習データを消去し、学習をやり直す必要があります。

1 **NAVI MENU キーを押す**

Navi メニューを表示します。

2 **センサ補正 にタッチする**

▼

センサー補正状況の画面を表示します。

3 **"車速"または"ジャイロ"の 消去 にタッチする**

4 **消去する にタッチする**

▼

センサー学習データの消去が完了します。
この後、*「自車位置精度と自動補正について」(P277)* を確認して、補正を行ってください。

注 意

- 消去したデータの復旧はできません。

自車位置精度と自動補正について

- センサー学習情報を消去した場合は、見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行うことで車速やジャイロの自動学習を早めることができます。
- GPS の受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行すると車速自動補正が働き、交差点の右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで、自車位置精度は徐々に向上していきます。

アドバイス

- 自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働きやすくなります。

OpenInfo の設定

OpenInfo に関する設定の変更や情報の確認が行えます。

1 **NAVI MENU キーを押す**

Navi メニューを表示します。

2 **OpenInfo にタッチする**

3 **変更したい“項目”にタッチする**

▼

選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

項目	内容
地図情報更新	地図データベースの更新が行えます。 *「地図データの差分を更新する」(P238)* と同様に操作します。
デバイス ID 表示	オンラインの情報を取得するために必要となる ID 番号の確認が行えます。→ *「デバイス ID を表示する」(P278)*
Bluetooth 設定	市販されている Bluetooth 機器を Bluetooth 機能を使って本機に接続することができます。→ *「Bluetooth の設定」(P279)*
通信設定	通信機能を利用するための設定が行えます。→ *「通信設定」(P283)*
走行情報 送受信設定	オンライン情報送受信時の設定が行えます。→ *「走行情報送受信設定」(P285)*

デバイス ID を表示する

デバイス ID とは、オンラインの情報を取得するために必要となる ID 番号です。登録手続きで使用します。登録方法については、「OpenInfo サービス ユーザー登録方法」*(P324)* を参照してください。

1 **NAVI MENU キーを押す**

Navi メニューを表示します。

2 **OpenInfo にタッチする**

3 **デバイス ID 表示 にタッチする**

▼

デバイス ID を表示します。

Bluetooth の設定

市販されている Bluetooth 機器を
Bluetooth 機能を使って本機に接続することができます。

Bluetooth(ブルートゥース) とは

Bluetooth は近距離 (数メートル以内) での機器接続に特化した無線通信規格です。電波を使用しているため指向性を持ちません。その特性により遮蔽物があっても通信可能となり、たとえば胸ポケットやカバンの中に携帯電話を入れたままで接続するような使い方が可能になります。

お知らせ

- 本機は Ver.2.1+ EDR に対応しています。

対応プロファイル

Bluetooth Audio	A2DP AVRCP(v.1.0,v.1.3,v.1.4)
ハンズフリー	HFP
ダイヤルアップ接続	DUN
電話帳転送	OPP、PBAP

お知らせ

- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態で接続してください。
- 接続中に Bluetooth 機器での操作 (受話操作など) を行うと正しく動作しない場合があります。
- Bluetooth 機器におけるパスキーの入力方法については Bluetooth 機器の取扱説明書をご確認ください。
- 接続に失敗することがあります。再度、登録してください。
- 本機と Bluetooth 機器の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては通信速度が落ちる場合や接続できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置に Bluetooth 機器を置いてください。
- Bluetooth 対応機器であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- Bluetooth 機器は、最大 7 台まで登録できます。
- 機器によっては接続までに時間がかかる場合があります。

■ Bluetooth 機器を登録する

Bluetooth 機器を本機に登録します。

1 NAVI MENU キーを押す

Navi メニューを表示します。

2 OpenInfo にタッチする

3 Bluetooth 設定 にタッチする

Bluetooth 設定画面を表示します。
[SETTINGS] キー→ [システム設定] → [Bluetooth 設定] でも以降の操作が行えます。

4 機器登録 にタッチする

5 画面に表示されたパスキーをBluetooth 機器に入力する

▼

以降の操作は、お使いの携帯電話によって異なります。

6 タイプ別の操作を行う

表示される画面のタイプ別の操作を行ってください。

タイプ A

自動的に接続が完了します。

タイプ B

Bluetooth 機器に表示されているパスキーと本機の画面に表示されているパスキーが同じであれば、[はい] にタッチします。

※ パスキーがもし違う場合は、Bluetooth 機器側の操作を最初からやり直してください。

タイプ C

本機側が準備状態ですので、[はい] にタッチします。

▼

接続が完了すると Bluetooth と電波強度のアイコンを表示します。

■ Bluetooth 機器を選択する

複数台の Bluetooth 機器を登録した場合、接続する Bluetooth 機器を選択する必要があります。(以降は本機能で設定した Bluetooth 機器を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。)

1 Bluetooth 設定画面を表示する *(P280)*

2 接続機器の選択 にタッチする

3 接続したい“機器名”にタッチする

4 電話機接続 または オーディオ接続 にタッチする

接続したい Bluetooth 機器をハンズフリー用に使用する場合は [電話機接続] に、Bluetooth Audio 用に使用する場合は [オーディオ接続] を選択します。

5 決定 → 変更する にタッチする

▼

Bluetooth 機器の選択が完了します。

アドバイス

- ハンズフリー、Bluetooth Audio 両方に対応した Bluetooth 機器の場合は、選択を 1 台にすることができます。
  その場合、以下の表示となります。

■ パスキーを設定する

パスキーを固定 (工場出荷時「1212」) にするか、登録するたびに、違うパスキーにするかを設定します。

1 Bluetooth 設定画面を表示する *(P280)*

2 パスキー設定 にタッチする

3 固定 または ランダム にタッチする

アドバイス

- ランダムを選択した場合パスキー入力画面は表示しません。

4 任意の“4 桁のパスキー”を入力し、決定 にタッチする

▼

パスキーの設定が完了します。

アドバイス

- すでにパスキーを設定している場合は、[消去] にタッチしてパスキーを消去してから入力してください。

■ 本機のアドレスを表示する / 編集する

本機の機器名および機器アドレスを確認します。また、機器名称のみ変更することができます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する *(P280)*

2 自機アドレス表示 / 編集 にタッチする

▼

機器名称および機器アドレスが確認できます。

3 "機器名称" にタッチする

4 任意の "機器名称" を入力し、入力完了 にタッチする

→「文字入力のしかた」(P20)

アドバイス

- 機器名称は最大半角 12 文字 (全角 6 文字) まで入力できます。

5 決定 にタッチする

▼

機器名称の変更が完了します。

■ 暗証番号を設定する

第三者に対して不用意に設定を変更されないように暗証番号によるロックをかけることができます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する *(P280)*

2 暗証番号設定 にタッチする

3 4 桁の "暗証番号" を入力し、決定 にタッチする

▼

暗証番号によるロックの設定が完了します。

注 意

- 次に設定を変更するときに、さきほど入力した暗証番号を入力する必要がありますので、忘れないようにしてください。

アドバイス

- 再起動後有効になります。
- エンジンスイッチを ON/OFF にした後、30 秒以上たってからエンジンスイッチを ACC または ON にしてください。すぐにエンジンスイッチを ACC または ON にすると正しく設定されない場合があります。
- 暗証番号を設定した場合、エンジンスイッチを ON にした後に正しく設定されたことを確認ください。
- 暗証番号を忘れた場合は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

暗証番号を解除する

暗証番号によるロック状態を解除します。次に設定を変更するときに暗証番号の入力が不要になります。

1 Bluetooth 設定画面を表示する *(P280)*

2 設定した“暗証番号”を入力し、決定 にタッチする

3 暗証番号解除 にタッチする

▼

暗証番号によるロックの解除が完了します。

通信設定

通信機能をご利用になるには、通信機能の設定を行う必要があります。接続先の設定は、使用する携帯電話に応じた接続先を選ぶだけで簡単に行うことができます。
また、あらたな接続先を追加するときや、設定内容を変更するときは *「詳細設定で接続する」(P284)* をご覧ください。

■ 簡単設定で接続する

使用する携帯電話に応じた接続先を選びます。

1 NAVI MENU キーを押す

Navi メニューを表示します。

2 OpenInfo にタッチする

3 通信設定 にタッチする

通信設定画面を表示します。
[SETTINGS] キー→ [システム設定] → [通信設定] でも以降の操作が行えます。

4 接続する“プロバイダ”にタッチする

▼

プロバイダの設定が完了します。

接続先について

あらかじめ4社のプロバイダを用意しております。

キャリア名称	接続先名称
NTT docomo	mopera U※1
au	au.NET
SoftBank	アクセスインターネット
EMOBILE	emb

※1　ご使用になるには、あらかじめ使用契約を行っておく必要があります。

■ 詳細設定で接続する

あらかじめ用意されている 4 社以外のプロバイダを使用する場合に設定します。

1 **NAVI MENU キーを押す**

Navi メニューを表示します。

2 **OpenInfo にタッチする**

3 **通信設定 にタッチする**

通信設定画面を表示します。
[SETTINGS] キー→ [システム設定] → [通信設定] でも以降の操作が行えます。

4 **いずれかの プロバイダ設定 にタッチする**

5 **詳細設定 にタッチする**

6 **“設定する項目”にタッチする**

接続先名称	プロバイダの名称を設定・変更できます。
アクセスポイント電話番号	アクセスポイントの電話番号を入力します。
ログイン ID	プロバイダ入会時に発行されたログイン ID を入力します。
ログインパスワード	プロバイダ入会時に発行されたパスワードを入力します。
DNS サーバアドレス 1/2	DNS(IP アドレス) を入力します。
プロキシサーバアドレス	プロキシサーバーアドレスを入力します。
ポート番号	ポート番号を入力します。

走行情報送受信設定

オンライン情報送受信時の設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
走行情報（オンライン）	送信する	通信接続時、走行情報を送信するかしないかを設定できます。
	送信しない	
オンライン受信※1	10 分毎	自動接続の周期を設定できます。※2
	20 分毎	
	手動 1	手動で受信します。
	手動 2	本機起動後、初回のみ自動受信を行い以降は手動で受信します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※ 1　あらかじめ登録作業および設定が必要です。詳しくは *「オンラインの情報を受信する」(P102)* をご覧ください。

※ 2　サーバーの状況によって設定した周期よりも受信間隔が長くなることがあります。

本機の設定

本機に関する共通的な設定が行えます。

画面の表示を消す

画面の表示を消します。

1 SETTINGS キーを押す

設定メニューを表示します。

2 画面 OFF にタッチする

▼

画面の表示を消します。

アドバイス

・再度表示するときは、画面にタッチするかいずれかのキーを押します。

画面サイズ設定

映像の表示方法の初期設定を行います。

1 SETTINGS キーを押す

設定メニューを表示します。

2 画面サイズ設定 にタッチする

3 いずれかの“モード”にタッチする

モード

▼

画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

・ノーマル画面は縦横比 4:3、ワイド画面は縦横比 16:9 です。
・ズームでは、画質が粗くなります。

時計表示に切り換える

本機の画面表示を時計に切り換えます。

1 **SETTINGS キーを押す**

設定メニューを表示します。

2 **時計表示 にタッチする**

▼

本機の画面が時計に切り換わります。

アドバイス

- 時計表示を解除するときは、画面にタッチするかいずれかのキーを押します。
- [システム設定] → [時刻設定] →「表示設定」で [12h] または [24h] を切り換えることができます。→「時刻設定」(P294)

画質を調整する

メニュー画面やテレビの色合いや明るさなどの調整が行えます。

1 **SETTINGS キーを押す**

設定メニューを表示します。

2 **画質調整 にタッチする**

▼

画質調整の画面を表示します。

■ RGB 画面の調整

「画質調整」で [RGB 画面の調整] にタッチすると表示します。

メニュー画面やナビ画面などの明るさ、コントラストなどを調整します。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。[＋] にタッチすると明るくなり、[−] にタッチすると、暗くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト (メリハリ) の調整を行います。[＋] にタッチするとコントラストが強くなり、[−] にタッチすると、弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。[灰] にタッチすると黒の濃さが弱くなり、[黒] にタッチすると濃くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。

■ 映像画面の調整

「画質調整」で [映像画面の調整] にタッチすると表示します。
テレビ画面や DVD 画面、AUX 画面などの明るさや色合いなどを調整します。

お知らせ

- 選択している映像ソースに対して調整を行います。
- 映像ソースごとに設定ができます。
- 映像ソースを選択していないときや走行中は設定操作ができません。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。[＋] にタッチすると明るくなり、[－] にタッチすると、暗くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト (メリハリ) の調整を行います。[＋] にタッチするとコントラストが強くなり、[－] にタッチすると、弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。[灰] にタッチすると黒の濃さが弱くなり、[黒] にタッチすると濃くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。[緑] にタッチすると緑っぽくなり、[赤] にタッチすると赤っぽくなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。[＋] にタッチすると色が濃くなり、[－] にタッチすると薄くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。

タイプ別装備

車両設定

車両装備の設定が行えます。

1 SETTINGS キーを押す

設定メニューを表示します。

2 車両設定 にタッチする

3 設定したい“装備名”にタッチする

4 変更したい“項目”にタッチする

5 “設定値”にタッチする

▼

車両装備の設定が完了します。

■ 車両設定を初期化する

変更した車両設定を工場出荷時の状態に戻します。

1 SETTINGS キーを押す

設定メニューを表示します。

2 車両設定 にタッチする

3 初期化 にタッチする

4 はい にタッチする

▼

車両設定の初期化が完了します。

■ 設定できる項目について

お知らせ

- ※ 1, ※ 2 は対応車種の仕様により表示されない項目です。
- 車両の装備によっては、*「キーレスエントリー」* または *「キーレスオペレーション」* のどちらかを表示します。

キーレスエントリー

項目	設定内容
非常点滅灯 点滅回数	施錠時および解錠時のライトの点滅回数を設定します。
施錠時ホーン吹鳴	施錠時の音 (ホーン) を設定します。
施錠時ホーン吹鳴時間	施錠時の音 (ホーン) の長さを設定します。
ドア解錠 / 施錠時のサイレン吹鳴※2	施錠時と解錠時に鳴らす音の種類を設定します。
パワーウィンドウ / ドアミラー操作	パワーウィンドウとドアミラーの操作を設定します。
デッドロック状態にするためのロックボタン操作回数	デッドロック状態にするためのロックボタンを押す回数を設定します。

キーレスオペレーション

項目	設定内容
非常点滅灯 点滅回数	施錠時および解錠時のライトの点滅回数を設定します。
施錠時ホーン吹鳴	施錠時の音 (ホーン) を設定します。
施錠時ホーン吹鳴時間	施錠時の音 (ホーン) の長さを設定します。
パワーウィンドウ / ドアミラー操作	パワーウィンドウとドアミラーの操作を設定します。
ドア解錠 / 施錠時のブザー吹鳴	解錠時および施錠時のブザー音の設定をします。
ドア施錠後の再解錠禁止時間	施錠時後、再度、解錠できるまでの時間を設定します。
キーレスオペレーションの有効 / 無効※2	キーレスオペレーションの機能が有効な範囲を設定します。
ドア解錠 / 施錠時のサイレン吹鳴※2	施錠時と解錠時に鳴らす音の種類を設定します。
ドア自動施錠※2	自動施錠の有無を設定します。
キーレスオペレーションキー車外持ち出し検知	キーレスオペレーションキーを車外へ持ち出したときを検知するかしないか設定します。
デッドロック状態にするためのロックボタン操作回数	デッドロック状態にするためのロックボタンを押す回数を設定します。

ワイパー

項目	設定内容
フロントワイパー間欠作動時間	フロントワイパーの動作の間隔を設定します。 ※グレード、車種によっては設定が無効な項目もあります。
ウォッシャー連動ワイパー	ウォッシャー液を噴射時､自動的にワイパーを作動させる設定をします。
ウォッシャーレバーのワンタッチ操作時自動洗浄機能	ウォッシャー液が一定時間断続的に、噴射しながらワイパーも自動的に連動する自動洗浄の機能有無を設定します。
リア　間欠作動時間	リヤワイパーの動作の間隔を設定します。
リア 連続作動モード※2	リヤワイパーの連続作動機能の有無を設定します。
R(リバース) 位置連動リアワイパー	セレクターレバーの位置を R(リバース) にしたとき、リアワイパーを自動で作動させる設定をします。

ライト

項目	設定内容
ヘッドライトオートカット	ヘッドライトを点灯時、エンジン OFF し、ロックしたドアを開けて降車すると、自動的に消灯させる機能の設定をします。
オートライト点灯タイミング	外が暗くなると自動的にヘッドライトを点灯させるタイミングの設定をします。
ワイパー連動ヘッドライト (ライトスイッチ AUTO 位置のみ)	ライトスイッチが AUTO にしている場合、ワイパー作動時、自動的にヘッドライトを点灯する機能の有無を設定します。
降車後ヘッドライト点灯機能	降車時にヘッドライトの点灯時間の設定をします。
リモコンアンロックボタン 操作時ライト点灯機能	リモコンのアンロックボタンを押したとき、ライトの点灯機能の設定をします。
インテリアランプオートカット時間※1	室内照明を点灯したまま、エンジンを切った場合、室内照明が自動消灯するまでの時間を設定します。
ドアを閉じたときにルームランプが消灯するまでの時間	ドアを閉じたときに室内照明が自動消灯するまでの時間を設定します。
充電口照明の点灯時間※1	充電口照明の点灯時間を設定します。
計器類照明灯自動点灯タイミング※2	計器などの照明灯を自動点灯させるタイミングを設定します。

警報音

項目	設定内容
セキュリティーアラーム	セキュリティーアラームの有無を設定します。
センサー感度調整	セキュリティーアラームが作動するセンサー感度のレベルを設定します。
車内警報時間	車内警報の時間を設定します。
パニックアラーム	パニックアラームの有無を設定します。

パワーウィンドウ

項目	設定内容
パワーウィンドウ (サンルーフ) タイマー時間	エンジンを切った後、パワーウィンドウ (サンルーフ) を自動で閉めるまでの時間を設定します。
エンジンスイッチ OFF 後のウィンドウ開	エンジン OFF した後、パワーウィンドウを開ける機能の有無を設定します。
ウィンドウロックスイッチ ON 時の運転席からの開閉可能ドアガラス	ウィンドウロックスイッチ ON 時に、運転席からの開閉できる窓の位置を設定します。

方向指示灯

項目	設定内容
方向指示灯作動条件 (エンジンスイッチ位置)	方向指示器の作動条件を設定します。
方向指示レバーのワンタッチ操作時 3 回点滅機能 (車線変更時など)	車線変更するとき、方向指示レバーを軽く操作すると、3 回点滅させる機能の有無を設定します。
方向指示灯 3 回点滅機能のレバー操作受付時間	「方向指示レバーのワンタッチ操作時 3 回点滅機能 (車線変更時など)」機能を作動させるための、方向指示レバーの操作時間を設定します。

ドア解錠 / 施錠

項目	設定内容
キーレスエントリー (キーレスオペレーション) 使用時のドア解錠放置後の自動施錠時間	キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションキーでドアを解錠後、自動で施錠する時間を設定します。
解錠時の対象となるドア	解錠が有効になるドア位置を設定します。
ドア自動解錠	ドアが自動で解錠する設定をします。
走行中自動施錠※2	走行すると自動でドアを施錠する機能の有無を設定します。
セレクターレバー D 位置連動ドア施錠※2	セレクターレバーの位置を D(ドライブ) にしたとき、ドアを自動で施錠する機能の有無を設定します。

エアコン※1

項目	設定内容
内外気自動制御	内気循環、外気導入を自動で切り換える機能の有無を設定します。
エアコンスイッチ自動制御	エアコンスイッチを自動または手動の設定をします。
ECO モード	ECO モードの設定ができます。 ※ ECO スイッチ付車のみ設定ができます。
足元／ウィンドウガラスの風量調整	足元とウィンドウガラスの風量を設定します。
上半身／足元の風量調整	上半身と足元の風量を設定します。
(エンジン) 始動時のオートリアデフォッガー作動温度	エンジン始動時にリアデフォッガーの作動の有無を設定します。

その他

項目	設定内容
ドアミラー自動格納 / 復帰	ドアミラーの自動格納と展開の設定をします。
ホーン吹鳴によるエンジン動作確認	リモコンでエンジンを始動したときホーンを鳴らす機能の有無を設定します。
ACC 電源の自動オフ (エンジンスイッチが ACC 時のみ)	エンジンスイッチが ACC のとき、自動で ACC を OFF にするまでの時間を設定します。

ナビ音量設定

操作音量の設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
操作音量	消	操作音量の設定が行えます。(工場出荷時は [2]) 数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消] で無音になります。
	1 ～ 3	
ガイド音声音量	消	音声案内など音量について設定が行えます。(工場出荷時は [4]) 数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消] で無音になります。
	1 ～ 7	
車速連動音質・音量	**On**	車の速度に応じて音量を自動的に調節します。
	Off	車の速度に応じて音量を調節しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

システムの設定

本機のシステムに関する設定が行えます。

1 SETTINGS キーを押す

設定メニューを表示します。

2 システム設定 にタッチする

システム設定画面を表示します。

3 変更したい“項目”にタッチする

▼

選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

時刻設定	時計の表示や時報についての設定が行えます。→*「時刻設定」(P294)*
通信設定	通信機能を利用するための設定が行えます。→*「通信設定」(P283)*
Bluetooth 設定	市販されている Bluetooth 機器を Bluetooth 機能を使って本機に接続することができます。→*「Bluetooth の設定」(P279)*
エアコン割り込み設定※1	エアコン操作を行ったときのエアコン状態画面 *(P255)* について表示有無の設定が行えます。
初期化	本機の各設定や記録データを工場出荷時の状態に戻すことができます。→*「初期化」(P295)*
オープニング設定	起動時に表示するオープニング画面を標準か季節画像かを選ぶことができます。→*「オープニング設定」(P295)*
電話設定	送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。
音声認識設定	音声操作のガイド表示の有無設定や学習データのリセットが行えます。→*「音声認識設定」(P296)*
カメラ設定※1	カメラに関する設定が行えます。→*「カメラ設定」(P295)*

※1　タイプ別装備により表示されない車種があります。

時刻設定

時計の表示や時報についての設定が行えます。

1 システム設定画面を表示する

2 時刻設定 にタッチする

3 設定を変更し、戻る にタッチする

▼

設定の変更が完了します。

エアコン割り込み設定

エアコン操作を行ったときのエアコン状態画面 *(P255)* について表示有無の設定が行えます。

1 システム設定画面を表示する

2 エアコン割り込み設定 にタッチする

3 設定を変更し、戻る にタッチする

▼

設定の変更が完了します。

初期化

本機の各設定や記録データを工場出荷時の状態に戻すことができます。
また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

注 意

- 故障の原因となりますので初期化中は、エンジンスイッチの“ACC”を“OFF”にしないでください。

1 システム設定画面を表示する*(P294)*

2 初期化 にタッチする

3 メッセージを確認し、開始 にタッチする

4 開始 にタッチする

5 再度、開始 にタッチする

▼

初期化が完了します。
この後、本機は再起動を行います。

カメラ設定

マルチビューやノーズビューについて起動時自動表示の設定を行えます。

お知らせ

- カメラについての詳細は車両取扱説明書をご覧ください。

1 システム設定画面を表示する*(P294)*

2 カメラ設定 にタッチする

3 設定を変更し、戻る にタッチする

▼

設定の変更が完了します。

オープニング設定

起動時に表示するオープニング画面を標準か季節画像かを選ぶことができます。

1 システム設定画面を表示する*(P294)*

2 オープニング設定 にタッチする

3 設定を変更し、戻る にタッチする

▼

設定の変更が完了します。

音声認識設定

音声操作のガイド表示の有無設定や学習データのリセットが行えます。

1 システム設定画面を表示する *(P294)*

2 音声認識設定 にタッチする

3 設定を変更し、戻る にタッチする

▼

設定の変更が完了します。

電話設定

送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
送話音量	1 ～ 7	電話の送話音量を設定できます。(工場出荷時は [4])
自動着信	自動着信する **自動着信しない**	[自動着信する] に設定すると、かかってきた電話を自動的に受けることができるようになります。 [自動着信する] にタッチした後、自動着信するまでの応答時間 (1 ～ 30 秒) を設定する必要があります。 (工場出荷時は「5」秒)

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

AV の設定

AV 機能に関する各設定を変更します。

音質を調整する

オーディオの音質に関する設定が行えます。

お知らせ

- AUDIO OFF 状態では音質を調整することができません。

■ バランス / フェーダー

各スピーカーから出力するレベルをカーソルスイッチで調節することができます。

1 SOUND キーを押す

音質調整画面を表示します。

2 バランス / フェーダー にタッチする

▼

3 ◀ , ▶ にタッチして、バランスを調整する

L11 ～ L1,0,R1 ～ R11 まで設定できます。(工場出荷時は「0」)

4 ▲ , ▼ にタッチして、フェーダーを調整する

F11 ～ F1,0,R1 ～ R11 まで設定できます。(工場出荷時は「0」)

▼

バランス / フェーダーの調整が完了します。

アドバイス

- [全初期化] にタッチすると、すべての音質調整を工場出荷時の状態に戻します。

■ イコライザー設定

サウンドの種類と各音質のレベルを設定することができます。

1 SOUND キーを押す

音質調整画面を表示します。

2 イコライザー設定 にタッチする

3 サウンドの“種類”にタッチする

4 ▲ , ▼ にタッチして、各音質のレベルを調整する

▼

イコライザー設定の調整が完了します。

お知らせ

- プレミアムオーディオ装着車の場合は、「PUNCH」レベルの設定が行えます。0 ～ 6 までの 7 段階で設定ができます。(工場出荷時は、「1」)

アドバイス

- [全初期化] にタッチすると、すべての音質調整を工場出荷時の状態に戻します。

設定内容について

BASS	低音の音質を -5 ～ 5 の 11 段階で設定ができます。(工場出荷時は「0」)
MID	中音の音質を -5 ～ 5 の 11 段階で設定ができます。(工場出荷時は「0」)
TREBLE	高音の音質を -5 ～ 5 の 11 段階で設定ができます。(工場出荷時は「0」)

■ サラウンドの設定（プレミアムオーディオ装着車）

サラウンド設定と音場の中心を設定することができます。

1 **SOUND** キーを押す

音質調整画面を表示します。

2 サラウンド設定 にタッチする

3 サラウンドの“種類”にタッチする

設定しない場合は、[OFF] にタッチしてください。

4 設定したい“ポジション”にタッチする

▼

サラウンドの設定が完了します。

アドバイス

- [全初期化] にタッチすると、すべての音質調整を工場出荷時の状態に戻します。
- サラウンドの [dts Neural Surround] および [PremiDIA WIDE] は、オーディオソースがラジオのときには無効となります。

■ その他の設定

プレミアムオーディオ装着車または非装着車によって設定が異なります。

プレミアムオーディオ装着車の場合

車速連動音量や PREMIDIA HD、DOLBY VOLUME の設定が行えます。

1 **SOUND** キーを押す

音質調整画面を表示します。

2 その他 にタッチする

3 設定したい各項目の“設定”にタッチする

▼

各設定の変更が完了します。

アドバイス

- [全初期化] にタッチすると、すべての音質調整を工場出荷時の状態に戻します。

車速連動音量	車の速度に応じて音量を自動的に調整されるときのレベルが設定できます。
PREMIDIA HD ※1, ※2, ※3	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声が持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節することができます。
DOLBY VOLUME	さまざまなソースや楽曲の音量差をリアルタイムに自動調整するレベルを選択できます。

※ 1　非圧縮の音源にも効果があります。

※ 2　オーディオソースがラジオのときには無効となります。

※ 3　「DTS NEURAL」と「PREMIDIA HD」は同時に選択できません。

アドバイス

- DOLBY VOLUME の効果が再生中の音楽の印象と合わないと感じる場合は、OFF にしてください。

プレミアムオーディオ非装着車の場合
車速連動音量の設定が行えます。
車の速度に応じて音量を自動的に調整されるときのレベルが設定できます。

1 SOUND キーを押す

音質調整画面を表示します。

2 車速連動音量 にタッチする

3 設定したい“レベル”にタッチする

▼

設定の変更が完了します。

音楽 CD の録音方法を変更する

自動録音や手動録音などの録音方法を変更することができます。

お知らせ

- 録音中にこの操作を行うと、現在の録音を停止します。

1 音楽CDの再生情報画面 *(P130)* で 録音設定 にタッチする

2 変更したい“録音方法”にタッチする

▼

録音方法の変更が完了します。

■ 自動録音について

工場出荷時の設定で、音楽 CD を本機に挿入し、[開始する] にタッチすることで録音する設定です。

お知らせ

- 録音中に録音済の曲を選ぶと、現在の録音は継続したまま選んだ曲の再生を開始します。
- 録音中に録音していない曲を選ぶと、現在の録音を停止し選んだ曲の録音と再生 (追いかけ再生) を開始します。
- [開始しない] にタッチした場合は、音楽 CD の再生情報画面で [録音開始] *(P152)* にタッチすることで録音することができます。

■ 手動録音について

再生中の音楽 CD の曲を音楽 CD 再生情報画面で [録音開始]*(P152)* にタッチすることで録音する設定です。

お知らせ

- 録音中に別の曲を選ぶと現在の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。

DVD ビデオの初期設定

字幕や音声の言語の設定、視聴制限のレベル設定の変更が行えます。

1 DVD 停止中の操作画面 *(P144)* で、 初期設定 にタッチする

DVD の初期設定画面を表示します。

2 設定を変更し、 戻る にタッチする

▼

設定の変更が完了します。

情報 / 設定　各種設定を変更する

■ 設定できる項目について

設定名	設定内容
メニュー言語	ディスクに記録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語が設定できます。 (工場出荷時は、**[日本語]**)
音声言語	ディスクに記録されている音声について、優先してききたい言語の設定ができます。 (工場出荷時は、**[日本語]**)
字幕言語	ディスクに記録されている字幕について、優先して表示させたい言語の設定ができます。 (工場出荷時は、**[日本語]**)
アングルマーク表示	複数のアングルが収録されている場面を再生しているときにアングルマークを表示するかしないかの設定ができます。 (工場出荷時は、**[表示する]**)
音声圧縮	ダイナミックレンジ圧縮を利用するかしないかの設定ができます。 **ダイナミックレンジ圧縮とは** DVD ビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御 (ダイナミックレンジコントロール) し、小さな音でも聴きやすくする機能です。音声圧縮の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声のみです。
視聴制限	視聴制限のパスワードとレベルの設定ができます。 (工場出荷時は、[8]) → *「視聴制限のレベルを設定する」(P302)*

アドバイス

- ▲ → [初期化] にタッチすると、DVD ビデオの初期設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

■ 視聴制限のレベルを設定する

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場合に視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)

お知らせ

- 最初にご使用になるときはパスワードを設定してください。視聴制限はパスワードが設定されないと操作できません。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルはディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

1 DVD の初期設定画面を表示する *(P301)*

2 「視聴制限」の レベル○ にタッチする

3 任意の“4 桁のパスワード”を入力し、決定 にタッチする

4 確認のため再度、“4 桁のパスワード”を入力し、決定 にタッチする

5 “レベル”を入力し、決定 にタッチする

レベル 1	子供向けディスクのみ再生します。
レベル 2 〜 7	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル 8	ディスクをすべて再生します。

▼

視聴制限レベルの設定が完了します。

レベルを変更する

1 DVD の初期設定画面を表示する *(P301)*

2 「視聴制限」の レベル○ にタッチする

3 設定した“パスワード”を入力し、決定 にタッチする

4 “レベル”を入力し、決定 にタッチする

▼

視聴制限レベルの変更が完了します。

パスワードを変更する

設定したパスワードを変更することができます。

1 DVD の初期設定画面を表示する *(P301)*

2 「視聴制限」の レベル○ にタッチする

3 ▲ → パスワード変更 にタッチする

4 “現在のパスワード”を入力し、決定 にタッチする

5 “新しいパスワード”を入力し、決定 にタッチする

6 確認のため再度、“パスワード”を入力し、決定 にタッチする

▼

パスワードの変更が完了します。

お知らせ

- パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて設定し直してください。
- クリアするには、パスワード入力画面 (文字未入力の状態) で [消去] に 5 回連続でタッチします。

■ 優先させる言語を変更する

ディスクに記録されている言語 (メニュー言語、音声言語、字幕言語) について、優先させたい言語の設定を行います。

1 DVD の初期設定画面を表示する *(P301)*

2 変更したい ○○語 にタッチする

3 変更したい“言語”にタッチする

▼

優先させる言語の変更が完了します。

アドバイス

- ▲ → [その他] にタッチすると手順 3 の画面にない言語を設定することができます。

「言語コード一覧表」(P305) のコードを入力し、[決定] にタッチします。

言語コード一覧表

コード	言語
6565	アファル語
6566	アブバジア語
6570	アフリカーンス語
6577	アムハラ語
6582	アラビア語
6583	アッサム語
6589	アイマラ語
6590	アゼルバイジャン語
6665	バキシール語
6669	白ロシア語
6671	ブルガリア語
6672	ビハーリー語
6673	ビスラマ語
6678	ベンガル語
6679	チベット語
6682	ブルトン語
6765	カタロニア語
6779	コルシカ語
6783	チェコ語
6789	ウェルシュ語
6865	デンマーク語
6869	ドイツ語
6890	ブータン語
6976	ギリシア語
6978	英語
6979	エスペラント語
6983	スペイン語
6984	エストニア語
6985	バスク語
7065	ペルシャ語
7073	フィンランド語
7074	フィジー語
7079	フェロー語
7082	フランス語
7089	フリジア語
7165	アイルランド語
7168	スコットランドゲール語
7176	ガルシア語
7178	グアラニー語
7185	グジャラード語
7265	ハウサ語
7269	ヘブライ語
7273	ヒンディー語
7282	クロアティア語
7285	ハンガリー語
7289	アルメニア語
7365	国際語
7368	インドネシア語
7369	インターリング
7375	イヌピア語
7383	アイスランド語
7384	イタリア語
7465	日本語
7487	ジャワ語
7565	グルジア語
7575	カザフ語
7576	グリーンランド語
7577	カンボジア語
7578	カンナダ語
7579	韓国語
7583	カシミール語
7585	クルド語
7589	キルギス語
7665	ラテン語
7678	リンガラ語
7679	ラオス語
7684	リトアニア語
7686	ラトビア語
7771	マダガスカル語
7773	マオリ語
7775	マケドニア語
7776	マラヤーラム語
7778	モンゴル語
7779	モルダビア語
7782	マラータ語
7783	マレー語
7784	マルタ語
7789	ビルマ語
7865	ナウル語
7869	ネパール語
7876	オランダ語
7879	ノルウェー語
7967	オキタン語
7977	オロモ語
7982	オリヤー語
8065	パンジャブ語
8076	ポーランド語
8083	パシュトー語
8084	ポルトガル語
8185	ケチュア語
8277	レトロアンス語
8278	キルンディ語
8279	ルーマニア語
8285	ロシア語
8287	キヤーワンダ語
8365	サンスクリット語
8368	シンド語
8371	サンゴ語
8372	セルボクロアティア語
8373	シンハリー語
8375	スロバキア語
8376	スロベニア語
8377	サモア語
8378	ショナ語
8379	ソマリア語
8381	アルバニア語
8382	セルビア語
8383	シスワティ語
8384	セストゥ語
8385	スンダ語
8386	スウェーデン語
8387	スワヒリ語
8465	タミル語
8469	テルグ語
8471	タジク語
8472	タイ語
8473	ティグリニャ語
8475	トゥルクメン語
8476	タガログ語
8478	セツワナ語
8479	トンガ語
8482	トルコ語
8483	ツォンガ語
8484	タタール語
8487	トウィ語
8575	ウクライナ語
8582	ウルドゥー語
8590	ウズベク語
8673	ベトナム語
8679	ヴォラピュック語
8779	ウォロフ語
8872	コーサ語
8973	イディッシュ語
8979	ヨルバ語
9072	中国語
9085	ズールー語

DTV の設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

1 MODE キーを押す

Mode メニューを表示します。

2 DTV にタッチする

3 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタッチする

5 設定したい“項目”にタッチする

6 設定したい“内容”にタッチする

7 “設定”にタッチする

▼

設定内容を変更します。

■ 設定項目について

視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。 →*「視聴設定」(P307)*
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認することができます。 →*「情報を確認する」(P204)*
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。→*「受信機設定」(P307)*
初期設定	ホーム CH のやり直しや、本機内蔵の地上デジタル TV チューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。 →*「初期設定を行う」(P309)*

視聴設定

字幕や音声に関する設定が行えます。

■ 字幕 / 音声

字幕放送や複数の音声放送がある場合に設定が行えます。

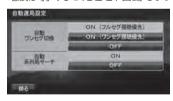
設定名	設定値	設定内容
字幕設定	**字幕なし**	字幕の非表示や言語の選択が行えます。
	第 1 言語	
	第 2 言語	
二重音声設定	**主音声**	出力される音声の選択が行えます。
	副音声	
	主 / 副	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

受信機設定

受信に関する各種設定が行えます。

■ 自動選局

電波が弱くなったとき、自動でワンセグに切り換えることや自動で系列局を探す設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
自動ワンセグ切換	**ON (フルセグ視聴優先)**	フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定が行えます。 → *「フルセグとワンセグを切り換える」(P206)*
	ON (ワンセグ視聴優先)	
	OFF	
自動系列局サーチ	ON	受信ができなくなったとき、自動で系列局を探すことができます。
	OFF	自動で系列局を探しません。手動で行います。 → *「系列局を探す」(P200)*

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 緊急放送

緊急放送の設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
緊急放送自動切換	**ON**	緊急放送を受信すると自動で緊急放送の画面に切り換わります。
	OFF	緊急放送を受信しても、画面の切り換えは行いません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 表示設定

ショートバナーの設定ができます。

設定名	設定値	設定内容
ショートバナー 常時表示	表示する	常時画面の右上にショートバナー (チャンネル番号や放送局名などの情報) を表示します。
	表示しない	ショートバナーを表示しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 番組 CH

番組表をマルチ編成に対応した表示に切り換えます。

設定名	設定値	設定内容
番組表 CH 切換	**メインサービス**	[全サービス] に設定するとマルチ編成に対応したすべての番組を表示した番組表に切り換わります。
	全サービス	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

初期設定を行う

ホーム CH のやり直しや地上デジタル TV チューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

■ ホーム CH スキャンを行う

ホーム CH のやり直しや更新を行います。
詳しくは *「ホーム CH スキャンを行う」(P201)* をご覧ください。

■ 設定情報を初期化する

地上デジタル TV チューナーの設定情報を工場出荷時の状態に戻します。

1 **MODE キーを押す**
Mode メニューを表示します。

2 **DTV にタッチする**

3 **画面にタッチする**
テレビの操作画面を表示します。

4 **メニュー にタッチする**

5 **初期設定 にタッチする**

6 **設定情報初期化 にタッチする**

7 **初期化開始 にタッチする**

8 **はい にタッチする**

▼

初期化が完了すると自動的に再起動します。

注 意

- 再起動が完了するまでエンジンスイッチの "ACC" を "OFF" にしないでください。

その他

困ったときは

画面にメッセージや「故障かな？」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせ画面にメッセージを表示します。

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車、カーソルの中心が設定中のスケールがあるところからないところに移動した。 または、再びあるところに移動した。	−
該当する施設の情報が〜にありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してみてください。
入力された局番はデータにありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータにありません。 代表地点を表示します。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番地、号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できない。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限の数を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は5件以内で指定してください。
これ以上の絞り込み条件は設定できません。	キーワード絞り込みを3回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは3回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとした。	通過した経由地は再度案内することはありませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 (経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。)
MAP スロットの地図カードが読めません。 地図カードを確認してください。	地図カードから地図データが読み込めない。	数分たっても復旧しない場合は、お車を安全な場所に停車し、SD カードの挿入状態を確認してください。 → *「SD カードについて」(P16)* それでも復旧しない場合は、販売店にご相談ください。
	MAP スロットに地図カードが挿入されていない。	地図カードを挿入してください。 → *「SD カードを挿入する」(P17)*
	何らかの原因で地図カードに異常が発生した。	販売店にご相談ください。
入力されたマップコードはデータにありません。	入力したマップコードの該当地点が見当たらなかった。	マップコードを再度確認してください。
入力されたマップコード HR はデータにありません。 付近の地点を表示します。	マップコードの末尾の「* □□」が該当しなかった。	詳細な地点を表示させたい場合は、マップコードを再度確認してください。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
バッテリー電圧が低いため再生できません。	車のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。
再生できません。 ディスクを確認してください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 ➞ *「再生できるディスクの種類」(P116)*
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
この iPod は再生できません。	認証に失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットの iPod が接続されている。	本機に対応している iPod を使用してください。 ➞ *「iPod を再生する」(P183)*
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	最新のソフトウェアバージョンを使用してください。
この USB 機器は再生できません。	認証に失敗した。	USB デバイスを接続しなおしてください。
		エンジンスイッチを "OFF" にしてから "ACC" または "ON" にしてください。
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 ➞ *「音楽ファイル (MP3/WMA/AAC/WAV) について」(P118)*
	曲が入っていない iPod を接続した。	曲が入った iPod を接続してください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。 ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なる DVD ビデオを挿入した。	リージョンコード [2] を含む DVD ビデオに交換してください。
この再生方式のディスクには対応していません。	PAL 方式で記録された DVD ビデオを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VR の読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
USER スロットの SD カードを認識できません。	音楽用 SD カードの読み込みに失敗した。	音楽用 SD カードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していない SD カードを挿入した。	本機に対応している SD カードを挿入してください。USER スロットに挿入してください。 → *「SD カードの曲を聴く」(P170)*
USER スロットの SD カードは使用できません。	本機に対応していない SD カードを挿入した。	本機に対応している SD カードを挿入してください。USER スロットに挿入してください。 → *「SD カードの曲を聴く」(P170)*
USER スロット側に音楽用 SD カードが挿入されていません。	音楽用 SD カードが USER スロットに挿入されていない。	本機対応の SD カードを USER スロットに挿入してください。
USER スロットの SD カードに書き込みできません。 SD カードを確認してください。	音楽用 SD カードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	音楽用 SD カードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SD カードの空き容量が不足しています。 これ以上録音できません。	音楽用 SD カードの容量がいっぱいになったため、MusicServer に録音できなくなった。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。 → *「プレイリストを消去する」(P159)*
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。	別の音楽 CD に交換してください。
		別の音楽用 SD カードに交換してください。

その他

■ ETC 機能

タイプ別装備の ETC 機能に関するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC 車載器がセットアップされていません。	ETC 車載器がセットアップされていない。	セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。
ETC カードが挿入されていません。	ETC カードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETC カードを ETC 車載器に正しく挿入してください。
ETC カードの有効期限が近づいています。 有効期限は○月末です。	ETC カードの有効期限が近づいている。	ETC カードの有効期限が過ぎる前に新しい ETC カードを挿入してください。
ETC カードの有効期限が過ぎています。 ETC カードを確認してください。	有効期限が過ぎた ETC カードを挿入している。	有効期限が過ぎていない ETC カードを挿入してください。
ETC カードの挿入を確認してください。	ETC カードが未挿入または正しく挿入されていない。	ETC カードを正しく挿入してください。
ETC カードを確認してください。	ETC カードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETC カードを ETC 車載器に正しく挿入してください。
	ETC カードの金属端子 (IC チップ) 部分が汚れている。	ETC カードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	ETC カードの読み取り処理中にカードが抜き取られた。	再度 ETC カードを正しく挿入してください。
	ETC カードまたはセットアップカード以外のカードが挿入された。	正しい ETC カードまたはセットアップカードを挿入してください。
	何らかの異常で、セットアップが正しく行われなかった。	再度セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。同じエラーが繰り返されるときは、販売店にご相談ください。
ETC 車載器を確認してください。	ETC 車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETC 通信エラーです。	アンテナ通過時に何らかの異常があった。	

故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときの症状や原因、処置を説明します。

■ 共通

症状	原因	処置
操作できない。	走行中は、安全のため一部の操作が制限されます。	走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。 なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
操作音が鳴らない。	操作音が [消] になっている。	[ナビ音量設定] の「操作音量」を [1 ～ 3] に設定してください。 ➞ *「ナビ音量設定」(P293)*
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面消し解除 *(P286)* の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
モニターの画面が暗い。	モニターの明るさ調整が適切でない。	モニターの明るさの調整をしてください。 ➞ *「画質を調整する」(P287)*
	車のライトが ON になっている。	工場出荷時は車のライトを ON に設定すると画面が暗くなる仕様です。[表示の設定] で「昼夜色」を [昼固定] に設定すると、常時明るい設定になります。 ➞ *「表示の設定」(P274)*
	昼夜色の設定が [夜固定] になっている。	[表示の設定] で「昼夜色」を [自動切換] または [昼固定] に設定してください。 ➞ *「表示の設定」(P274)*
通信ができない。	携帯端末によっては、Bluetooth Audio 接続中に通信ができないものがあります。	*「Bluetooth 機器を選択する」(P281)* の操作で Bluetooth Audio の接続を解除してください。

■ ナビゲーション機能

症状	原因	処置
ナビゲーション機能が起動しない。	地図カードが挿入されていない。	地図カードを挿入してください。 → *「SD カードを挿入する」(P17)*
	違うSDカードが挿入されている。	専用の地図カードを挿入してください。
自車マークの表示位置が正しく表示されない。	GPS 衛星からでている電波信号に問題がある。	GPS 受信状態でしばらく走行してください。
	フェリーなどで移動した。	
	駐車場などの方向転換用ターンテーブルにて方向転換した。	
	車速の学習のレベルが低い。	高速道路のような場所で加減速せずに一定速度でしばらく走行してください。
自車マークに点線囲み表示される。	車速信号が取れていない。	車速信号取り直し作業が必要です。 詳しくは販売店にお問い合わせください。
GPS が受信できない。	納車直後は自車位置計算に時間がかかる。	見晴らしのいい場所でしばらくお待ちください。
	GPS アンテナ付近のウィンドガラスに鏡面タイプのフィルムやカーボン含有の遮光フィルムを貼っている。	フィルムをはがしてください。
	他のアンテナが近くにある。	他のアンテナを移設してください。
	GPS アンテナ上にものをのせている。	GPS アンテナ上にあるものを取り除いてください。
メニューの操作ができない。	安全のため、走行中はメニュー操作ができない場合がある。	安全なところに停車しパーキングブレーキを引いて操作してください。
	エンジンスイッチを ACC または ON にした直後は、データ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能がある。	読み込み完了までしばらくお待ちください。
音声による案内がない。	ナビ音量が [消] になっている。	[ナビ音量設定] の「ガイド音声音量」を [1 ～ 7] に設定してください。 → *「ナビ音量設定」(P293)*
VICS 情報が受信できない。	VICS 情報がまだ受信できていない。	見晴らしのいい場所で、しばらくお待ちください。

■ オーディオ機能

症状	原因	処置
オーディオの音がでない / 音が小さい。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。
	バランス / フェーダーが片寄っている。	バランス / フェーダーを調整してください。 ➞ *「バランス / フェーダー」(P298)*
	「Audio OFF」になっている。	「Audio ON」にしてください。 ➞ *「オーディオ機能が OFF のとき」(P110)*
ディスク再生ができない。	ディスクが裏向きに挿入されている。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクが結露している。	しばらくたってから挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
Gracenote データベースバージョンが表示されない。	Gracenote データベースの更新を中断したままになっている。	Gracenote データベースの更新を行ってください。➞ *「Gracenote データベースを SD カードで更新する」(P134)*

■ テレビ機能

症状	原因	処置
地上デジタル TV 放送が映らない。 映像が乱れる。	地上デジタル TV 放送の放送エリア内ではない。	地上デジタル TV 放送は、ある程度受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	本機を起動後、最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかることがあります。 地上デジタル TV 放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。番組データ取得 *(P198)* をすると、番組情報を取得します。
放送局のロゴマークが表示されない。	ロゴマークが取得できていない。	地上デジタル TV 放送の各放送局を一定時間受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。
字幕や文字スーパーがでない。	「字幕設定」が [字幕なし] に設定されている。	[視聴設定] の「字幕設定」で [第 1 言語] または [第 2 言語] に設定してください。 ➞ *「DTV の設定」(P306)*
	見ている番組が字幕や文字スーパーがない番組である。	字幕や文字スーパーのある番組を見てください。字幕や文字スーパーのある番組はソースプレートにアイコンが表示されます。 ➞ *「記号について」(P197)*
番組内容が変更される。	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	「自動ワンセグ切換」を OFF に設定してください。 ➞ *「フルセグとワンセグを切り換える」(P206)*

本機が起動しなくなったら

地図カードのプログラムが破損した場合に、プログラムDISCを使い復旧することができます。

お知らせ

- 更新用のプログラム DISC が必要です。詳しくは、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- 地図カードが破損した場合は、復旧できません。
- プログラムの復旧中は“ACC OFF”にしないでください。
- あらかじめ地図カードのロックを解除しておいてください。

1 本機に“Loading.kwi”ファイルが入ったプログラム DISC を挿入する

2 車のエンジンスイッチを“OFF”にしてから“ACC”または“ON”にする

▼

プログラム DISC から地図カードへプログラムが書き込まれ、本機が起動します。

用語解説

ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

オンデマンドVICS*(→P93)*
携帯電話の通信機能を利用して、全国の渋滞情報、駐車場情報、規制情報などのVICS情報を取得することができます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。
※ Bluetooth接続ができるDUNプロファイルに対応した携帯電話が必要です。
※ 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

オンライン受信 *(→P93)*
携帯電話の通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。
オンライン受信では、「オンデマンドVICS」と「リアルタイムプローブ®」の受信が可能です。

細街路
道幅の狭い一部の道路。100mスケール以下の地図で表示することができます。
走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

市街地地図 *(→P47)*
スケール10/25/50mで表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

自車
本機を装着しているお客さまのお車のことです。

ジャイロセンサー
車の進行方向を調べる部品です。

車速センサー
車の走行距離を調べる部品です。

スマートIC
スマートIC(スマートインターチェンジ)は、ETC車載器付き車またはDSRC車載器付き車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

走行軌跡
地図には、自車が走ってきた道に印(点線)がつきます。この印(点線)を走行軌跡といいます。

測位
GPS衛星からの電波を受信して、その情報を元に自車の位置を割り出すことを言います。

電波ビーコン *(→P93)*
電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されています。

光ビーコン *(→P93)*
光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されています。

マップコード *(→P69)*
特定の場所の位置データをコード化し、1～12桁の番号と「 * 」(アスタリスク)でその場所を特定することができるものです。
従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
MAPCODEに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ
電話番号　0566-61-4210
受付時間　10:00～12:00
　　　　　13:00～16:00
　　　　　(土・日、会社休日を除く)
ホームページ
http://guide2.e-mapcode.com/

その他

次のページにつづく

マップマッチング
実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

ランドマーク *(→P37)*
お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

リアルタイムプローブ® *(→P93)*
本製品のリアルタイムプローブ®は、パイオニア カロッツェリアおよび三菱電機製 カーナビゲーションと本機のリアルタイムプローブデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS 渋滞情報と合わせて全国約 70 万 km におよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。
※ Bluetooth 接続ができる DUN プロファイルに対応した携帯電話が必要です。
※ ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

DSRC(ディーエスアールシー) *(→P105)*
DSRC(Dedicated Short Range Communication) とは専用狭域(きょういき)通信の略称で、ETC を含めて路側と車載器間で利用される通信方式です。また、この通信方式を利用して提供されるサービスのうち、ETC 以外のサービスのことを DSRC と呼んで ETC と区別して用いることもあります。

ETC *(→P232)*
有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことで、タイプ別装備の ETC 車載器付き車または DSRC 車載器付き車は、有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。

FM 多重放送 *(→P223)*
FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

GPS(ジーピーエス) *(→P33)*
GPS は、Global Positioning System(グローバル・ポジショニング・システム) の略称です。GPS は、米国が開発運用しているシステムで、高度約 21,000km の宇宙空間で、周回している 4 つ以上の GPS 衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

OpenInfo
OpenInfo サービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。
OpenInfo サービスを利用すれば、リアルタイムで渋滞情報を取得することができ、より早くスムーズな目的地案内を実現します。
また、高速道路の開通道路情報や最新の電気自動車用充電ポイント情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。
OpenInfo では､以下の機能がご利用になれます。
- リアルタイムプローブ® *(→P93)*
- 開通道路情報更新 *(→P238)*
- 充電ポイント情報更新 *(→P238)*

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。詳しくは､｢OpenInfo サービス ユーザー登録方法｣*(P324)* を参照してください。

VICS(ビックス)
VICS は、Vehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略称です。別売の光 / 電波ビーコン受信機が装着されていると事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

3D リアルジャンクション *(→P45)*
高速道路の分岐点が近づくと、3D の静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

オーディオ関連用語

オーディオに関する用語を説明します。

追いかけ再生
音楽 CD を録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。
その間も録音はつづけられます。

プレイリスト
MusicServer に音楽 CD の曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

ID3-Tag *(→P120)*
MP3 ファイルの終わりに、曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / 製作年度 / コメント / 音楽ジャンルを 128 バイトの固定の長さにしファイルとして格納しています。

MusicServer *(→P153)*
挿入した音楽 CD の曲を、音楽用 SD カードに録音する機能です。

DVD ビデオ関連用語

DVD ビデオに関する用語を説明します。

言語コード *(→P305)*
DVD ビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

タイトル
DVD ビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その 1 つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

チャプター
各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その 1 つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプター番号と呼びます。

続き再生
ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。
※ 続き再生ができるときは ▶ が点滅し、できないときは ■ が表示されます。

ドルビーデジタル
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

マルチアングル
1 つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。
※ マルチアングル対応の DVD ビデオのパッケージには 3 が記載されています。

レターボックス画面
ワイドソフトを4:3の画面で再生したときに、上下に黒い帯を入れた状態で再生する画面。
ビデオのパッケージに 16:9 LB と表示されているワイドソフトを 4:3 の画面で再生するとレターボックス画面で表示されます。

その他

次のページにつづく

ワイドソフト
ワイドテレビ (横 16: 縦 9) で再生するように画像を 16:9 で収録したソフト。

CPRM
記録型 DVD ディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

dts
デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEO ではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

MPEG
画像 (動画) 圧縮の国際標準フォーマット。

NTSC
カラーテレビの方式。
日本では NTSC 方式が採用されており、本機も NTSC 方式専用となっています。他のテレビ方式 (PAL 方式 ,SECAM 方式) で記録されたビデオは再生できません。

(リニア)PCM
音楽 CD などに使用されている音楽記録方式。

テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

エリア CH
位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。
必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

ドライブ CH
旅行先など (一時的に滞在する地域) で放送局を登録するためにあります。

物理チャンネル番号
リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号 (13ch ～ 62ch まで) のことを言います。

フルセグ
家庭用の地上デジタル TV 放送のことで、ハイビジョン放送 (HDTV) がご覧いただけます。
1 つのチャンネルを 13 個のセグメントに分割し、そのうち 12 個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

放送モード
本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

ホーム CH
お住まいの地域 (長期的に滞在する地域) の放送局を登録するためにあります。

マルチ編成
1 つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

リモコン番号
放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

ワンセグ
携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタル TV 放送のことです。
1 つのチャンネルを 13 個のセグメントに分割し、そのうち 1 つのセグメントを使用していることから、「1 セグ=ワンセグ」と呼ばれています。

CH モード
各用途に応じて、放送局を登録する「ホーム CH」、「ドライブ CH」、「エリア CH」の総称を本書では「CH モード」と表記しています。

EPG
Electronic Program Guide の略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

3 桁チャンネル番号
マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号のことです。フルセグでは 011 番から、ワンセグでは 611 番から始まります。

その他

OpenInfo サービス ユーザー登録方法

オンライン受信 *(P102)* の「リアルタイムプローブ®」や「地図データ差分更新」*(P238)* をお使いいただくには三菱自動車ホームページからユーザー登録をしていただく必要がございます。
下記の手順に従って登録をお願いいたします。

登録手順

1 デバイス ID を確認する

本機を操作し「デバイス ID」を確認してください。
その際にメモをとっておいてください。
→ *「デバイス ID を表示する」(P278)*

2 ホームページを開く

三菱自動車ホームページを開きます。
URL：http://www.mitsubishi-motors.co.jp/support/accessory/navi/

3 OpenInfo サービス ユーザー登録ページを開き、新規会員登録を行う

新規会員登録ページからメールアドレスを入力し、送信します。

4 会員情報の入力を行う

届いたメールに記載されている URL のページを開き、お客さまの情報を入力します。その際、「リアルタイムプローブ®の利用」の「利用する」にチェックを入れ利用登録期間を選びます。

5 購入製品情報の入力を行う

登録ページの指示に従い各情報を入力します。(手順 1 でメモした「デバイス ID」を入力します。)

6 アンケートの入力を行う

各アンケートのご記入にご協力ください。

ユーザー登録は完了です。

7 本機の設定を行う

「リアルタイムプローブ®」をご使用になるには、[VICS の設定] の「走行情報 (オンライン)」を [送信する] に設定する必要があります。
→ *「NAVI の設定」(P269)*

お問い合わせについて

OpenInfo サービスは三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報サービスです。
OpenInfo サービスに関することは下記へお問い合わせください。

三菱電機カーインフォメーションセンター
電話番号　0120-182-710
受付時間　9:00 ～ 17:30
(土・日・祝日・三菱電機の休日は除く)

地上デジタル TV 放送のチャンネル一覧表

- ホーム CH スキャン *(P192,P201)* で登録された地域の放送局とリモコン番号の組み合わせは、以下のようになります。(2012 年 6 月現在) 他の地域の放送を受信されたときは、以下のようにならない場合があります。
- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

お住まいの地域	北海道 (札幌)		北海道 (函館)		北海道 (旭川)		北海道 (帯広)	
チャンネル名	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・帯広
	2	NHKE テレ・札幌	2	NHKE テレ・函館	2	NHKE テレ・旭川	2	NHKE テレ・帯広
	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 旭川	1	HBC 帯広
	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 旭川	5	STV 帯広
	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 旭川	6	HTB 帯広
	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 旭川	8	UHB 帯広
	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 旭川	7	TVH 帯広

お住まいの地域	北海道 (釧路)		北海道 (北見)		北海道 (室蘭)		青森	
チャンネル名	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・室蘭	3	NHK 総合・青森
	2	NHKE テレ・釧路	2	NHKE テレ・北見	2	NHKE テレ・室蘭	2	NHKE テレ・青森
	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 室蘭	1	RAB 青森放送
	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 室蘭	6	ATV 青森テレビ
	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 室蘭	5	青森朝日放送
	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 室蘭		
	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 室蘭		

お住まいの地域	岩手		秋田		宮城		山形	
チャンネル名	1	NHK 総合・盛岡	1	NHK 総合・秋田	3	NHK 総合・仙台	1	NHK 総合・山形
	2	NHKE テレ・盛岡	2	NHKE テレ・秋田	2	NHKE テレ・仙台	2	NHKE テレ・山形
	6	IBC テレビ	4	ABS 秋田放送	1	TBC テレビ	4	YBC 山形放送
	4	テレビ岩手	8	AKT 秋田テレビ	8	仙台放送	5	YTS 山形テレビ
	8	めんこいテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	4	ミヤギテレビ	6	テレビユー山形
	5	岩手朝日テレビ			5	KHB 東日本放送	8	さくらんぼテレビ

お住まいの地域	福島		茨城		東京		千葉	
チャンネル名	1	NHK 総合・福島	1	NHK 総合・水戸	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京
	2	NHKE テレ・福島	2	NHKE テレ・東京	2	NHKE テレ・東京	2	NHKE テレ・東京
	8	福島テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	4	福島中央テレビ	6	TBS	6	TBS	6	TBS
	5	KFB 福島放送	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	6	テレビユー福島	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
			7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
			12	放送大学	9	TOKYO MX	3	チバテレビ
					12	放送大学	12	放送大学

その他

次のページにつづく

お住まいの地域	埼玉		群馬		栃木		神奈川	
チャンネル名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京
	2	NHKE テレ・東京	2	NHKE テレ・東京	2	NHKE テレ・東京	2	NHKE テレ・東京
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
	3	テレ玉	3	群馬テレビ	3	とちぎテレビ	3	tvk
	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学

お住まいの地域	山梨		新潟		富山		石川	
チャンネル名	1	NHK 総合・甲府	1	NHK 総合・新潟	3	NHK 総合・富山	1	NHK 総合・金沢
	2	NHKE テレ・甲府	2	NHKE テレ・新潟	2	NHKE テレ・富山	2	NHKE テレ・金沢
	4	YBS 山梨放送	6	BSN	1	KNB 北日本放送	4	テレビ金沢
	6	UTY	8	NST	8	BBT 富山テレビ	5	北陸朝日放送
			4	TeNY テレビ新潟	6	チューリップテレビ	6	MRO
			5	新潟テレビ 21			8	石川テレビ

お住まいの地域	福井		長野		静岡		愛知	
チャンネル名	1	NHK 総合・福井	1	NHK 総合・長野	1	NHK 総合・静岡	3	NHK 総合・名古屋
	2	NHKE テレ・福井	2	NHKE テレ・長野	2	NHKE テレ・静岡	2	NHKE テレ・名古屋
	7	FBC テレビ	4	テレビ信州	6	SBS	1	東海テレビ
	8	福井テレビ	5	abn	8	テレビ静岡	5	CBC
			6	SBC 信越放送	4	だいいちテレビ	6	メ～テレ
			8	NBS 長野放送	5	静岡朝日テレビ	4	中京テレビ
							10	テレビ愛知

お住まいの地域	岐阜		三重		大阪		滋賀	
チャンネル名	3	NHK 総合・岐阜	3	NHK 総合・津	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・大津
	2	NHKE テレ・名古屋	2	NHKE テレ・名古屋	2	NHKE テレ・大阪	2	NHKE テレ・大阪
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送
	5	CBC	5	CBC	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
	8	岐阜テレビ	7	三重テレビ	7	テレビ大阪	3	BBC びわ湖放送

お住まいの地域	京都		和歌山		奈良		兵庫	
チャンネル名	1	NHK 総合・京都	1	NHK 総合・和歌山	1	NHK 総合・奈良	1	NHK 総合・神戸
	2	NHKE テレ・大阪	2	NHKE テレ・大阪	2	NHKE テレ・大阪	2	NHKE テレ・大阪
	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送
	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
	5	KBS 京都	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ	3	サンテレビ

お住まいの地域	広島		鳥取		島根		山口	
チャンネル名	1	NHK 総合・広島	3	NHK 総合・鳥取	3	NHK 総合・松江	1	NHK 総合・山口
	2	NHKE テレ・広島	2	NHKE テレ・鳥取	2	NHKE テレ・松江	2	NHKE テレ・山口
	3	RCC テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY 山口放送
	4	広島テレビ	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	3	TYS テレビ山口
	5	広島ホームテレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	YAB 山口朝日
	8	TSS						

お住まいの地域	岡山		香川		徳島		高知	
チャンネル名	1	NHK 総合・岡山	1	NHK 総合・高松	3	NHK 総合・徳島	1	NHK 総合・高知
	2	NHKE テレ・岡山	2	NHKE テレ・高松	2	NHKE テレ・徳島	2	NHKE テレ・高知
	4	RNC 西日本テレビ	4	RNC 西日本テレビ	1	四国放送	4	高知放送
	5	KSB 瀬戸内海放送	5	KSB 瀬戸内海放送			6	テレビ高知
	6	RSK テレビ	6	RSK テレビ			8	さんさんテレビ
	7	テレビせとうち	7	テレビせとうち				
	8	OHK テレビ	8	OHK テレビ				

お住まいの地域	愛媛		福岡		佐賀		長崎	
チャンネル名	1	NHK 総合・松山	3	NHK 総合・福岡	1	NHK 総合・佐賀	1	NHK 総合・長崎
	2	NHKE テレ・松山	3	NHK 総合・北九州	2	NHKE テレ・佐賀	2	NHKE テレ・長崎
	4	南海放送	2	NHKE テレ・福岡	3	STS サガテレビ	3	NBC 長崎放送
	5	愛媛朝日	2	NHKE テレ・北九州			8	KTN テレビ長崎
	6	あいテレビ	1	KBC 九州朝日放送			5	NCC 長崎文化放送
	8	テレビ愛媛	4	RKB 毎日放送			4	NIB 長崎国際テレビ
			5	FBS 福岡放送				
			7	TVQ 九州放送				
			8	TNC テレビ西日本				

お住まいの地域	熊本		大分		宮崎		鹿児島	
チャンネル名	1	NHK 総合・熊本	1	NHK 総合・大分	1	NHK 総合・宮崎	3	NHK 総合・鹿児島
	2	NHKE テレ・熊本	2	NHKE テレ・大分	2	NHKE テレ・宮崎	2	NHKE テレ・鹿児島
	3	RKK 熊本放送	3	OBS 大分放送	6	MRT 宮崎放送	1	MBC 南日本放送
	8	TKU テレビ熊本	4	TOS テレビ大分	3	UMK テレビ宮崎	8	KTS 鹿児島テレビ
	4	KKT くまもと県民	5	OAB 大分朝日放送			5	KKB 鹿児島放送
	5	KAB 熊本朝日放送					4	KYT 鹿児島讀賣 TV

お住まいの地域	沖縄	
チャンネル名	1	NHK 総合・沖縄
	2	NHKE テレ・沖縄
	3	RBC テレビ
	5	QAB 琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ (OTV)

地上デジタル TV 放送の受信に関する相談・お問い合わせは総務省まで

総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

TEL 0570 (07) 0101

Gracenote サービスについて

■ 著作権について

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ :copyright © 2000-present Gracenote.
Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote.
本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。
適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。
Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

Gracenote エンドユーザー使用許諾契約書

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote,Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote,Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。
Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。
また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

その他

Flash エンドユーザーライセンス

本製品に組み込まれているソフトウェアには、Adobe Systems Incorporated、Adobe Systems Software Ireland Limited(“Adobe 社”) および BSQUARE Corporation(“BSQUARE 社”) が保有する Flash Lite ソフトウェア (本ソフトウェア) が含まれています。
本ソフトウェアは以下の条項にお客様が同意された場合にのみ、その条項に従って使用することができます。

1. 本ソフトウェアに関する禁止事項

(1) 本ソフトウェアの複製および頒布を行わない。
(2) 本ソフトウェアの改変、二次的著作物の作成を行わない。
(3) 本ソフトウェアの逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル及びその他人間が知覚可能な形態への変換を行わない。

2. 本ソフトウェアに係る免責および救済

(1) Adobe 社、BSQUARE 社および三菱電機株式会社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害および派生的損害並びに、その他の損害が生じた場合であっても、免責されるものとします。
(2) Adobe 社、BSQUARE 社および三菱電機株式会社は、本ソフトウェア品質並びに性能等を含み、一切について保証しないものとします。
(3) 三菱電機株式会社がお客様に対して負う責任は、本製品の価格を上限とします。
(4) お客様が本製品に関し請求できる救済手段は、三菱電機株式会社に対する返品および返金の請求のみであり上記以外の如何なる救済も請求できないものとします。

商標について

Macromedia、Flash、Macromedia Flash、および Macromedia Flash Lite は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

地図データベース

地図データベースについて

この地図は、「全国デジタル道路地図データベース」(一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成), 2012年 3 月のインクリメントP(株)の地図情報をもとに、三菱電機(株)が作成したものです。なお、元図の作成時期などの関係から、収録されていない新設道路があったり、地名や道路などに変更や誤りがある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

● この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。
(承認番号　平23情使､第43号-12号／承認番号　平23情使､第283号-12号)
● この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。
(承認番号　国地企調第180号　平成22年9月28日)
● この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
(測量法第44条に基づく成果使用承認　12-102M1)　　© 2012 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
● この地図は、小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500 国土基本図を使用したものである。
(承認番号) 小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
● この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年 養建第1902号
● この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1 都市計画基本図を使用したものである。
(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
● この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。 (承認番号) 平10．近公．第34号
● この地図は、大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。 (承認番号 15大木建第734号)
● この地図は、堀金村長の承認を得て 1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。 (承認番号 16堀第5417号)
● この地図は、東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。
(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
● この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。
(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
● この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18東デ共041号)
● この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。 (承認番号) 18都市基交 第478号
● この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。
(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
● この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。
(承認番号 指令宇部第13号 平成18年5月15日承認／承認番号 指令宇部第14号 平成18年5月31日承認)
● この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。 (承認番号 周防建設第56号 平成18年5月12日承認)
● この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。 (承認番号平成18年5月2日18建第107号)
● この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。 (承認番号 H18東温都第174号)
● この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認／承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
● この地図は、秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。
承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258／承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947
● この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
● この地図は、長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。 (長都政第477号 平成18年3月28日承認)
● この図面は、山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
● この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。 (承認番号 18森政第5-5号)
● この地図は、島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。
(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号／承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
● この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
● この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
● この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
● この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。 (承認番号 18林第492号(平成18年10月6日))
● この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。
(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日／承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
● この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
(承認番号林18-1 平成18年12月5日／承認番号林18-2 平成19年3月7日)
● この地図は、宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日／承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
● この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。
(承認番号 平18 林振第360号／承認番号 平19 林振第404号／承認番号 平18 林振第497号／承認番号 平19 林振第246号)
● この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の 1/5,000 全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成 18 年 5 月 26 日知耕第 590 号
● この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。
(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認　平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
● この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。
(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
● この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ（18国地部公発第334号）を使用したものである。
(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
● この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。
(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
● この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。
(承認番号) 平21樽港事第33号

その他

次のページにつづく

● この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号)平成21年森計第477号
● この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
● この地図は、幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1 幕別町現況図を使用し、調整したものである。 （承認番号）H22 幕都計第185号
● この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。（承認番号）23田街第55号
● この地図に使用している交通規制データは、2011年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
● この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 250mメッシュ(標高)を使用したものです。
(承認番号 平7総使、第178号)
● この地図で使用している画像データの一部について、その著作権は、(株)昭文社が有し、三菱電機(株)は、その使用許諾権を取得しています。
● この地図に使用している電話番号データは、2011年9月現在のものです。 本データはNTT情報開発(株)から提供されたタウンページデータを使用しています。
● VICS リンクデータベースの著作権は、(一般)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会が有しています。
● その他情報提供元
監修：夜景愛好家 縄手真人(夜景コメント・夜景写真)

市街地地図の表示範囲について

※ 以下の市区町村で 50m,25m,10m スケールの市街地地図を表示することができます。
　ただし、表示範囲は各市区町村の主要地域のみで全地域ではありません。

1.北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町
2.青森県	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町
3.岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町
4.秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、八郎潟町、井川町、美郷町、羽後町
5.宮城県	仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、丸森町、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村、加美町、涌谷町、美里町、女川町
6.福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、鏡石町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、会津美里町、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町
7.山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、大江町、大石田町、高畠町、川西町、白鷹町、三川町、庄内町
8.新潟県	新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、湯沢町、津南町
9.栃木県	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、岩舟町、高根沢町、那須町
10.群馬県	前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、吉岡町、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
11.茨城県	水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町
12.埼玉県	さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町
13.東京都	東京23区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町
14.千葉県	千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町
15.神奈川県	横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、相模原市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村
16.長野県	長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町

次のページにつづく

その他

17.山梨県　甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、身延町、富士川町、昭和町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町

18.福井県　福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町

19.石川県　金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町

20.富山県　富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町

21.静岡県　静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、吉田町、森町

22.愛知県　名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町

23.岐阜県　岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ケ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、坂祝町、富加町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村

24.三重県　津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、多気町、明和町、玉城町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町

25.滋賀県　大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

26.京都府　京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、伊根町、与謝野町

27.大阪府　大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村

28.和歌山県　和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、太地町、串本町

29.奈良県　奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村

30.兵庫県　神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町

31.岡山県　岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町

32.広島県　広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町

33.鳥取県　鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、南部町、伯耆町

34.島根県　松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市

35.山口県　下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、和木町、田布施町、平生町

36.愛媛県　松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、松前町、砥部町、内子町

37.香川県　高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町

38.徳島県　徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町

39.高知県　高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町

40.福岡県　北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須惠町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、筑前町、大刀洗町、大木町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、苅田町、みやこ町、吉富町、築上町

41.大分県　大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町

42.佐賀県　佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、有田町、大町町、江北町、白石町

43.長崎県　長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、長与町、時津町、東彼杵町、川棚町、波佐見町、佐々町

44.熊本県　熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、合志市、玉東町、長洲町、大津町、菊陽町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町

45.宮崎県　宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町

46.鹿児島県　鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、姶良市、さつま町、大崎町、東串良町、肝付町

47.沖縄県　那覇市、宜野湾市、石垣市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南城市、今帰仁村、恩納村、金武町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）　VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）　VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）　加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）　VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）　文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）　簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）　地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第 12 条
（1）当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
（2）第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第 15 条
（1）当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
（2）当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

その他

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第 17 条
（1）当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

（2）VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表視聴料金

視聴料金：315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

カ行

サ行

タ行

その他

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

A

B

C

D

E

F

G

I

M

その他

N

O

P

S

T

U

V

W

数字